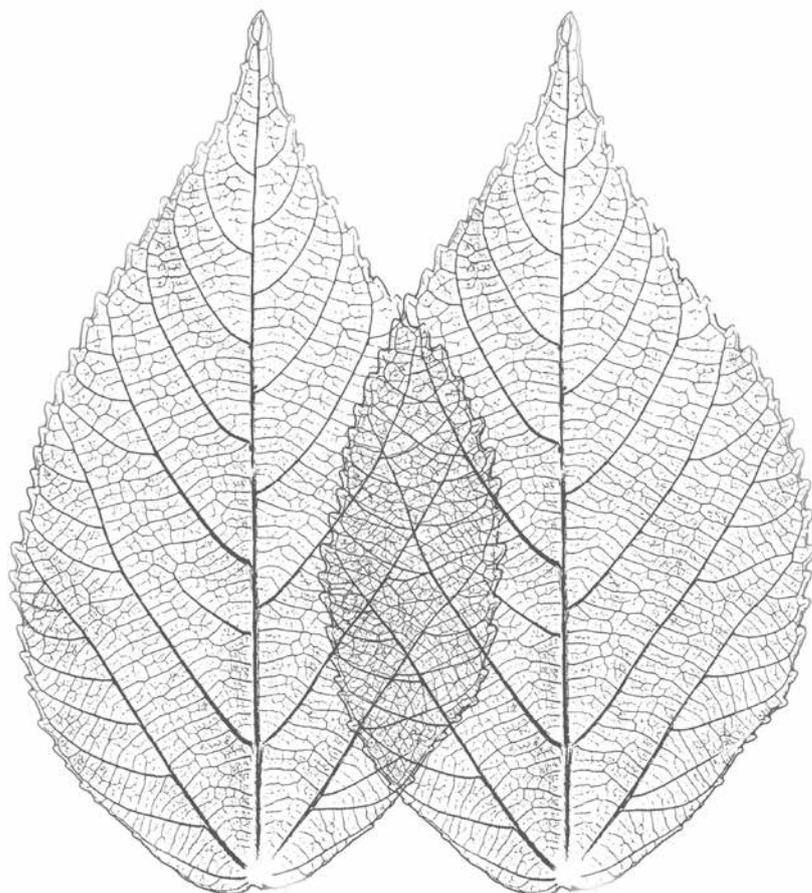


人環レビュー

教育・研究活動の自己評価

資料編

2019



●目次

目次	—	1	2. 総合人間学部	—	18
人間・環境学研究科 教育研究上の目的と方針	—	3	【資料 2-1】 学生数の推移	19	
人間・環境学研究科 教育研究上の目的	3		【資料 2-2】 入学状況	19	
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3		【資料 2-3】 編入学生の受入状況	19	
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	4		【資料 2-4】 転学部の状況	20	
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	4		【資料 2-5】 留年・休学・退学の状況	20	
人間・環境学研究科 学位授与基準	4		【資料 2-6】 分属の状況	20	
総合人間学部 教育研究上の目的と方針	—	5	【資料 2-7】 各学系の授業形態	21	
総合人間学部 教育研究上の目的	5		【資料 2-8】 授業形態別履修者数	21	
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	5		【資料 2-9】 総人ゼミの開講状況	21	
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	5		【資料 2-10】 他学部聴講の状況	21	
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	5		【資料 2-11】 単位互換制度の利用状況	22	
沿革	—	6	【資料 2-12】 入学前既修得単位の認定状況	22	
歴代総合人間学部長・人間・環境学研究科長	7		【資料 2-13】 成績評価の方法	22	
1. 研究教育体制	—	8	【資料 2-14】 全学共通科目の開講コマ数 (2018(H30)年度)	23	
【資料 1-1】 研究教育組織	9		【資料 2-15】 標準修業年限内卒業率と 「標準修業年限×1.5」年内卒業率	23	
【資料 1-2】 他部局ならびに学外諸機関との協力体制	10		【資料 2-16】 主専攻・副専攻の文理分布	23	
【資料 1-3】 人間・環境学研究科 教員構成	11		【資料 2-17】 「研究を他者に語る」実施アンケート	24	
【資料 1-4】 総合人間学部 教員構成	12		【資料 2-18】 資格取得状況	25	
【資料 1-5】 管理運営組織	13		【資料 2-19】 卒業生の進路	25	
【資料 1-6】 委員会組織	14		【資料 2-20】 就職状況	26	
【資料 1-7】 教員数の推移	15		【資料 2-21】 奨学金制度・免除制度の採用状況	27	
【資料 1-8】 教員の年齢・性別構成	17		3. 人間・環境学研究科	—	28
【資料 1-9】 授業科目の担当状況	17		【資料 3-1】 人間・環境学研究科 学生数の推移	29	
【資料 1-10】 事務職員・技術職員の配置状況	17		【資料 3-2】 修士課程 入学状況	29	
			【資料 3-3】 博士後期課程 進学・編入学状況	29	
			【資料 3-4】 修士課程 留学生・社会人の入学状況	29	
			【資料 3-5】 博士後期課程 留学生・社会人の進学・入学状況	30	
			【資料 3-6】 留年・休学・退学の状況	30	
			【資料 3-7】 研究生在籍数	30	
			【資料 3-8】 修士課程 開設科目数	31	
			【資料 3-9】 他研究科への聴講の状況	31	
			【資料 3-10】 単位互換制度の利用状況	31	
			【資料 3-11】 入学前既習得単位の認定状況	31	
			【資料 3-12】 TA 採用状況	32	
			【資料 3-13】 TA 運用状況	32	
			【資料 3-14】 RA 採用状況	32	
			【資料 3-15】 成績評価の方法	32	
			【資料 3-16】 修士課程 単位修得状況	33	
			【資料 3-17】 修士課程 学位授与の状況	33	
			【資料 3-18】 修士課程 標準修業年限内修了率と 「標準修業年限×1.5」年内修了率	33	
			【資料 3-19】 修士課程修了者の進路	33	
			【資料 3-20】 修士課程修了者の就職状況	34	
			【資料 3-21】 博士後期課程 学位授与の状況	35	



【資料 3-22】 博士後期課程 講座別学位授与の状況…………… 35

【資料 3-23】 博士後期課程 標準修業年限内修了率と
「標準修業年限×1.5」年内修了率…………… 36

【資料 3-24】 博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の進路
…………… 36

【資料 3-25】 博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の
就職状況…………… 36

【資料 3-26】 教員免許状資格取得状況…………… 37

【資料 3-27】 日本学術振興会特別研究員への採用状況…………… 37

【資料 3-28】 奨学金制度・免除制度の採用状況…………… 37

4. 教育研究指導 — **38**

【資料 4-1】 ガイダンスについて…………… 39

【資料 4-2】 学習指導方法の工夫…………… 40

【資料 4-3】 授業時間外学習を促す工夫…………… 41

【資料 4-4】 基礎学力不足の学部学生への配慮…………… 42

【資料 4-5】 研究教育上の目的やディプロマ・ポリシーを意識
した学習方法の工夫・成績評価の観点（基準）… 42

【資料 4-6】 大学院生の学会発表者数…………… 43

【資料 4-7】 学会への参加を促す取組み…………… 43

【資料 4-8】 他大学・公的機関および企業との共同研究…………… 43

【資料 4-9】 他大学・公的研究機関の共同利用施設・
設備の利用に関わる研究課題採択数…………… 44

【資料 4-10】 部局内及び部局を構成する学内外研究機関との
共同研究…………… 45

【資料 4-11】 学際教育研究部の活動…………… 46

【資料 4-12】 外部資金等の受入状況…………… 47

【資料 4-13】 学生・修了生が獲得した助成金等…………… 48

【資料 4-14】 人文・社会系若手研究者出版助成による
出版物（2018(平成30)年度）…………… 49

【資料 4-15】 学生・修了生の受賞状況…………… 50

【資料 4-16】 学生の論文掲載数…………… 51

【資料 4-17】 メディアに取り上げられた学生・修了生…………… 51

【資料 4-18】 教育コンテンツ等の作成について…………… 51

【資料 4-19】 学生相談室の利用件数…………… 53

5. 国際交流 — **54**

【資料 5-1】 外国人留学生受入数の推移（総合人間学部）… 55

【資料 5-2】 外国へ留学等をした学生数の推移（総合人間学部）
…………… 55

【資料 5-3】 外国人留学生受入数の推移（人間・環境学研究所）
…………… 55

【資料 5-4】 出身地域別留学生受入数（人間・環境学研究所）
…………… 56

【資料 5-5】 外国人研究者等受入数の推移…………… 57

【資料 5-6】 招へい外国人学者による
国際交流セミナー開催状況…………… 57

【資料 5-7】 部局間学術交流協定締結先一覧…………… 57

6. 施設・設備 — **58**

【資料 6-1】 使用目的別 室数と保有面積…………… 59

【資料 6-2】 使用形態別 室数と保有面積…………… 59

7. 社会との交流・公開 — **60**

【資料 7-1】 公開講座…………… 61

【資料 7-2】 総合人間学部オープンキャンパス開催状況…………… 62

【資料 7-3】 本研究科関係発行元による学術誌…………… 63

【資料 7-4】 アウトリーチ活動について…………… 63

8. 各種アンケート調査 — **64**

【資料 8-1】 総合人間学部 授業評価アンケート…………… 65

【資料 8-2】 人間・環境学研究所 授業評価アンケート…………… 66

【資料 8-3】 総合人間学部 在学生・卒業生アンケート…………… 67

【資料 8-4】 人間・環境学研究所
修士課程 M2 学生アンケート…………… 73

【資料 8-5】 人間・環境学研究所
修士課程 修了時アンケート…………… 75

【資料 8-6】 人間・環境学研究所
博士後期課程 修了（認定退学）時アンケート… 77

【資料 8-7】 総合人間学部
卒業生（卒業後3年目）アンケート…………… 78

【資料 8-8】 人間・環境学研究所
修了生（修了後3年目）アンケート…………… 79

【資料 8-9】 総合人間学部入学者出身高校への
アンケート調査（2016(H28)年度実施）…………… 80

過去に実施したアンケート（『人環レビュー資料編 2018』に収録）
・総合人間学部 人間・環境学研究所同窓生アンケート
（2012(H24)年度実施）
・「社会が見た京都大学総合人間学部・大学院人間・環境学研究所」
アンケート調査（2016(H27)年度実施）

● 人間・環境学研究科 教育研究上の目的と方針

人間・環境学研究科 教育研究上の目的

人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の連携を通じて、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、人間と環境のよりよい関係を構築するための新たな文明観、自然観の創出に役立つ学術研究を推進することを目指す。また、こうした研究活動を推進するなかで、人間及び環境の問題に対して広い視野、高度な知識、鋭い先見性をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することを目的とする。

<共生人間学専攻>

共生人間学専攻では、「人間相互の共生」という視点に立ち、人間と環境の相関関係において人間の根源を探求しつつ、現代社会の具体的諸課題に取り組み、社会的要請に柔軟に応えられる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

<共生文明学専攻>

共生文明学専攻では、共生・融和の可能性を追求するため、多様な文明の間にみられる対立・相克の構造を解明するとともに、歴史・社会・文化の諸相にわたって複雑にからみあう文明の諸問題に新たな見地から取り組み、解決の方向性を示すことのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

<相関環境学専攻>

相関環境学専攻では、人間と自然環境の関わりを包括的に理解することを目指した基礎研究を展開するとともに、自然と人間の調和を図るために必要な新しい社会システムの確立に、高度な見識と科学的・論理的判断力をもって貢献することのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

現代の科学・技術は、人間の可能性を限りなく押し広げてきた反面、地球環境問題、エネルギー問題、地域紛争、富の地域間格差等の諸問題を次第に顕在化させ、グローバル化の波とあいまって、わたしたちに新たな課題をつきつけています。人間・環境学研究科は、こうした新たな問題群に立ち向かい、地球規模での危機的状況を打開・克服するために、これまでの知の蓄積を踏まえつつ、新たな知のパラダイムを構築し、高い倫理性と強い責任感をもって社会の発展に貢献することのできる人を求めています。

人間・環境学研究科への入学を希望する人に求めるものは、下記に示す資質・能力です。

1. 特定の学問分野を主軸とする専門的研究において、問題の設定からその解決方法の提示に至る研究過程に取り組むことのできる知識、能力ならびに熱意を有していること。
2. 他者や異文化に対する理解を尽くした上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現するプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ならびにリーダーシップを持っていること。
3. 人文科学・社会科学・自然科学を横断する幅広い知識と教養を身につけ、自らの専門分野のみに閉じこもらない、人間・文明・自然に対する、多角的な視点や柔軟な発想力を培っていること。
4. 「人間・環境学研究科」の名称にある「・」は、加算的な意味合いの「・」ではなく、乗算的な意味合いのそれである。この名称が示唆するように、既成の知を熟知しているだけでなく、それを基盤に新たな創造的飛躍をなしうる知的軽やかさを身につけていること。

人間・環境学研究科の入学者選抜においては、上記の資質・能力を多角的に測るため、専門分野についての筆答試験、外国語の筆答試験または外部試験、および口述試験または論文試験を柔軟に組み合わせて評価を行います。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間・環境学研究科は、社会に湧き起こる新たな問題群の解決には従来の思考枠では対処することができないという基本認識に立ち、新しいパラダイムを創出するという目的意識の下に、共生人間学、共生文明学、相関環境学の3専攻を置いています。同一専攻に近接分野を多く配置することによって専門性に重点を置き、専門を掘り下げてその裾野を広げ、裾野を広げることによって頂上を高くすることをめざしています。

ディプロマ・ポリシーに示された目標を達成するために、多様な専門分野の科目を体系的に編成するとともに、分野横断的・専攻横断的な科目を設定しています。学生の自主性を尊重した教育を実施し、学生が倫理と責任について十分な意識をもつよう、教員と学生の対話を重視しています。

修士課程では専門分野における研究能力と高度な専門性を修得するために、学生には研究指導科目を中心として、講義・演習・実習からなる自専攻開設科目を履修しますが、研究の視野を拡大するために他専攻あるいは他研究科の開設する科目の履修も推奨されます。指導体制については、主指導教員と副指導教員による複数指導体制を採り、狭い専門の殻に自閉しないよう配慮しています。

学位論文の作成とともに、自立して研究を推進する能力や高度な専門業務を行う能力を修得することを目的とする博士後期課程では、学生は指導教員との密接な対話の下に研究を深化させます。また主指導教員と副指導教員を配置した複数指導体制を採り、複眼的思考の強化育成と基盤となる学識の形成を図っています。

修士課程と博士後期課程を通覧できるカリキュラム・マップにより、教育と学修の構造や体系が把握できるようにしています。各科目の内容の詳細や学修成果の評価方法についてはシラバスに明示されています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の連携を通して、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、こうした研究活動を推進するなかで、人間及び環境の問題に対して広い視野と高度な知識、高い倫理性と強い責任感をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することをめざしています。

修士課程においては、必修である研究指導科目、選択必修である自専攻開設科目、さらに選択科目である他専攻開設科目を履修して所定の単位を修得し、かつ本研究科が行う学位論文の審査に合格した者に、修士（人間・環境学）の学位を授与します。学位認定にあつては、以下のことが求められます。

1. それぞれの専門領域における広範かつ深い学識や広い視野に基づく研究能力を身につけていること。
2. それらに基づく高度な分析・判断能力や論理的な論述能力を修得していること。
3. 上記のことを通して、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を培っていること。

博士後期課程においては、特別研究、特別演習、特別セミナーを履修して所定の単位を修得し、かつ本研究科が行う学位論文の審査に合格した者に、博士（人間・環境学）の学位を授与します。学位認定にあつては、以下のことが求められます。

1. それぞれの専門領域における高度な学識や学際的な幅広い視野に基づく研究能力を身につけていること。
2. 「着想の独創性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げていること。
3. 上記のことを通して、新たな知的価値の創出に寄与できる研究職や高度な専門業務に従事するための優れた能力を培っていること。

人間・環境学研究科 学位授与基準

- ・ 修士課程においては、必修である研究指導科目、選択必修である自専攻開設科目、さらに選択科目である他専攻開設科目を履修し、幅広い知識と高度の研究能力を修得した上で、「着想の独創性」、「論述の論理性」などの観点から相当の研究成果を上げたと認められる学位論文を作成した学生に対し、修士（人間・環境学）の学位を授与する。
- ・ 博士後期課程においては、特別研究、特別演習、特別セミナーを履修し、所定の単位を修得した上で、「着想の独創性」、「論述の論理性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げたと認められる優れた学位論文を作成した学生に、博士（人間・環境学）の学位を授与する。

●総合人間学部 教育研究上の目的と方針

総合人間学部 教育研究上の目的

総合人間学部は、人間と文明と自然の結びつきに新たな次元を確立するために、人類が直面する様々な問題を人間活動の広範な諸領域を通低させる形で問い直し、これまでの人文科学、社会科学、自然科学を融合した新しい学問の体系を構築することを、すなわち、新たな「人間の学」の創出を目指す。さらに、このような学問的探求を通じて、科学技術の急速な発展と国際化の進展など著しく変化するこれからの社会に対して、持続的かつ創造的に対処しうる広い視野を持った人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。この挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人、高い倫理性と豊かな人間性を持ちつつ、国際的視野から人類が直面する様々な課題に向きあおうとする進取の精神をもつ人、持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人を本学部は求めます。

総合人間学部が入学を希望する人に求めるものは、高等学校の教育課程の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加えて、その内容を活用する主体的な思考力・判断力・表現力、そして他者と協働しながら学ぶ態度です。

総合人間学部の入学者選抜は、京都大学の一般入試において、文系試験と理系試験の2つに分けて実施し、多様な基礎的学力を測ります。また本学部独自の特色入試では、高等学校における学びの成果、基礎的学力とともに、文系と理系の総合的な思考力・表現力を評価します。これらの入試においては、総合的な学力の評価を行うために大学入試センター試験の成績を取り入れ、合否判定を行っています。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合人間学部では、新たな「人間の学」の創出を主軸として、卒業の認定に関する方針に示した目的を達成するために、多様な学問分野を網羅する教員陣のもとで、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供します。比較的近い学問分野で構成する学系を複数設置し、各学系のコースツリーならびに個別の学問分野の履修モデルを提示することにより、カリキュラム体系の構成を具体的に示します。講義や演習等として行われる個々の授業科目の内容および、定期試験・レポート・平常点による評価方法の詳細については、シラバスに記載します。

総合人間学部には所属する学生には、以下の指針に従って自律的に学修することを求めます。

1. 文理にまたがる多様な教養・基礎科目、複数の学系の入門科目、複数の外国語科目等を幅広く学び、人間・文明・自然に対する幅広い知識と理解力を修得し、豊かな人間性と高い倫理性を育む。
2. ゼミ・演習等の少人数科目を履修し、教養・基礎から専門の領域にわたる知識と能力を濃密な議論の中で培うとともに、他者に自らの見解を表現するためのプレゼンテーション能力および対話能力を身につける。
3. 学年の進行とともに、自らの学問的関心に応じて一つの学系を主専攻として選択して系統的に学び、自らの知的な核となる専門性を修得する。
4. 主専攻とは異なる学問分野を副専攻として系統的に学び、自らの専門分野に捉われない柔軟で重層的な思考力を養う。
5. 主専攻の分野において指導教員を選び、そのもとで卒業論文・卒業研究に取り組む。学修成果は複数の教員により審査される。こうした研究過程を通して、専門性を深めるとともに、現代の諸問題の解決に挑戦する創造的姿勢と持続力を育む。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

総合人間学部は、人間と文明と自然との新たな結びつきを見出す「人間の学」の創出を目指しています。また、この学問的追究を通して、高い倫理性と幅広い視野から創造的かつ持続的に現代の諸問題と向き合い、多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮する人を育成することを目的としています。これを達成するため、以下の点に到達した者に総合人間学部学士号を授与します。

1. 総合人間学部が提供する学際的な学問の場において、人文科学・社会科学・自然科学を横断する幅広い知識と教養を身につけていること。
2. 他者や異文化に対する理解を深めた上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現するプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ならびにリーダーシップを培っていること。
3. 多様な学問分野を学ぶ中で、自らの知的な核となる特定の分野を選択し、その理解を深めていること。
4. 主たる専門分野とは異なる、もう一つの分野も重点的に学ぶことによって、人間・文明・自然に対する、多角的な視点や柔軟な発想力を培っていること。
5. 卒業論文・卒業研究において、問題の設定からその解決方法の提示に至る研究過程に取り組み、一定の成果を上げていること。

● 沿 革

- 1894(明治27)年 9月 第三高等学校開校
- 1897(明治30)年 6月 京都帝国大学創設
- 1949(昭和24)年 5月 新制京都大学設置
5月 第三高等学校が京都大学所轄へ
8月 分校設置
- 1950(昭和25)年 3月 第三高等学校を廃止(以後京都大学分校と称せられる)
- 1954(昭和29)年 3月 分校を教養部と改称(学内措置による改称)
- 1963(昭和38)年 4月 文部省令により教養部設置(分校から教養部へ正式に改称)
- 1977(昭和52)年 5月 教養部に教養部改善検討委員会設置
- 1991(平成3)年 4月 大学院人間・環境学研究科設置(1専攻)
人間・環境学専攻(第1専攻)開設
- 1992(平成4)年 10月 総合人間学部設置(4学科)
人間学科、国際文化学科、基礎科学科、自然環境学科を開設
10月 人間・環境学研究科 文化・地域環境学専攻設置(第2専攻)
- 1993(平成5)年 3月 教養部廃止
4月 人間・環境学専攻 博士後期課程設置
4月 総合人間学部第1期生入学
- 1994(平成6)年 6月 高等教育教授システム開発センター設置
- 1995(平成7)年 4月 文化・地域環境学専攻 博士後期課程設置
- 1996(平成8)年 3月 人間・環境学研究科棟竣工
4月 アフリカ地域研究専攻設置
- 1997(平成9)年 4月 人間・環境学研究科 環境相関研究専攻設置(第3専攻)
- 1998(平成10)年 4月 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科設置に伴い、アフリカ地域研究専攻及び東南アジア地域研究講座を移管
- 1999(平成11)年 4月 環境相関研究専攻 博士後期課程設置
- 2002(平成14)年 4月 大学院地球環境学舎・学舎設置
- 2003(平成15)年 4月 総合人間学部との一体化に伴う研究科の改組により、共生人間学専攻、共生文明学専攻、相関環境学専攻を設置
4月 総合人間学部の4学科を廃止し、総合人間学科一学科に改組
人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系を設置
- 2003(平成15)年 4月 高等教育研究開発推進機構設置
4月 高等教育研究開発推進センター設置
4月 高等教育教授システム開発センター廃止
- 2004(平成16)年 4月 国立大学法人京都大学設立
- 2007(平成19)年 4月 こころの未来研究センター設置
- 2008(平成20)年 4月 人間・環境学研究科 学際教育研究部設置
- 2013(平成25)年 4月 高等教育研究開発推進機構廃止
4月 国際高等教育院設置
4月 事務組織改編
- 2013(平成26)年 4月 国際高等教育院附属国際学術言語教育センター設置
4月 「人間・環境学研究科総合人間学部図書館」から「吉田南総合図書館」に改組

歴代総合人間学部長・人間・環境学研究科長

総合人間学部長

1992(平成4)年10月1日～1993(平成5)年3月31日	木下 富雄
1993(平成5)年4月1日～1996(平成8)年3月31日	児島 眞平
1996(平成8)年4月1日～1998(平成10)年3月31日	三好 郁朗
1998(平成10)年4月1日～2001(平成13)年3月31日	林 哲介
2001(平成13)年4月1日～2003(平成15)年3月31日	宮本 盛太郎

人間・環境学研究科長

1991(平成3)年4月1日～1991(平成3)年9月30日	*西島 安則
1991(平成3)年10月1日～1993(平成5)年9月30日	竹市 明弘
1993(平成5)年10月1日～1997(平成9)年9月30日	足利 健亮
1997(平成9)年10月1日～2001(平成13)年3月31日	豊島 喜則
2001(平成13)年4月1日～2003(平成15)年3月31日	江島 義道

*研究科長事務取扱

人間・環境学研究科長・総合人間学部長

2003(平成15)年4月1日～2004(平成16)年3月31日	江島 義道
2004(平成16)年4月1日～2007(平成19)年3月31日	富田 博之
2007(平成19)年4月1日～2010(平成22)年3月31日	堀 智孝
2010(平成22)年4月1日～2014(平成26)年3月31日	富田 恭彦
2014(平成26)年4月1日～2014(平成26)年9月30日	杉万 俊夫
2014(平成26)年10月1日～2016(平成28)年3月31日	高橋 由典
2016(平成28)年4月1日～2020(令和2)年3月31日	杉山 雅人
2020(令和2)年4月1日～	小島 泰雄



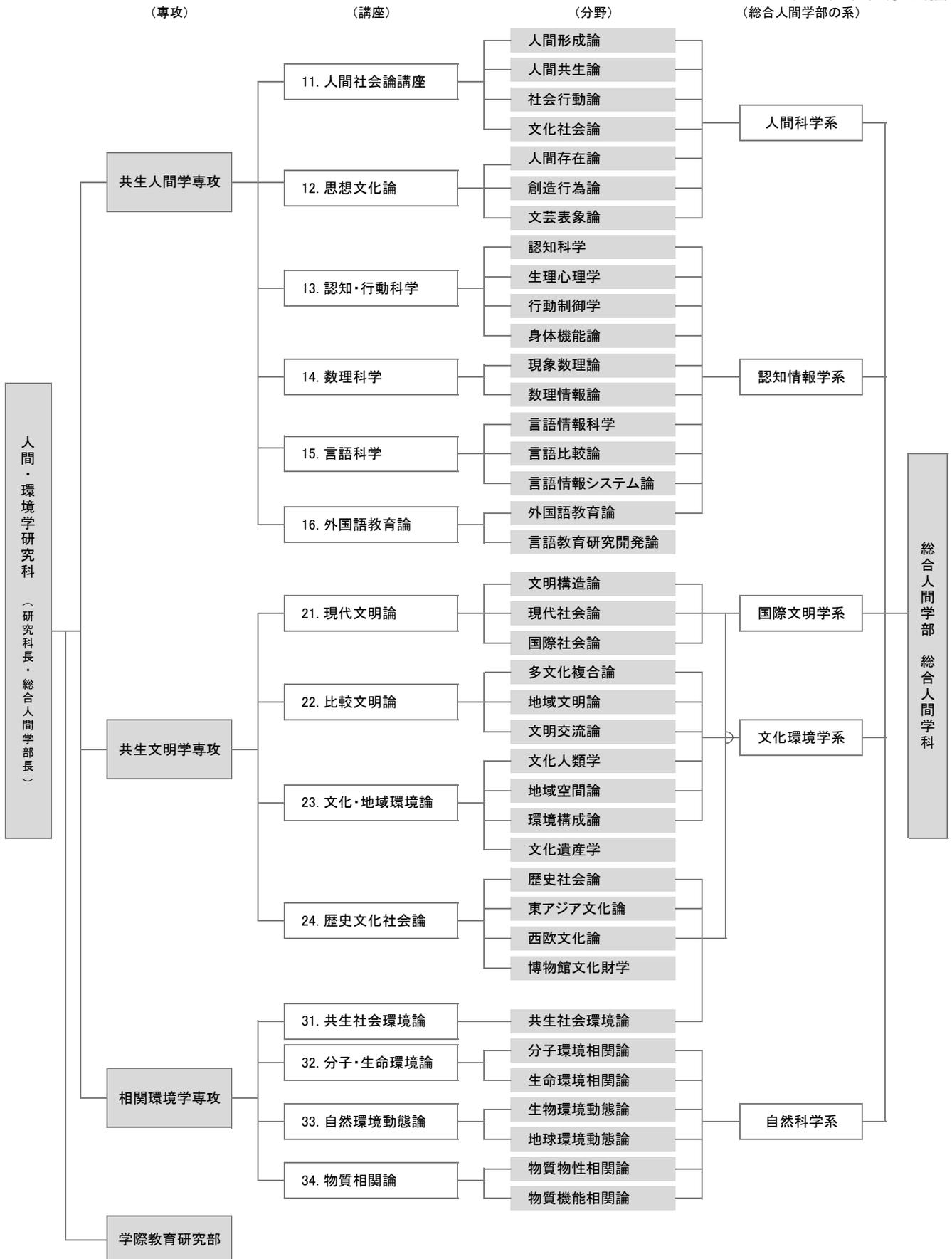
研究教育体制

1. 研究教育体制

【資料 1-1】 研究教育組織

(2019 (H31) 年 4 月 1 日現在)

(総合人間学部 系)



【資料 1-2】他部局ならびに学外諸機関との協力体制

(2019 (R01) 年 5 月 1 日現在)

区分	部局・機関名	人間・環境学研究所					総合人間学部			
		人数					講座	人数		
		兼任	流動	協力	客員	連携		兼任	流動	協力
学内他部局	情報学研究科								2	認知情報学系(認知・行動科学)(2)
	生命科学研究所								2	自然科学学系(生物化学)(2)
	地球環境学舎・地球環境学舎		7				23.文化・地域環境論講座(1) 31.共生社会論講座(1) 33.分子・生命環境論講座(5)		7	文化環境学系(文化・地域環境論)(1) 国際文明学系(社会相関論)(1) 自然科学学系(化学・物質科学)(2) 自然科学学系(生物科学)(3)
	附置研究所				1		23.文化・地域環境論講座(1)			
	ウイルス・再生医科学研究所 附属感染症モデル研究センター				1		33.自然環境動態論講座(1)			
	教育研究施設等				2		15.言語科学講座(2)		1	認知情報学系(言語科学)(1)
	大学院生命科学研究所附属 放射線生物研究センター				2		32.分子・生命環境論講座(2)			
	こころの未来研究センター				2		13.認知・行動科学講座(2)		1	認知情報学系(認知・行動科学)(1)
	国際高等教育院		6				12.思想文化論講座(1) 13.認知・行動科学講座(1) 14.数理科学講座(1) 21.現代文明論講座(1) 24.歴史文化社会論講座(1) 31.共生社会環境論講座(1)		6	人間科学系(文芸表象論)(1) 認知情報学系(認知・行動科学)(1) 認知情報学系(数理情報)(1) 国際文明学系(社会相関論)(2) 国際文明学系(歴史文化社会論)(1)
	国際高等教育院附属国際学術言語 教育センター				3		13.認知・行動科学講座(1) 34.物質相関論講座(2)			
環境安全保健機構 附属放射線同位元素総合センター				6		16.外国語教育論講座(6)				
環境安全保健機構 附属放射線同位元素総合センター				2		32.分子・生命環境論講座(1) 34.物質相関論講座(1)				
学外機関	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所				5		23.文化・地域環境論講座(5)			
	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館				4		24.歴史文化社会論講座(4)			
	独立行政法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所					1	13.認知・行動科学講座(1)			
合計		6	7	19	9	1		6	7	6

注) () 内の数字は講座内、学系内の人数

【資料1-3】人間・環境学研究所 教員構成

協力教員 派流動教員 併任教員 客員教員 学外教員 総合人間学部兼任教員 学外非常勤講師 2019(令和1)年5月1日現在

大学院	学部	講座名	分野名	教授	准教授	講師	助教		
共生人間学専攻	人間科学系	11 人間社会論	人間形成論	倉石 一郎 大倉 得史	松本 卓也 石岡 学 ニコラ タジャン(特定准教授)				
			人間共生論	連携機関：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所					
			社会行動論	吉田 純 永田 素彦	柴田 悠				
		文化社会論	田邊 玲子 松田 英男 多賀 茂	木下 千花					
		12 思想文化論	人間存在論	佐藤 義之 安部 浩 戸田 剛文	青山 拓央				
			創造行為論	岡田 温司	森山 智成 武田 宙也				
	文芸表象論		水野 尚之 廣野由美子 ^併 奥田 敏広	小島 基洋					
	13 認知・行動科学	認知科学	齋木 潤 月浦 崇 小村 豊 ^協 内田由紀子 ^協			山本 洋紀			
		生理心理学	宮内 哲 ^学 連携機関：国立研究開発法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所						
		行動制御学	石原 昭彦 神崎 素樹 ^併 久代 恵介	田中 真介 ^協					
		身体機能論	林 達也 船曳 康子			江川 達郎			
	14 数理科学	現象数理論	上木 直昌 清水 扇丈 足立 匡義 ^併 角 大輝	木坂 正史					
		数値情報論	立木 秀樹 日置 尋久	櫻川 貴司	マシューディブレクト(特定講師)				
	15 言語科学	言語情報科学	藤田 耕司 谷口 一美	守田 貴弘					
		言語比較論	服部 文昭 河崎 靖 増辻 正剛 ^協	西脇麻衣子 南條 浩輝 ^協					
	16 外国語教育論	外国語教育論	西山 教行	中森 誉之 ビーターソン, マーク					
言語教育研究開発論		スチュワート, テイモシー ^協	ダルスキー, デビッド ^協 塚原 信行 ^協 高橋 幸 ^協 金丸 敏幸 ^協 笹尾 洋介 ^協						
共生環境学専攻	21 現代文明論	文明構造論	江田 憲治 大川 勇 細見 和之 ^併 那須 耕介			細川 浩 ^協			
		現代社会論	大黒 弘慈	柴山 桂太		橋岡 大介			
		国際社会論	土屋 由香	見平 典 齋藤 嘉臣					
	22 比較文明論	多文化複合論	小倉 紀蔵	勝又 直也					
		地域文明論	赤松 紀彦 太田 出						
		文明交流論	岡 真理	中筋 朋					
	23 文化・地域環境論	文化人類学	風間 計博	岩谷 彩子 ^流 石井 美保 ^協	コーカーケイトリン・クリスティーン(特定講師)	梶丸 岳			
		地域空間論	小島 泰雄 小方 登 山村 亜希						
		環境構成論	増井 正哉 中嶋 節子			藤原 学 佐野 泰之(特定助教)			
		文化遺産学	玉田 芳英 ^客 高妻 洋成 ^客 尾野 善裕 ^客	馬場 基吾 山崎 健 ^客	* = 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所				
	24 歴史文化社会論	歴史社会論	元木 泰雄 合田 昌史	吉江 崇	バツバツガイ(特定講師)				
		東アジア文化論	道坂 昭廣 辻 正博 ^併 須田 千里	佐野 宏 長谷川千尋 松江 崇					
		西欧文化論	水野 真理 桂山 康司	池田 寛子					
		博物館文化財学	宮川 禎一 ^客 山川 暁 ^客	浅瀨 毅 ^客 大原 嘉豊 ^客	* = 独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館				
	31 共生社会環境論	共生社会環境論	浅野 耕太 小畑 史子 ^併 佐野 亘 ^流 宇佐美 誠 ^協 (授業担当)						
		32 分子・生命環境論	分子環境相関論	津江 広人 小松 直樹 藤田 健一	廣戸 聡	高橋 弘樹 新林 卓也			
生命環境相関論			宮下 英明 川本 卓男 ^協 高田 穰 ^協	土屋 徹 小林 純也 ^協	神川 龍馬 藤吉 奏(特定助教)				
33 自然環境動態論		生物環境動態論	加藤 眞 瀬戸口浩彰 ^流 市岡 孝朗	西川 完途 ^流 三浦 智行 ^協	磯野 恭子 阪口 翔太 ^流 佐藤 博俊				
	地球環境動態論	鎌田 浩毅 阪上 雅昭 石川 尚人 酒井 敏 杉山 雅人 梶井 克純 ^流 小木曾 哲		加藤 護 坂本 陽介 ^流					
34 物質相関論	物質物性相関論	吉田 鉄平 高木 紀明 森成 隆夫 舟橋 春彦 ^協	藤原 直樹 木下 俊哉	小山田 明 渡邊 雅之 佐野 光貞 小西 隆士 大槻 太毅					
	物質機能相関論	内本 喜晴 田部勢津久 吉田 寿雄 中村 敏浩 ^協	戸崎 充男 ^協	上田 純平 山本 旭 山本健太郎 内山 智貴(特定助教)					
		千坂 修 ^協	吉村 成弘 ^協						

の分野については、学生の募集は行わない

学際教育研究部	大学院教育研究推進部門	学部教育研究推進部門	講演会・地域連携等推進部門	広報活動・プロジェクト等推進部門	(兼) 野村龍一(白眉センター特定准教授) (兼) 丸山善宏(白眉センター特定助教)
部長(兼) 阪上雅昭教授 副部長(兼) 水野尚之教授 特定助教(兼) 佐野泰之	(兼) 齋木 潤 教授 (兼) 津江広人 教授 (兼) 谷口一美 教授	(兼) 月浦 崇 教授 (兼) 戸田剛文 教授 (兼) 大倉得史 教授	(兼) 田部勢津久 教授 (兼) 岡田温司 教授 (兼) 宮下英明 教授 (兼) 永田素彦 教授	(兼) 日置尋久 教授 (兼) 小倉紀蔵 教授 (兼) 佐野 宏 准教授 (兼) 柴山桂太 准教授	
外国人教師	(ドイツ語) トラウデン, ディーター		(フランス語) メニル, エヴリーヌ		

【資料 1-4】総合人間学部 教員構成

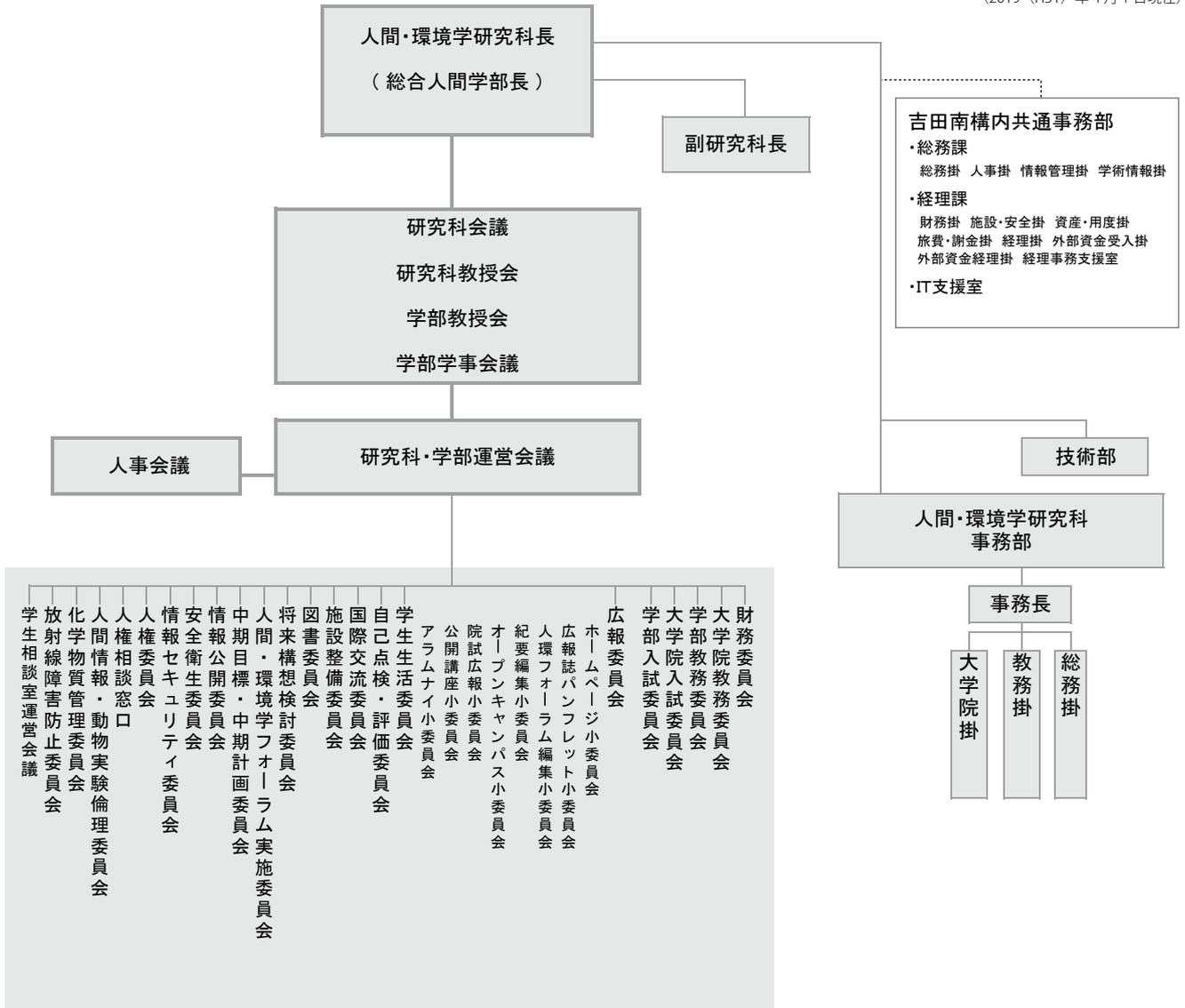
^併併任教員(人間・環境学研究所) ^流流動教員(人間・環境学研究所) ^協協力教員 2019 (R01) 年 5 月 1 日現在

学系	関係名 (授業科目グループ)	教授	准教授	講師	助教
人間科学系	人間形成論	倉石 一郎 大倉 得史	松本 卓也 石岡 学 ニコラ タジャン(特定准教授)		
	社会行動論	吉田 純 永田 素彦	柴田 悠		
	文化社会論	田邊 玲子 多賀 茂 松田 英男	木下 千花		
	人間存在論	佐藤 義之 安部 浩 戸田 剛文	青山 拓央		
	創造行為論	岡田 温司	栗山 智成 武田 宙也		
	文芸表象論	水野 尚之 廣野由美子 ^併 奥田 敏広	小島 基洋		
認知情報学系	認知・行動科学	齋木 潤 石原 昭彦 林 達也 神崎 素樹 ^併 神谷 之康 ^流 小村 豊 ^流 月浦 崇 久代 恵介 船曳 康子		細川 浩 ^流	山本 洋紀 江川 達郎
	数理情報論	立木 秀樹 上木 直昌 日置 尋久 清水 扇文 足立 匡義 ^併 角 大輝	木坂 正史 櫻川 貴司	マシュー ディブ レクト(特定講師)	
	言語科学	服部 文昭 壇辻 正剛 ^流 藤田 耕司 河崎 靖 谷口 一美	守田 貴弘 西脇 麻衣子		
	外国語教育論	西山 教行	中森 誉之 ビーターソン,マーク		
	社会相関論	江田 憲治 大川 勇 浅野 耕太 小畑 史子 ^併 大黒 弘慈 佐野 亘 ^流 細見 和之 ^併 土屋 由香 那須 耕介	見平 典 齋藤 嘉臣 柴山 桂太		鶴飼 大介
歴史文化社会論	元木 泰雄 須田 千里 水野 真理 道坂 昭廣 合田 昌史 辻 正博 ^併 桂山 康司	佐野 宏 長谷川千尋 池田 寛子 吉江 崇 松江 崇	ハッテ,パツガイ (特定講師)		
	比較文明論	赤松 紀彦 岡 真理 小倉 紀蔵 太田 出	勝又 直也 中筋 朋		
文化・地域環境論	小方 登 小島 泰雄 風間 計博 中嶋 節子 増井 正哉 山村 亜希	岩谷 彩子 ^流	コカー,ケイトリン・クリ スティアン(特定講師)	藤原 学 梶丸 岳	
	(物理科学)	阪上 雅昭 吉田 鉄平 森成 隆夫 高木 紀明	藤原 直樹 木下 俊哉		小山田 明 渡邊 雅之 佐野 光貞 小西 隆士 大槻 太毅
(化学・物質科学)	内本 喜晴 杉山 雅人 田部勢津久 梶井 克純 ^流 津江 広人 吉田 寿雄 藤田 健一 小松 直樹	廣戸 聡		高橋 弘樹 上田 純平 坂本 陽介 ^流 山本 旭 新林 卓也	
	(生物科学)	加藤 真 瀬戸口浩彰 ^流 宮下 英明 市岡 孝朗 千坂 修 ^流	西川 完途 ^流 土屋 徹 吉村 成弘 ^流	幡野 恭子 阪口 翔太 ^流 神川 龍馬 佐藤 博俊	
(地球科学)	鎌田 浩毅 石川 尚人 酒井 敏 ^併 小木曾 哲			加藤 護	

・自然科学系の「関係名」欄は専門分野名を表す。

【資料 1-5】管理運営組織

(2019 (H31) 年 4月 1日現在)



【資料 1-6】委員会組織

<p>財務委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を審議する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 予算の作成、執行及び決算に関すること 2) 中・長期に渡る財務計画に関すること 3) 資産管理に関すること 4) その他財務に関すること 	<p>大学院人間・環境学研究所教務委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教科の基準に関すること 2) 教科の教育的方策に関すること 3) 授業の総括的計画の編成及び実施に関すること 4) 成績評価についての基準の設定および成績表の点検に関すること 5) 履修指導に関すること 6) その他大学院学生の教務全般に関すること
<p>総合人間学部教務委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教科の基準に関すること 2) 教科の教育的方策に関すること 3) 授業の総括的計画の編成及び実施に関すること 4) 成績評価についての基準の設定および成績表の点検に関すること 5) 履修指導に関すること 6) 卒業判定資料に関すること 7) その他学部学生の教務全般に関すること 	<p>大学院人間・環境学研究所入試委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 修士課程及び博士後期課程編入学試験募集要項案の作成に関すること 2) 入学試験の実施に関すること 3) 修士課程第1次試験合格者の決定に関すること 4) 修士課程及び博士後期課程編入学試験合格者の内定に関すること 5) 博士後期課程進学者の内定に関すること 6) その他前各号の目的に関すること
<p>総合人間学部入試委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試に関すること 2) 特色入試に関すること 3) 転学部、編入学等に関すること 4) 入学者選抜方法の調査・研究に関すること 5) その他前各号の目的に関連すること 	<p>広報委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 部局広報の編集・発行に関すること 2) オープンキャンパス及び院入試説明会の対応に関すること 3) 部局案内パンフレットの編集・発行に関すること 4) ホームページの対応に関すること 5) 卒業生及び修了生の連携に関すること 6) 部局紀要及び人環フォーラムの編集・発行に関すること 7) その他、部局の広報に関すること
<p>学生生活委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学院学生及び学部学生の生活と修学に関すること 2) 大学院学生及び学部学生の厚生補導に関すること 3) 大学院学生及び学部学生の課外活動に関すること 4) 授業料の免除に関すること 5) 日本学生支援機構奨学生に関すること 6) 大学院学生及び学部学生の学生の進路に関すること 7) 大学院学生及び学部学生の集会和び掲示に関すること 8) その他前各号の目的に関すること 	<p>自己点検・評価委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己点検・評価の基本方針及び実施に関すること 2) 自己点検・評価の事項及び項目に関すること 3) 自己点検・評価の報告書の作成及び公表に関すること 4) その他自己点検・評価に関すること
<p>国際交流委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際交流に関すること 2) 外国人留学生に関すること 3) 海外派遣に関すること 4) その他国際交流に関すること 	<p>施設整備委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 施設の管理、整備及び修繕に関すること 2) 敷地利用に関すること 3) その他施設整備に関すること
<p>図書委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 図書など文献・資料の収集に関すること 2) 図書など文献・資料の予算配分に関すること 3) その他図書に関すること 	<p>将来構想検討委員会</p> <p>研究科および学部における中・長期的な将来構想計画（人事の配置を含む）の企画、立案に関する事項を所掌する</p>
<p>人間・環境学フォーラム実施委員会</p> <p>次の事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間・環境学フォーラムの実施に関すること 2) その他人間・環境学フォーラム実施に関し必要なこと 	<p>中期目標・中期計画委員会</p> <p>人間・環境学研究所及び総合人間学部における中期目標・中期計画に関する事項を所掌する</p>
<p>情報公開委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を審議する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 法人文書開示請求に対する開示（部分開示含む）又は不開示に関すること 2) 保有個人情報の開示請求に対する開示（部分開示含む）又は不開示に関すること 3) その他、開示請求に関し必要なこと 	<p>安全衛生委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 安全衛生に関すること 2) 労働災害防止など安全対策に関すること 3) 環境の保全に関すること 4) 実験排水・廃棄物等の管理に関すること 5) その他安全衛生と環境保全等に関し必要なこと
<p>情報セキュリティ委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を所掌する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報セキュリティ対策の指導及び監査に関すること 2) 情報セキュリティポリシー策定評価、見直し及び実施に関すること 3) コンピュータ不正アクセス発生時における調査及び対策に関すること 4) 情報ネットワークの管理・運営に関すること 5) 情報関連機器の管理・運営及び情報関連機器に格納されている情報の管理・運用に関すること 6) ライセンス管理に関すること 7) 視聴覚関連機器の管理・運営に関すること 8) その他情報セキュリティに関すること 	<p>人権委員会</p> <p>人間・環境学研究所及び総合人間学部における同和問題等人権問題及びハラスメント問題（以下「人権問題等」という。）の防止に関し必要な事項及び人権問題等が生じた場合の対応を行うことを目的とする</p>
<p>人間情報・動物実験倫理委員会</p> <p>次の各号に掲げる事項を審議する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究責任者又は実験責任者から申請された研究計画に関すること 2) 人間情報研究及び動物実験に必要な施設及び設備に関すること 3) 人間情報研究及び動物実験に伴う衛生・安全管理に関すること 4) 実験動物の適切な飼育と使用の監視に関すること 5) その他委員会が必要と認めること 	<p>化学物質管理委員会</p> <p>研究科における化学物質の管理に関し必要な事項を審議する</p>
<p>人間・環境学研究所 / 総合人間学部学生相談室要項</p> <p>次の各号に掲げる業務を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究科の大学院学生及び総合人間学部の学部学生の学生生活上の相談に応じ指導助言を行うこと 2) 学生生活上の問題に係る啓発活動に関すること 3) その他学生相談に関すること 	

【資料 1-7】教員数の推移

人間・環境学研究科

2014(H26)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (7) [1]	34 (4) [2]	1 (1)	17 (3)	121 (15) [3]	103 (11) [3]
流動	3	2		2	7	5
併任	6				6	6
協力	11 [1]	6 (2) [1]			17 (2) [2]	17 (1) [2]
客員	6	3			9	9
合計	95 (7) [2]	45 (6) [3]	1 (1)	19 (3)	160 (15) [5]	140 (11) [5]

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

総合人間学部

2014(H26)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (7) [1]	34 (4) [2]		17 (3)	120 (13) [3]	103 (10) [3]
流動	3	2		2	7	5
併任	6				6	6
学部 兼任	6 [1]	1	1		8 [1]	8 [1]
合計	84 (7) [2]	37 (3) [2]	1	19 (3)	141 (13) [4]	122 (10) [4]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2015(H27)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	72 (7) [1]	30 (4) [1]	1 (1)	15 (2)	118 (14) [2]	102 (11) [2]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
協力	10 [1]	11 (3) [2]			21 (3) [3]	21 (3) [3]
客員	6	4 (1)			10 (1)	10 (1)
合計	97 (9) [2]	47 (9) [3]	1 (1)	17 (2)	162 (21) [5]	144 (18) [5]
特定			1 (1) [1]		1 (1)	
基幹教員 特定教員	72 (7) [1]	30 (4) [1]	2 (2) [1]	15 (2)	119 (15) [3]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2015(H27)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	71 (7) [1]	30 (4) [1]		15 (2)	116 (13) [2]	101 (11) [2]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
学部 兼任	5 [1]	1	1		7 [1]	7 [1]
合計	85 (9) [2]	33 (5) [1]	1	17 (2)	136 (16) [3]	119 (14) [3]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2016(H28)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (8) [1]	31 (5) [1]	1 (1)	16 (1)	117 (15) [2]	100 (13) [2]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
協力	9 [1]	12 (3) [2]			21 (3) [3]	21 (3) [3]
客員	5	4 (1)			9 (1)	9 (1)
合計	92 (10) [2]	49 (10) [3]	1 (1)	18 (1)	160 (22) [3]	141 (20) [3]
特定			2 (1) [2]		2 (1) [2]	
基幹教員 特定教員	69 (8) [1]	31 (5) [1]	3 (2) [2]	16 (1)	119 (16) [4]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2016(H28)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (8) [1]	31 (5) [1]		16 (1)	116 (14) [2]	100 (13) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
学部 兼任	4 [1]	1	1		6 [1]	6 [1]
合計	82 (10) [2]	34 (6) [1]	1	18 (1)	135 (17) [3]	117 (16) [3]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

人間・環境学研究所

2017(H29)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	67 (10)	30 (5) [1]	1 (1)	16 (1)	114 (17) [1]	97 (15) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6				6	6
協力	8	12 (3) [2]			20 (3) [2]	20 (3) [2]
客員	5	4 (1)			9 (1)	9 (1)
合計	89 (10)	48 (10) [3]	1 (1)	18 (1)	156 (22) [3]	137 (20) [3]
特定			2 (1) [2]	2	4 (1) [2]	
基幹教員 特定教員	67 (10)	30 (5) [1]	3 (2) [2]	18 (1)	118 (18) [3]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2018(H30)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (10)	28 (4) [1]	1 (1)	18 (1)	116 (17) [1]	97 (15) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (1)				6 (1)	6 (1)
協力	8 [1]	12 (3) [1]			20 (3) [2]	20 (3) [2]
客員	5 (1)	4			9 (1)	9 (1)
合計	91 (12) [1]	46 (8) [2]	1 (1)	20 (1)	158 (22) [3]	137 (20) [3]
特定			2 (1) [2]	4 (1)	6 (2) [2]	
基幹教員 特定教員	69 (10)	28 (5) [1]	3 (2) [2]	22 (1)	122 (18) [3]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2019(R01)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (9)	28 (5) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
協力	8 (1) [1]	11 (2) [1]			19 (3) [2]	19 (3) [2]
客員	5 (1)	4			9 (1)	9 (1)
合計	91 (13) [1]	45 (8) [2]	0	20 (1)	156 (22) [3]	136 (21) [3]
特定		1 [1]	3 (2) [3]	4 (1)	8 (3) [4]	
基幹教員 特定教員	69 (10)	29 (5) [1]	3 (2) [2]	22 (2)	123 (18) [5]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

総合人間学部

2017(H29)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	67 (10)	30 (5) [1]		16 (1)	113 (16) [1]	97 (15) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6				6	6
学部 兼任	4	1	1		6	6
合計	80 (10)	33 (6) [1]	1	18 (1)	132 (17) [1]	114 (16) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2018(H30)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (10)	28 (4) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (1)				6 (1)	6 (1)
学部 兼任	4	1	1		6	6
合計	82 (11)	31 (5) [1]	1	20 (1)	134 (17) [1]	114 (16) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

2019(R01)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹	69 (10)	28 (5) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任	6 (2)				6 (2)	6 (2)
学部 兼任	4	1	1		6	6
合計	82 (11)	31 (5) [1]	1	20 (1)	134 (17) [1]	114 (16) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数を示す。
・() 女性教員、[] 外国籍教員、いずれも内数。

【資料 1-8】教員の年齢・性別構成

(2018 (H30) 年 4 月 1 日現在)

年齢階層	教授		准教授		講師		助教		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
21～30							2		2	0
31～40			6				7		13	0
41～50	14	3	14	4			6		34	7
51～60	33	4	4				2	1	39	5
61～65	12	3				1			12	4
小計	59	10	24	4	0	1	17	1	100	16
合計	69		28		1		18		116	

(2019 (H31) 年 4 月 1 日現在)

年齢階層	教授		准教授		講師		助教		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
21～30							1		1	0
31～40			5	1			7		12	1
41～50	12	4	13	4			3		28	8
51～60	31	3	5				6	1	42	4
61～65	17	2							17	2
小計	60	9	23	5	0	0	17	1	100	15
合計	69		28		0		18		115	

【資料 1-9】授業科目の担当状況

(2019 (R01) 年度)

		開講授業数			専任教員の担当率 (%)
		専任教員担当*1	非常勤講師担当	合計	
総合人間学部	人間科学系	91	11	102	89.2
	認知情報学系	66	7	73	90.4
	国際文明学系	84	12	96	87.5
	文化環境学系	50	3	53	94.3
	自然科学系	109	0	109	100.0
	合計	400	33	433	92.4
人間・環境学研究科 【修士課程】	共生人間学専攻	134	7	141	95.0
	共生文明学専攻	133	8	141	94.3
	関連環境学専攻	86	0	86	100.0
	合計	353	15	368	95.9

*1 流動教員、協力教員、客員教員を含む

【資料 1-10】事務職員・技術職員の配置状況

(2019 (H31) 年 4 月 1 日現在)

組織名	配置状況		
	常勤職員	非常勤職員	
事務職員	事務長	1	
	副事務長	1	
	総務掛	2	14
	教務掛	3	3
	大学院掛	2	3
技術職員	7		
合計	16	20	



総合人間学部

2. 総合人間学部

【資料 2-1】 学生数の推移 (総合人間学部)

(各年度 5 月 1 日現在)

年度	男	女	計	指導教員数	教員 1 人当たり 学生数
2014 (H26)	418 (0)	163 (0)	581 (0)	121	4.80
2015 (H27)	420 (1)	172	592 (1)	120	4.93
2016 (H28)	425 (1)	167 (1)	592 (2)	118	5.02
2017 (H29)	424 (2)	162 (2)	586 (4)	114	5.14
2018 (H30)	421 (3)	163 (3)	584 (6)	114	5.12
2019 (R01)	424 (2)	151 (5)	575 (7)	114	5.04

注) ()内の数字は留学生で内数。

【資料 2-2】 入学状況 (総合人間学部)

(一般入試)

年度	総合人間学部						学力検査区別											
							文系					理系						
	募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	入学 定員 充足率	募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	入学 定員 充足率	募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	入学 定員 充足率
2014 (H26)	120	454	394	124	124	1.03	65	207	202	67	67	1.03	55	247	192	57	57	1.03
2015 (H27)	120	412	401	124	124	1.03	65	231	226	67	67	1.03	55	181	175	57	57	1.03
2016 (H28)	115	518	398	119	119	1.03	62	283	215	65	65	1.04	53	235	183	54	54	1.01
2017 (H29)	117	470	403	121	120	1.02	63	255	218	65	65	1.03	54	215	185	56	55	1.01
2018 (H30)	115	462	396	118	118	1.02	62	262	216	63	63	1.01	53	200	180	55	55	1.03
2019 (H31)	115	417	387	118	118	1.02	62	240	215	63	63	1.01	53	117	172	55	55	1.03

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、 残余の募集人員は一般入試の募集人員に加える。

(特色入試)

年度	総合人間学部					
	募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	入学 定員 充足率
2016 (H28)	5	29	29	5	5	1.00
2017 (H29)	5	16	16	3	3	0.60
2018 (H30)	5	43	42	5	5	1.00
2019 (H31)	5	35	34	5	5	1.00

(一般入試+特色入試)

年度	総合人間学部					
	募集 人員	志願者 数	受験者 数	合格者 数	入学者 数	入学 定員 充足率
2016 (H28)	120	547	427	124	124	1.03
2017 (H29)	120	486	419	124	123	1.02
2018 (H30)	120	505	438	123	123	1.02
2019 (H31)	120	452	422	123	123	1.02

【資料 2-3】 編入学生の受入状況 (総合人間学部)

入学年度	志願者数	合格者数	入学者数	入学者の出身学部
2014 (H26)	0	0	0	
2015 (H27)	1	1	1	法学部
2016 (H28)	0	0	0	
2017 (H29)	0	0	0	
2018 (H30)	3	2	2	理学部 (2)
2019 (H31)	1	1	1	工学部

【資料 2-4】転学部の状況（総合人間学部）

年度	転入			転出				
	2回生	3回生	計	1回生	2回生	3回生	4回生	計
2009 (H21)	4	4	8	0	0	0	0	0
2010 (H22)	2	1	3	1	0	0	0	1
2011 (H23)	3	3	6	1	0	0	0	1
2012 (H24)	4	4	8	1	0	1	0	2
2013 (H25)	5	0	5	0	0	0	0	0
2014 (H26)	6	0	6	1	1	0	0	2
2015 (H27)	6	1	7	0	1	0	0	1
2016 (H28)	5	3	8	0	0	0	0	0
2017 (H29)	5	3	8	0	0	0	0	0
2018 (H30)	3	1	4	1	0	0	0	1
2019 (R01)	4	6	10	0	0	0	0	0
合計	47	26	63	5	2	1	0	8

注) 転入の回生は、総合人間学部の受入年次を示す。転出の回生は、転出前の総合人間学部の年次を示す。

内訳

(2009(H21)-2019(R01)年度)

学部	転入			転出				
	2回生	3回生	計	1回生	2回生	3回生	4回生	計
文学部	4	3	7	1	1			2
教育学部			0					0
法学部	5	1	6	3				3
経済学部	3		3	1	1			2
理学部	7	4	11					0
医学部*	4	1	5			1		1
薬学部	2		2					0
工学部	15	10	25					0
農学部	3	1	4					0
合計	43	20	63	5	2	1	0	8

注) 転入の回生は、総合人間学部の受入年次を示す。転出の回生は、転出前の総合人間学部の年次を示す。
 ※ 医学部医学科は転入制度なし (H15 保健学科設置 H20 人間健康科学科に改称)

【資料 2-5】留年・休学・退学の状況（総合人間学部）

年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
留年者	71	67	81	74	71	74
休学者	37	35	36	40	40	28
退学者	7	7	3	3	8	4

注) ・留年者、休学者については、各年度5月1日現在の人数
 ・退学者については、各年度末時点の人数

【資料 2-6】分属の状況

入学年度	2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
未分属*1	2		2	1		1	0	0	0	1		1	1		1
人間科学系	22	15	37	23	12	35	30	18	48	19	9	28	20	9	29
認知情報学系	35	13	48	28	5	33	24	7	31	37	12	49	30	13	43
国際文明学系	15	7	22	18	14	32	21	4	25	16	4	20	14	8	22
文化環境学系	4	4	8	9	5	14	7	5	12	9	6	15	8	7	15
自然科学系	9	3	12	8	3	11	11	0	11	8	2	10	15	4	19
合計	87	42	129	87	39	126	93	34	127	90	33	123	88	41	129

*1 学系への分属は2回生より行われる。

【資料 2-7】各学系の授業形態（総合人間学部）

(2019 (令和 1) 年度)

学系名	区分	講義	演習・ゼミ	実習・実験	小計	合計
人間科学系	学部科目	52	75	2	129	180
	全学共通科目	39	12	0	51	
認知情報学系	学部科目	46	46	8	100	135
	全学共通科目	26	8	1	35	
国際文明学系	学部科目	96	96	0	192	223
	全学共通科目	18	13	0	31	
文化環境学系	学部科目	36	50	4	90	125
	全学共通科目	25	10	0	35	
自然科学系	学部科目	28	39 ^{*1}	0	67	132
	全学共通科目	52	7	6	65	

注)・各学系の主専攻表(別表を含む)に掲載されている授業科目数である
 ・学部特殊講義を含む
^{*1}自然科学系学部科目の「演習」には実験が含まれている

【資料 2-8】授業形態別履修者数（総合人間学部）

(2018 (平成 30) 年度)

	科目コマ数	履修者数	平均履修者数
講義	173	3,891	22.5
演習	195	1,235	6.3
ゼミ	63	423	6.7
実験・実習	13	83	6.4
合計	444	5,632	

注)・講義・講読は演習に含まれる
 ・自然科学系学部科目の「演習」には実験が含まれている

【資料 2-9】総人ゼミの開講状況

年度	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
開講ゼミ数	7	8	10	5	6
受講者数	16	26	29	14	22

【資料 2-10】他学部聴講の状況

部局名	2014(H26)		2015(H27)		2016(H28)		2017(H29)		2018(H30)	
	人数	単位数								
文学部	34	222	36	197	36	175	27	136	38	189
教育学部	23	97	20	103	29	98	36	123	23	154
法学部	10	88	10	96	5	52	4	34	10	60
経済学部	32	226	27	190	17	122	19	110	37	214
理学部	21	148	24	124	22	127	27	237	27	192
医学部 (人間健康科学科)	2	4	3	8	1	2	0	0	0	0
薬学部	4	14	3	8	1	6	1	4	0	0
工学部	17	108	13	116	17	138	13	102	21	209
農学部	9	58	2	8	9	36	5	25	9	36
合計	152	965	138	850	137	756	132	771	165	1054

注)教育学部は教職科目の聴講を除く

【資料 2-11】単位互換制度の利用状況（総合人間学部）

人数（単位数）

大学名	年度	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
延世大学(大韓民国)				1(27)		
北京大学(中国)		1(12)				1(23)
復旦大学(中国)		1(4)				1(10)
香港大学(中国)				1(13)		
南洋理工大学(シンガポール)						1(18)
ハワイ大学(アメリカ合衆国)				1(18)		
ペンシルベニア大学(アメリカ合衆国)		1(7)				
ワシントン大学(アメリカ合衆国)		1(2)			1(17)	1(16)
ウイスコンシン大学(アメリカ合衆国)			1(21)			
マギル大学(カナダ)				1(24)		
アイルランド国立大学ダブリン校(アイルランド)				1(17)		
マンチェスター大学(イギリス)					1(9)	
サウサンプトン大学(イギリス)				1(9)		
エディンバラ大学(イギリス)				1(10)		1(5)
リーズ大学(イギリス)						1(5)
ミラノ工科大学(イタリア)						1(29)
ウィーン大学(オーストリア)			1(2)			
ローザンヌ大学(スイス)					1(12)	
チューリッヒ大学(スイス)					1(5)	
ベルリン自由大学(ドイツ)			1(5)			
ボン大学(ドイツ)					1(10)	
グルノーブル政治学院(フランス)				1(16) 1(21)		
バルセロナ大学(スペイン)						1(6)
ヘルシンキ大学(フィンランド)		1(12)				
ニューサウスウェールズ大学(オーストラリア)		1(14)				
オークランド大学(ニュージーランド)			1(16)			
グアダラハラ大学(メキシコ)		1(11)			1(25)	
SJC スタンフォード大学日本センター(日本) Stanford Program in Kyoto			1(2)	1(2)	3(6)	
KCJS 京都アメリカ大学コンソーシアム(日本)				1(2)		
人数		7	6	11	7	8

注) 留学期間ではなく単位認定を行った年度である。

【資料 2-12】入学前既修得単位の認定状況（総合人間学部）

年度	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R01)
認定学生数	0	1	1	2	5	1
認定単位数	0	28	38	72	118.5	12

【資料 2-13】成績評価の方法（総合人間学部）

2019(令和1)年度

学系	科目種類	科目数	評価項目採用率(科目数に対する割合)									評価項目数(%)			
			① 出席	② 平常点	③ 授業態度	④ 発表	⑤ レポート	⑥ 期末レポート レポート試験	⑦ 小テスト課題	⑧ 期末試験	⑨ その他*1	1	2	3	4以上
人間科学系	講義	40	20.0%	5.0%	30.0%	15.0%	35.0%	30.0%	25.0%	27.5%	0.0%	50.0%	27.5%	12.5%	10.0%
	ゼミ・演習	65	33.8%	23.1%	60.0%	41.5%	20.0%	13.8%	10.8%	7.7%	10.8%	16.9%	47.7%	32.3%	3.1%
認知情報学系	講義	36	36.1%	13.9%	11.1%	5.6%	27.8%	22.2%	41.7%	22.2%	19.4%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	ゼミ・演習 実験・実習	47	63.8%	12.8%	44.7%	34.0%	36.2%	8.5%	21.3%	6.4%	2.1%	14.9%	48.9%	31.9%	4.3%
国際文明学系	講義	63	17.5%	3.2%	31.7%	11.1%	30.2%	27.0%	15.9%	39.7%	17.5%	36.5%	42.9%	11.1%	9.5%
	ゼミ・演習	59	49.2%	18.6%	64.4%	76.3%	11.9%	25.4%	6.8%	8.5%	0.0%	6.8%	40.7%	40.7%	11.9%
文化環境学系	講義	21	33.3%	23.8%	38.1%	14.3%	23.8%	57.1%	33.3%	4.8%	4.8%	0.0%	76.2%	14.3%	9.5%
	ゼミ・演習・実習	39	41.0%	12.8%	66.7%	61.5%	12.8%	17.9%	25.6%	0.0%	20.5%	10.3%	35.9%	38.5%	15.4%
自然科学系	講義	26	69.2%	3.8%	11.5%	3.8%	53.8%	7.7%	15.4%	38.5%	0.0%	19.2%	57.7%	23.1%	0.0%
	ゼミ・演習・実習	34	55.9%	5.9%	50.0%	29.4%	47.1%	2.9%	14.7%	5.9%	2.9%	14.3%	55.9%	29.4%	0.0%
その他	特殊講義(講義・演習)	3	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	実技	3	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
全体	講義	186	30.2%	7.9%	24.9%	10.1%	32.8%	27.0%	24.3%	29.1%	10.1%	30.7%	46.0%	16.9%	6.3%
	ゼミ・演習	244	47.0%	15.8%	57.1%	49.4%	23.5%	14.6%	14.6%	6.1%	6.9%	12.6%	45.7%	34.4%	7.3%

*1「最終週に実施する試験」、「最終プレゼンテーション」、「コメントペーパー」、「作業」、「予習の達成度」等

【資料 2-14】全学共通科目の開講コマ数 (2018(H30)年度)

(平成 31 年 3 月現在)

提供部局	科目群	人文・社会科学	自然科学	外国語	情報学	健康・スポーツ	キャリア形成	統合科学	少人数教育	大学院共通	大学院横断	総計
総合人間学部	常勤	261	131	437	23	39			42			933
	非常勤	55		611	2	82						750
	未定											0
	小計	316	131	1,048	25	121	0	0	42	0	0	1,683
理学部・総合人間学部	常勤		249									249
	非常勤		64									64
	未定											0
	小計	0	313	0	0	0	0	0	0	0	0	313
人間・環境学研究科	常勤										1	1
	非常勤											0
	未定											0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	常勤	188	258	63	74	33	58	43	254	19	90	1,080
	非常勤	3		64	1		32			12	5	117
	未定											0
	小計	191	258	127	75	33	90	43	254	31	95	1,197
総合計		507	702	1,175	100	154	90	43	296	31	95	3,194

注)・週コマ数で換算、通年科目はコマ数を 2 倍にしている。
 ・提供部局別であるため、教員の所属とは異なる。
 ・自然・応用科学科目群には、物理学実験、基礎化学実験、地球科学実験を含む。
 ・実験科目はすべて総合人間学部へカウントしている
 ・代講分は代表教員の身分でカウントしている
 ・平成 30 年度より大学院横断科目群ができたため、大学院提供分もカウントしている

【資料 2-15】標準修業年限内卒業率と「標準修業年限×1.5」年内卒業率 (総合人間学部)

卒業年度	標準修業年限内卒業率			「標準修業年限×1.5」年内卒業率		
	対象学生数	卒業者数	卒業率	対象学生数	卒業者数	卒業率
2014 (H26)	135	77	57.0%	130	121	93.1%
2015 (H27)	132	84	63.6%	129	119	92.2%
2016 (H28)	131	89	67.9%	134	122	91.0%
2017 (H29)	132	94	71.2%	133	121	91.0%
2018 (H30)	133	98	73.7%	130	118	90.8%

※対象学生数は、入学者数より転出者、転入者、3 年次編入者の数を加減して求めた数 (教務企画課教育情報掛算出)

【資料 2-16】主専攻・副専攻の文理分布

卒業年度		2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)	
主専攻	副専攻	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
文系	文系	51	38.6%	44	32.8%	52	42.3%	58	47.2%
	理系	36	27.3%	37	27.6%	29	23.6%	27	22.0%
	小計	87	65.9%	81	60.4%	81	65.9%	85	60.7%
理系	文系	29	22.0%	36	26.9%	30	24.4%	39	31.7%
	理系	16	12.1%	17	12.7%	12	9.8%	16	13.0%
	小計	45	34.1%	53	39.6%	42	34.1%	55	39.3%
総計		132	100.0%	134	100.0%	123	100.0%	140	100.0%

【資料 2-17】「研究を他者に語る」実施アンケート

「研究を他者に語る」について（平成 28 年度より開始）

「研究を他者に語る」は、卒業予定学生が、自身の卒業論文・卒業研究の内容を異分野の教員（聞き役教員）に「説得的に」語ることを通じて、学術の知とその意義を専門外の人にわかりやすく語りコミュニケーション能力を身につけるとともに、異分野の教員との議論を通じて自分の研究を相対化し客観視することで、多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目的とした制度です。

（平成 31（2019）年度『総合人間学部便覧』21 頁）

学生へのアンケート

		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
	回答数	82	67	60
実施状況（人数）	人間科学系	23	20	13
	認知情報学系	24	19	19
	国際文明学系	12	17	16
	文化環境学系	9	4	8
	自然科学系	14	7	4
	計	82	67	60
「研究を他者に語る」の準備は大変でしたか	1. そう思わない	8.5%	10.4%	20.0%
	2. ややそう思わない	30.5%	28.4%	31.7%
	3. どちらでもない	31.7%	37.3%	20.0%
	4. ややそう思う	22.0%	20.9%	25.0%
	5. そう思う	7.3%	3.0%	3.3%
	計	100.0%	100.0%	100%
卒論・卒研の進行に悪い影響はありましたか	1. そう思わない	67.1%	68.7%	75.0%
	2. ややそう思わない	11.0%	16.4%	16.7%
	3. どちらでもない	12.2%	11.9%	6.7%
	4. ややそう思う	8.5%	3.0%	1.7%
	5. そう思う	1.2%	0.0%	0.0%
	計	100.0%	100.0%	100%
研究の意義を十分に伝えることはできましたか	1. そう思わない	2.4%	0.0%	1.7%
	2. ややそう思わない	8.5%	17.9%	18.3%
	3. どちらでもない	17.1%	10.4%	11.7%
	4. ややそう思う	57.3%	47.8%	56.7%
	5. そう思う	14.6%	23.9%	11.7%
	計	100.0%	100.0%	100%
自分以外の学生の発表を聞きましたか	1. 0人			83.3%
	2. 1人			6.7%
	3. 2人			5.0%
	4. 3人			3.3%
	5. 4人			1.7%
	計			100%
この試みはあなたにとって意義あるものでしたか	1. そう思わない	3.7%	4.5%	8.3%
	2. ややそう思わない	7.3%	9.0%	13.3%
	3. どちらでもない	12.2%	9.0%	6.7%
	4. ややそう思う	47.6%	47.8%	41.7%
	5. そう思う	29.3%	29.9%	30.0%
	計	100.0%	100.0%	100%

聞き役教員へのアンケート

		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
	回答数	100	78	56
学生研究の意義は十分に理解できましたか	1. そう思わない	1.0%	2.6%	1.8%
	2. ややそう思わない	3.0%	2.6%	5.4%
	3. どちらでもない	0.0%	6.4%	5.4%
	4. ややそう思う	44.0%	26.9%	26.8%
	5. そう思う	52.0%	60.3%	58.9%
	無回答	0.0%	1.3%	1.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	
学生にとってプラスになるものでしたか	1. そう思わない	3.0%	0.0%	1.8%
	2. ややそう思わない	3.0%	2.6%	3.6%
	3. どちらでもない	11.0%	9.0%	14.3%
	4. ややそう思う	42.0%	53.8%	39.3%
	5. そう思う	40.0%	33.3%	39.3%
	無回答	1.0%	1.3%	1.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	
この試み自体は意義あるものでしたか	1. そう思わない	5.0%	2.6%	0.0%
	2. ややそう思わない	3.0%	6.4%	7.1%
	3. どちらでもない	9.0%	9.0%	12.5%
	4. ややそう思う	40.0%	37.2%	37.5%
	5. そう思う	41.0%	43.6%	41.1%
	無回答	2.0%	1.3%	1.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	

【資料 2-18】資格取得状況（総合人間学部）

		年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
教員免許	中学一種	社会		2		2		1
		国語			1	3		1
		英語	3	3	1			4
		数学	2	1	3			
		理科			1			2
		保健体育	1					
		小計(免許数)	6	6	6	5	0	8
		高校一種	地理歴史		3	1	3	
	公民		2					
	国語		1	2	3	1	2	
	英語	7	4	1	2		5	
	数学	4	1	4	2		1	
	理科			2			2	
	保健体育	1						
	情報						1	
小計(免許数)	12	11	10	10	1	12		
合計(免許数)	18	17	16	15	1	20		
取得者数(人数)	12	7	10	10	1	32		
司書・学芸員	司書(免許数)	2		1	1			
	学芸員(免許数)	1		1	1	1		
	取得者数(人数)	3	0	2	2	1	0	

【資料 2-19】卒業生の進路（総合人間学部）

		年度			2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
卒業生数		81	32	113	91	41	132	95	39	134	84	39	123	94	47	141			
進路別人数	人間・環境学研究科	30	6	36	24	9	33	22	9	31	20	4	24	25	9	34			
	他大学大学院	4	3	7	10	5	15	15	2	17	8	3	11	10	3	13			
	大学院進学(合計)	34	9	43	34	14	48	37	11	48	28	7	35	35	12	47			
	他学部等へ入学	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			
	就職	42	19	61	45	26	71	46	24	70	45	26	71	42	32	74			
	上記以外	4	4	8	11	1	12	11	4	15	11	6	17	17	3	20			
大学院進学率(%)		42.0	28.1	38.1	37.4	34.1	36.4	38.9	28.2	35.8	33.3	17.9	28.5	37.2	25.5	33.3			
就職率(%) ^{※1}		51.9	59.4	54.0	49.5	63.4	53.8	48.4	61.5	52.2	53.6	66.7	57.7	44.7	68.1	52.5			
就職希望者 ^{※2} の就職率(%) ^{※3}		91.3	82.6	88.4	80.4	96.3	85.5	80.7	85.7	82.4	80.4	81.3	80.7	71.2	91.4	78.7			

注)・※1 就職率 = 就職者数 / 卒業生数
 ・※2 就職希望者 = 卒業生 - 大学院進学者 - 他学部等への入学者
 ・※3 就職希望者の就職率 = 就職者数 / 就職希望者数

【資料 2-20】就職状況（総合人間学部）

業種	年度	2014 (H26)		2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
農業・林業				1				1				2
漁業												0
鉱業・採石業・砂利採取業										1		1
建設業				2		1				1		4
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料製造業		3	1		1	1	1				7
	繊維工業		1			1	1					3
	印刷・同関連業	1										1
	化学工業・石油・石炭製品製造業	1	2	1	2			2	1	2	1	12
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業			2	1							3
	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	2	1	1	1		1			1	1	8
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	1				2						3
	電気・情報通信機械器具製造業	1		2						1	1	5
	輸送用機械器具製造業		1		1	1			1			4
	その他の製造業	2		1		1	1	1	4			10
電気・ガス・水道業		1								2	1	4
情報通信業		13	3	10	5	8	3	14	10	9	11	86
運輸業・郵便業		2		1		1		2	2			8
卸売・小売業	卸売業	6	1	4		3	1	1			4	20
	小売業	1			1	1		1		1		5
金融・保険業	金融業	4	4	10	3	10	2	7	2	5	1	48
	保険業			1		1	2	1		4	2	11
不動産・物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業			1	2	2	2			2	2	11
	物品賃貸業											0
学術研究・専門・技術サービス業	学術・開発研究機関	1						7	2			10
	法務			1						1	1	3
	その他の専門・技術サービス業	1	1	2	2	3	3			7	4	23
宿泊業、飲食サービス業			1		1						2	
生活関連サービス業、娯楽業		1		1		1				1		4
教育・学習支援業	学校教育	3		1		1	1					6
	その他の教育、学習支援業						2	5	3	2		12
医療・福祉	医療業・保健衛生						1					1
	社会保険・社会福祉・介護事業											0
複合サービス事業												0
サービス業（他に分類されないもの）	宗教											0
	その他のサービス業			3	3	1	2					9
公務員	国家公務員			1		1	1	1		2	1	7
	地方公務員	1	2	1		3		1	1		2	11
上記以外				1		2						3
	小計	42	19	45	26	46	24	45	26	42	32	347
	合計	61		71		70		71		74		347

【資料 2-21】奨学金制度・免除制度の採用状況

奨学金制度^{*1}

年度		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
日本学生支援機構奨学金	申請者数	3	3	3	0	2
	採用者数 ^{*2}	3	2	2	0	2
地方公共団体・民間奨学金 ^{*3}	地方公共団体(利用人数)	1	2	2	2	2
	民間団体(利用人数)	10	12	9	13	12

^{*1} 貸与・給付をあわせた人数である。学生支援機構奨学金は3回生以上の採用数。

^{*2} 学生支援機構奨学金は3回生以上の採用数。

^{*3} 民間奨学金の主な団体：中山報恩会、小森記念財団、伊藤謝恩育英財団、等。

免除制度

年度		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
入学金免除・徴収猶予制度	申請者数	0	2	3	1	3
	採用者数	0	2	3	1	3
授業料免除制度 ^{*1}	申請者数	123	125	121	117	124
	全額免除(採用者数)	76	63	58	58	83
	半額免除(採用者数)	20	24	16	15	10

^{*1} 前後期あわせた延べ人数である。



人間・環境学
研究科

3. 人間・環境学研究所

【資料 3-1】人間・環境学研究所 学生数の推移

(各年度 5月1日現在)

年度	修士課程					博士後期課程				
	男	女	計	指導教員数	教員1人当たり 学生数	男	女	計	指導教員数	教員1人当たり 学生数
2014 (H26)	194 (17)	126 (23)	320 (40)	140* ²	2.29	153 (12)	137 (33)	290 (45)	138	2.10
2015 (H27)	212 (20)	123 (31)	335 (51)	143* ²	2.33	144 (13)	145 (39)	289 (52)	141	2.05
2016 (H28)	215 (20)	136 (43)	351 (63)	141* ²	2.49	158 (20)	139 (37)	297 (57)	139	2.14
2017 (H29)	197 (16)	140 (36)	337 (52)	137* ¹	2.46	161 (25)	137 (44)	298 (69)	136	2.19
2018 (H30)	192 (23)	147 (48)	339 (71)	137	2.47	180 (28)	134 (46)	314 (74)	137	2.29
2019 (R01)	218 (39)	151 (57)	369 (96)	136	2.71	180 (32)	140 (44)	320 (76)	136	2.35

注) ()内の数字は留学生で内数。

*¹ 准教授(修士課程担当 協力教員)1名を含む。

*² 准教授(修士課程担当 協力教員)2名を含む。

【資料 3-2】修士課程 入学状況

年度	人間・環境学研究所							専攻別																	
								共生人間学専攻					共生文明学専攻					相關環境学専攻							
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	内数 総合人間学部 その他	入学定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	内数 総合人間学部 その他	入学定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	内数 総合人間学部 その他	入学定員充足率	入学定員	志願者数	入学者数	内数 総合人間学部 その他	入学定員充足率				
2014 (H26)	164	335	164	151	35	116	0.92	69	164	69	17	51	0.99	57	94	39	10	30	0.70	38	77	43	8	35	1.13
2015 (H27)	164	312	164	155	31	124	0.95	69	143	67	17	50	0.97	57	89	44	8	36	0.77	38	80	44	6	38	1.16
2016 (H28)	164	306	166	158	34	124	0.96	69	109	55	21	35	0.81	57	101	49	6	41	0.82	38	96	54	7	48	1.45
2017 (H29)	164	300	160	148	30	118	0.90	69	133	67	15	53	0.99	57	100	40	7	32	0.68	38	67	41	8	33	1.08
2018 (H30)	164	295	181	160	26	134	0.98	69	136	77	13	64	1.12	57	90	44	9	35	0.77	38	69	39	4	35	1.03
2019 (H31)	164	322	184	179	37	142	1.09	69	154	85	26	59	1.23	57	88	47	8	39	0.82	38	80	47	3	44	1.24

【資料 3-3】博士後期課程 進学・編入学状況

年度	人間・環境学研究所					専攻別																		
						共生人間学専攻					共生文明学専攻					相關環境学専攻								
	入学定員	編入学志願者数	入学者数	内数 進学 編入学	入学定員充足率	入学定員	編入学志願者数	入学者数	内数 進学 編入学	入学定員充足率	入学定員	編入学志願者数	入学者数	内数 進学 編入学	入学定員充足率	入学定員	編入学志願者数	入学者数	内数 進学 編入学	入学定員充足率				
2014 (H26)	68	30	50	31	19	0.74	28	12	23	13	10	0.82	25	13	19	15	4	0.76	15	5	8	3	5	0.53
2015 (H27)	68	31	79	53	26	1.16	28	12	46	35	11	1.64	25	11	17	8	9	0.68	15	8	16	10	6	1.07
2016 (H28)	68	26	70	49	21	1.03	28	11	37	28	9	1.32	25	10	20	13	7	0.80	15	5	13	8	5	0.87
2017 (H29)	68	29	59	36	23	0.87	28	13	32	20	12	1.14	25	9	16	12	4	0.64	15	7	11	4	7	0.73
2018 (H30)	68	37	76	47	29	1.12	28	16	32	19	13	1.14	25	11	26	20	6	1.04	15	10	18	8	10	1.20
2019 (H31)	68	31	72	46	26	1.06	28	15	34	21	13	1.21	25	9	20	14	6	0.80	15	7	18	11	7	1.20

【資料 3-4】修士課程 留学生・社会人の入学状況

年度	人間・環境学研究所			専攻別								
	全入学者	留学生	社会人	共生人間学専攻			共生文明学専攻			相關環境学専攻		
				全入学者	留学生	社会人	全入学者	留学生	社会人	全入学者	留学生	社会人
2014 (H26)	151	15	7	69	5	5	39	9	1	43	1	1
2015 (H27)	155	34	6	67	13	4	44	18	1	44	3	1
2016 (H28)	158	26	4	51	6	3	47	16	0	60	4	1
2017 (H29)	148	24	0	67	13	0	40	8	0	41	3	0
2018 (H30)	160	46	4	77	18	4	44	21	0	39	7	0
2019 (H31)	179	51	4	85	20	3	47	20	1	47	11	0

【資料 3-5】博士後期課程 留学生・社会人の進学・入学状況

年度	人間・環境学研究所			専攻別								
	進・入学者 総数	留学生	社会人	共生人間学専攻			共生文明学専攻			相關環境学専攻		
				進・入学者 総数	留学生	社会人	進・入学者 総数	留学生	社会人	進・入学者 総数	留学生	社会人
2014 (H26)	50	15	6	23	6	3	19	7	1	8	2	2
2015 (H27)	79	18	12	46	7	8	17	8	3	16	3	1
2016 (H28)	70	13	18	37	2	13	20	9	3	13	2	2
2017 (H29)	59	21	8	34	10	4	14	6	2	11	5	2
2018 (H30)	76	20	17	32	6	8	26	7	4	18	7	5
2019 (H31)	72	16	23	34	6	15	20	4	5	18	6	3

【資料 3-6】留年・休学・退学の状況

(各年度5月1日現在)

		年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
修士課程	留年者	共生人間学専攻	17	19	18	14	16	16
		共生文明学専攻	10	9	17	15	10	13
		相關環境学専攻	4	4	5	4	6	3
		合計	31	32	40	33	32	32
	休学者	共生人間学専攻	11	10	10	11	12	12
		共生文明学専攻	8	9	7	8	8	13
		相關環境学専攻	2	2	2	1	1	3
		合計	21	21	19	20	21	28
	退学者	共生人間学専攻	5	3	8	4	4	
		共生文明学専攻	0	1	2	1	2	
		相關環境学専攻	3	3	0	1	1	
		合計	8	7	10	6	7	0
博士後期課程	留年者	共生人間学専攻	68	54	54	46	59	62
		共生文明学専攻	35	33	39	43	43	43
		相關環境学専攻	6	6	7	8	11	10
		合計	109	93	100	97	113	115
	休学者	共生人間学専攻	46	27	29	28	40	29
		共生文明学専攻	24	20	14	15	20	19
		相關環境学専攻	3	2	5	4	1	6
		合計	73	49	48	47	61	54
	退学者	共生人間学専攻	3	5	6	0	6	
		共生文明学専攻	3	0	1	1	2	
		相關環境学専攻	0	1	3	1	0	
		合計	6	6	10	2	8	0

注)・留年者数:毎年度5月1日現在の数
 ・休学者数:毎年度5月1日現在の数
 ・退学者数:当該年度内の累計数

【資料 3-7】研究生在籍数

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
4月在籍者数	20	15	20	18	21	26
留学生数 (内数)	11	8	15	14	17	18
10月在籍者数	35	30	31	43	55	52
留学生数 (内数)	28	20	27	39	49	48

【資料3-8】修士課程 開設科目数

(2019 (令和1) 年度)

専攻	科目数			
	講義	演習	実習	総合科目
共生人間学専攻	126	71	5	3
共生文明学専攻	110	87		3
相関環境学専攻	55	65		3

【資料3-9】他研究科への聴講の状況

(人)

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
文学研究科	51	68	50	60	61
教育学研究科	4	7	14	10	11
法学研究科	1	0	4	1	0
理学研究科	5	5	9	9	2
医学研究科	7	3	15	8	2
工学研究科	3	2	2	0	2
農学研究科	2	4	9	0	2
エネルギー科学研究科	2	0	0	2	2
公共政策大学院	7	6	7	5	6
地球環境学舎・学堂	3	3	6	0	2
経済学研究科	5	5	12	6	9
経営管理大学院	1	4	5	5	5
アジア・アフリカ地域研究研究科	0	4	2	4	3
情報学研究科	0	1	9	4	9
合計	91	112	144	114	116

【資料3-10】単位互換制度の利用状況

【受入】

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	
奈良女子大学 大学院人間文化研究科	認定学生数	2	2	1	0	0
	認定単位数	4	4	2	0	0
大阪大学 大学院国際公共政策研究科	認定学生数	0	0	1	0	0
	認定単位数	0	0	4	0	0

【派遣】

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	
奈良女子大学 大学院人間文化研究科	認定学生数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
大阪大学 大学院国際公共政策研究科	認定学生数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0

【資料3-11】入学前既修得単位の認定状況

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
認定学生数	3	1	0	0	1	1
認定単位数	4 (2人) 9 (1人)	8	0	0	10	10

【資料 3-12】TA採用状況

年度		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
修士課程	学生数	320	335	351	337	339	369
	採用数	156	159	184	184	178	192
博士後期課程	学生数	290	289	297	298	314	320
	採用数	70	70	65	69	72	75
TA 採用合計数		226	229	249	253	250	267

【資料 3-13】TA運用状況

年度		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
全学共通科目	科目数	171	156	140	172	183	128
総合人間学部	科目数	59	56	61	64	74	121
人間・環境学研究所	科目数	40	18	27	29	35	45

【資料 3-14】RA採用状況

年度		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
博士後期課程学生数		289	297	298	314	320
RA 採用数	D1	6	3	0	0	2
	D2	6	8	5	9	8
	D3	2	4	10	6	5
合計		14	15	15	15	15

注) D1、D2、D3 は博士後期課程の年次を示す。

【資料 3-15】成績評価の方法

(令和1 (2019) 年度)

専攻	授業形態	科目数	評価方法 (採用率)										評価項目数 (%)			
			出席	平常点	授業への参加	発表報告	レポート	期末レポート レポート 試験	小テスト 小レポート 課題	期末試験	その他*1	1	2	3	4以上	
修士課程	共生人間学専攻	研究・講義	72	33.3%	4.2%	51.4%	30.6%	43.1%	31.9%	15.3%	5.6%	1.4%	19.4%	47.2%	30.6%	2.8%
		演習	68	26.5%	22.1%	51.5%	57.4%	19.1%	14.7%	2.9%	0.0%	4.4%	19.1%	64.7%	14.7%	1.5%
	共生文学専攻	研究・講義	73	15.1%	13.7%	52.1%	15.1%	30.1%	41.1%	17.8%	16.4%	4.1%	26.0%	52.1%	12.3%	9.6%
		演習	67	28.4%	3.0%	68.7%	62.7%	16.4%	16.4%	7.5%	6.0%	13.4%	17.9%	50.7%	25.4%	6.0%
	相関環境学専攻	研究・講義	41	56.1%	14.6%	22.0%	12.2%	26.8%	7.3%	12.2%	4.9%	26.8%	34.1%	48.8%	17.1%	0.0%
演習		45	53.3%	13.3%	28.9%	31.1%	17.8%	4.4%	13.3%	4.4%	31.1%	33.3%	35.6%	31.1%	0.0%	
全体	研究・講義	186	31.2%	10.2%	45.2%	20.4%	34.4%	30.1%	15.6%	9.7%	8.1%	25.3%	49.5%	20.4%	4.8%	
	演習	180	33.9%	12.8%	52.2%	52.8%	17.8%	12.8%	7.2%	3.3%	14.4%	22.2%	52.2%	22.8%	2.8%	
博士後期課程	特別研究・特別演習 特別セミナー・特別実習	科目数	評価方法 (採用率)										評価項目数 (%)			
			課題への 取組と達 成度	発表	平常点	授業態度	出席	レポート	期末研究 報告書	論文作成 状況・内 容	その他*2	1	2	3	その他	
	共生人間学専攻	41	29.3%	4.9%	14.6%	14.6%	4.9%	19.5%	17.1%	17.1%	9.8%	73.2%	22.0%	4.9%	0.0%	
	共生文学専攻	34	44.1%	17.6%	20.6%	14.7%	5.9%	0.0%	0.0%	2.9%	20.6%	62.8%	11.6%	4.7%	0.0%	
	相関環境学専攻	20	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
全体	95	49.5%	13.7%	13.7%	11.6%	9.5%	8.4%	7.4%	8.4%	11.6%	75.8%	14.7%	9.5%	0.0%		

※1 「コメントシート」、「到達目標の達成度に基づき総合的に評価」、「論文プレゼンテーション」、「授業にて説明」等
 ※2 「一次資料の分析」、「研究計画書・実習記録ノート」、「研究の進展状況」、「文献講読とノート作成」等

【資料 3-16】修士課程 単位修得状況

(2018 (平成 30) 年度)

課程	専攻	科目数	単位取得者数	受講登録者数	取得率
1・2 回生	共生人間学専攻	134	1,016	1,113	91.3%
	共生文明学専攻	118	599	641	93.4%
	相関環境学専攻	80	540	607	89.0%

【資料 3-17】修士課程 学位授与の状況

		年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
共生人間学専攻	授与者		72	64	63	48	66
	未修者		22	21	22	21	18
共生文明学専攻	授与者		25	31	44	50	34
	未修者		9	18	16	12	15
相関環境学専攻	授与者		33	39	44	52	42
	未修者		7	7	4		4
総計	授与者		130	134	151	150	142
	未修者		38	46	42	33	37

注) 修士課程在籍 2 年で学位を取得できるが、各年度の授与者および未修者には、3 年以上の在籍者が含まれる

【資料 3-18】修士課程 標準修業年限内修了率と「標準修業年限× 1.5」年内修了率

標準修業年限内修了者数					「標準修業年限× 1.5」年内修了率			
入学年度	対象学生数	修了年度	修了者数	標準修業年限内修了率	修了年度	対象学生数	修了者数	「標準修業年限× 1.5」年内修了率
2012 (H24)	140	2013 (H25)	110	78.6%	2014 (H26)	140	125	89.3%
2013 (H25)	140	2014 (H26)	112	80.0%	2015 (H27)	140	125	89.3%
2014 (H26)	151	2015 (H27)	119	78.8%	2016 (H28)	151	136	90.1%
2015 (H27)	155	2016 (H28)	129	83.2%	2017 (H29)	155	140	90.3%
2016 (H28)	158	2017 (H29)	134	84.8%	2018 (H30)	158	150	94.9%
2017 (H29)	148	2018 (H30)	120	81.1%				

【資料 3-19】修士課程修了者の進路

	年度	2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
修了者数		69	61	130	85	49	134	88	63	151	94	56	150	78	64	142
進路別 人数	人間・環境学研究科	27	26	53	31	16	47	21	15	36	32	15	47	24	22	46
	他研究科・他大学	1	1	2	2	2	4	0	1	1	0	1	1	1	2	3
	大学院進学 (合計)	28	27	55	33	18	51	21	16	37	32	16	48	25	24	49
	就職	35	28	63	45	25	70	54	33	87	53	33	86	46	33	79
	上記以外	6	6	12	7	6	13	13	14	27	9	7	16	7	7	14
大学院進学率 (%)		40.6	44.3	42.3	38.8	36.7	38.1	23.9	25.4	24.5	34.0	28.6	32.0	32.1	37.5	34.5
就職率 (%) ^{*1}		50.7	45.9	48.5	52.9	51.0	52.2	61.4	52.4	57.6	56.4	58.9	57.3	59.0	51.6	55.6
就職希望者 ^{*2} の就職率 (%) ^{*3}		83.3	80.0	81.8	83.3	75.8	80.5	80.6	68.8	75.7	85.5	80.5	83.5	85.2	78.6	82.3

注) ・※ 1 就職率 = 就職者数 / 修了者数
 ・※ 2 就職希望者数 = 修了者数 - 大学院進学者数 - 他学部等への入学者数
 ・※ 3 就職希望者の就職率 = 就職者数 / 就職希望者数

【資料 3-20】修士課程修了者の就職状況

(産業別就職状況)

	修了年度			26			27			28			29			30			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
農業・林業・漁業	1	1				0			0	1		1			0	1	1	2				
鉱業・採石業・砂利採取業													1	1								
建設業	1	1	1	1	1	1	1	1	1			0	1	1	3	1	4					
製造業	11	5	16	21	2	23	20	8	28	25	7	32	14	5	19	91	27	118				
電気・ガス・水道等			0			0	1	1	2	2	2	2	1	1	3	2	5					
情報通信業	4	2	6	10	5	15	11	2	13	8	10	18	14	7	21	47	26	73				
運輸・郵便業	1		1			0	3	3	1		1	2	2	4	3	7						
卸売・小売業	2	3	5	2	2	4	1	1	2	1	1	3	3	6	9	9	18					
金融・保険業	1	1	2	2	1	3	4	3	7	5	3	8	1	1	13	8	21					
不動産・物品賃貸業	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	5	2	7						
学術研究， 専門・技術サービス業	学術・開発研究機関		0	1	1	1	1	0				0	0	2	2							
	法務		1	1	1	1	0			3	3		0	1	4	5						
	その他の専門・技術サービス		3	3	6	1	2	3	4	4	8	2	2	3	6	9	11	17	28			
生活関連サービス業・娯楽業	1	1				0	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4						
教育・学習支援業	学校教育		7	2	9	5	5	10	1	4	5	4	1	5	3	3	6	20	15	35		
	その他の教育、学習支援		3	3				0	1	1	3	3	1	4	5	5	7	12				
医療・福祉	医療業・保健衛生		2	2	4	1	1	1	1	1	1			0	3	4	7					
	社会保険・社会福祉・介護事業				0			0	1	1	1	1		0	1	1	2					
複合サービス事業			0		0			0			0	1	1	1	0	1						
その他のサービス業	2	1	3	1	3	4	2	1	3	1	2	3	1	1	2	7	8	15				
公務	国家公務		0		0	2	2	4			2	2	1	1	2	5	7					
	地方公務		1	1	2	1	1	4	1	5	2	2			0	5	5	10				
上記以外			0	1	1	2			0			0		0	1	1	2					
合計	35	28	63	45	25	70	54	33	87	54	33	87	46	33	79	234	151	385				

(職業別就職状況)

	修了年度			26			27			28			29			30			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
研究者	2		2	3	2	5	5	1	6	7	2	9	1	4	5	18	9	27				
農林水産技術者			0			0	1	1			0			0	0	1	1					
製造技術者	製造技術者（開発）		3	3	6	14		14	16	1	17	12	2	14	9	2	11	54	8	62		
	製造技術者（開発除く）		2	2	4	1	1	3	2	5	1	1	1	1	1	8	4	12				
	その他		1		1	6	2	8	7	2	9	5	2	7		0	19	6	25			
建築・土木測量技術者													2	2	2	0	2					
情報処理・通信技術者													3	3	6	3	3	6				
その他の技術者													2	2	2	0	2					
専門的・ 技術的職業	大学・短期大学		0		1	1			0		1	1			0	0	2	2				
	中等教育学校		2	2	4			0		0	1	1			0	3	2	5				
	高等学校		2		2	2		2	2	3	3	2	2	4	9	4	13					
	中学校				0	1	1	1	1		0			0	1	1	2					
	特別支援学校				0	1	1			0		0		0	1	0	1					
	その他				0	1	1	1	1		0		0	0	1	1	2					
保健師・助産師・看護師			0		0	1	1			0		0	0	1	0	1						
医療技術者	2	2		1	1			0		0		0	0	0	3	3						
その他の保健医療従事者			0		0	1	1		1	1	1	1	1	0	3	3						
その他	2	3	5	2	3	5	1	1	3	3	6	1	3	4	9	12	21					
事務従事者・管理的職業従事者	21	13	34	7	12	19	9	10	19	5	8	13	6	7	13	48	50	98				
販売業従事者			0	4	2	6	4	4	5	2	7	2	2	4	11	10	21					
サービス職業従事者			0	1	1	2	2	4	1	3	4	7	2	9	11	7	18					
保安職業従事者			0		0	1	1		0		0		0	0	1	1						
建設・採掘従事者												1	1									
上記以外	3	3	3	1	4	9	5	14	11	9	20	9	7	16	32	25	57					
合計	35	28	63	45	25	70	54	33	87	54	33	87	46	33	79	233	152	385				

【資料 3-21】 博士後期課程 学位授与の状況

		年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
課程博士	共生人間学専攻	課程博士	24	35	19	17	27
		在籍 3 年の学位取得 (内数)	(5)	(8)	(4)	(4)	(7)
		研究指導認定退学	35	31	18	27	13
		未修者	59	51	48	59	74
	共生文明学専攻	課程博士	11	12	13	11	10
		在籍 3 年の学位取得 (内数)	(3)	(0)	(2)	(3)	(1)
		研究指導認定退学	14	9	10	14	14
		未修者	37	39	44	42	48
	相関環境学専攻	課程博士	9	2	5	6	10
		在籍 3 年の学位取得 (内数)	(7)	(2)	(4)	(6)	(6)
		研究指導認定退学	1	3	1	6	5
		未修者	6	7	10	11	12
	課程博士 計		44	49	37	34	47
	在籍 3 年の学位取得 (内数)		(15)	(10)	(10)	(13)	(14)
	旧専攻	人間・環境学専攻	1	0	0	0	0
文化・地域環境学専攻		1	0	0	0	0	
環境相関研究専攻		0	0	0	0	0	
旧専攻 課程博士 計		2	0	0	0	0	
合計	課程博士	46	49	37	34	47	
	在籍 3 年の学位取得 (内数)	(15)	(10)	(10)	(13)	(14)	
	累計	739	788	825	859	906	
	研究指導認定退学	50	43	29	47	32	
	未修者	102	97	102	112	134	
論文博士	専攻別	共生人間学専攻	2	5	2	0	0
		共生文明学専攻	2	0	0	0	1
		相関環境学専攻	0	1	0	0	0
		計	4	6	2	0	1
	累計	41	47	49	49	50	

注)・課程博士の値は、研究指導認定退学の後に学位を授与された者の数を含む
 ・課程博士の () 内の値は、博士後期課程在籍 3 年で学位を授与された者の数で内数

【資料 3-22】 博士後期課程 講座別学位授与の状況

専攻	年度	26	27	28	29	30
共生人間学専攻	11. 人間社会論講座	10	12	6	4	4
	12. 思想文化論講座	2	10	6	5	6
	13. 認知・行動科学講座	4	4	2	1	8
	14. 数理科学講座	0	3	1	0	1
	15. 言語科学講座	6	5	4	5	4
	16. 外国語教育論講座	2	1	0	2	4
	専攻計	24	35	19	17	27
共生文明学専攻	21. 現代文明論講座	3	4	7	3	3
	22. 比較文明論講座	1	2	1	1	
	23. 文化・地域環境論講座	4	2	1	5	1
	24. 歴史文化社会論講座	3	4	4	2	6
	専攻計	11	12	13	11	10
相関環境学専攻	31. 共生社会環境論講座	0	0	0	0	1
	32. 分子・生命環境論講座	3	0	0	1	2
	33. 自然環境動態論講座	4	1	3	3	2
	34. 物質相関論講座	2	1	2	2	5
	専攻計	9	2	5	6	10
小計		44	49	37	34	47
旧専攻	人間・環境学専攻	1	0	0	0	0
	文化・地域環境学専攻	1	0	0	0	0
	環境相関研究専攻	0	0	0	0	0
	旧専攻計	2	0	0	0	0
研究科合計		46	49	37	34	47

注) 論文提出により学位を授与された者の数を除く。

【資料 3-23】博士後期課程 標準修業年限内修了率と「標準修業年限×1.5」年内修了率

年度別学生数		標準修業年限内 修了者数			「標準修業年限×1.5」年内修了者数					「標準修業年限×1.5」 年内修了率
入学 年度	A: 人数	修了 年度	修了者数 a	修了率 a/A	修了 年度	修了者数 b	修了 年度	修了者数 c	B(a+b+c)	B/A
2010 (H22)	82	2012 (H24)	11	13.4%	2013 (H25)	4	2014 (H26)	3	18	22.0%
2011 (H23)	86	2013 (H25)	15	17.4%	2014 (H26)	4	2015 (H27)	5	24	27.9%
2012 (H24)	68	2014 (H26)	15	22.1%	2015 (H27)	4	2016 (H28)	3	22	32.4%
2013 (H25)	70	2015 (H27)	10	14.3%	2016 (H28)	4	2017 (H29)	7	21	30.0%
2014 (H26)	51	2016 (H28)	10	19.6%	2017 (H29)	3	2018 (H30)	4	17	33.3%
2015 (H27)	79	2017 (H29)	7	8.9%	2018 (H30)	10	2019 (R01)			
2016 (H28)	70	2018 (H30)	13	18.6%	2019 (R01)					

【資料 3-24】博士後期課程 修了者・研究指導認定退学者の進路

年度	2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
修了者数 ^{*1}	44	26	70	28	33	61	22	24	46	29	32	61	35	22	57	
進路別 人数	就職	29	16	45	16	17	33	11	10	21	15	11	26	26	10	36
	その他	15	10	25	12	16	28	11	14	25	14	21	35	9	12	21
就職率	65.9	61.5	64.3	57.1	51.5	54.1	50.0	41.7	45.7	51.7	34.4	42.6	74.3	45.5	63.2	

*1 博士後期課程修了者と研究指導認定退学者の合計であり、研究指導認定退学後に学位を取得した者は含まれない。
注)・就職年度は、学位授与者では学位授与年度、学位未授与の研究指導認定退学者では退学年度とした。

【資料 3-25】博士後期課程 修了者・研究指導認定退学者の就職状況

(産業別就職状況)

修了年度	2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
製造業	1		1				1	1	2	4	1	5	2	1	3	8	3	11	
情報通信業							1	1	2	2		2	2		2	5	0	5	
卸売・小売業				1	1	2	1	1	2			1	1	2	1	2	3	3	
学術研究, 専門・技術サービス業	学術・開発研究機関			1	1	2	1	1	2	1	1	2	3	3	6	0	6	6	
	その他の専門・技術サービス			1	1	2			1	1		1	1	2	1	1	2	2	
教育・学習支援業	学校教育			23	15	38	12	13	25	9	8	17	8	7	15	14	9	23	66
	その他の教育、学習支援			2	1	3	1	1	2										2
医療・福祉	医療業・保健衛生			1	1	2	1	1	2							2	0	2	
サービス業	1	1	2										2	2	4	3	0	3	
公務	国家公務									1	1	2	1	1	2	1	1	2	
	地方公務												1	1	2	1	0	1	
上記以外				1	2	3				1	1	2				1	3	4	
合計	29	16	45	16	17	33	11	10	21	15	11	26	26	10	36	97	64	161	

(職業別就職状況)

修了年度	2014 (H26)			2015 (H27)			2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)			合計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
研究者	10	3	13	7	6	13	5	5	10	4	4	8	8	1	9	34	19	53	
技術者	製造技術者(開発)			1	1	2			1	1	2	1	1	2	4	0	4	4	
	その他の技術者			1	1	2			1	1	2	1	1	2	3	0	3	3	
専門的・ 技術的職業	大学・短期大学			12	10	22	6	6	12	4	2	6	5	3	8	6	8	14	33
	高等学校				1	1			1	1	2	1	1	2	1	3	4	4	
	中等教育学校			1	1	2	1	1	2							2	0	2	2
	その他			1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	3	2	5	5
医療技術者	1	1	2												1	0	1	1	
その他	2	2	4				1	1	2	2	2	4	1	1	2	5	1	6	
事務・管理的職業	1	1	2	2	2	4	1	1	2	1	2	3	3	1	4	5	7	12	
販売業				1	1	2										0	1	1	
サービス業・その他				1	1	2	1	1	2	1	1	2	4	4	8	6	2	8	
合計	29	16	45	16	17	33	11	10	21	15	11	26	26	10	36	97	64	161	

【資料 3-26】教員免許状資格取得状況

年度		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
中学専修	社会			1		
	国語	1				
	英語	3	2			
	保健体育		1			
	数学				1	
	理科				1	1
	小計	4	3	1	2	1
高校専修	地理歴史	1		1		
	公民					
	国語	1			1	
	英語	4	3			
	保健体育		1			
	数学				1	
	理科				1	1
	小計	6	4	1	3	1
免許数総計		10	7	2	5	2
取得者数		6	4	1	1	1

【資料 3-27】日本学術振興会特別研究員への採用状況

	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
DC1	4	7	7	2	9	9
DC2	10	8	7	6	12	9
計	14	15	14	8	21	18

(人)

【資料 3-28】奨学金制度・免除制度の採用状況

日本学生支援機構奨学金

年度		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
修士課程	申請者数	48	50	31	40	32
	採用者数	48	50	31	40	32
博士後期課程	申請者数	22	10	12	11	9
	採用者数	22	10	12	11	9

入学料免除

年度		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
修士課程	申請者数	48	56	50	50	54
	採用者数	18	22	20	20	11
博士後期課程	申請者数	8	5	11	11	9
	採用者数	4	0	4	4	7

授業料免除

	年度	2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R01)	
		前期	後期								
修士課程	申請者数	129	138	143	136	126	133	138	143	150	156
	全額免除 (採用者数)	59	44	70	59	61	46	58	43	35	33
	半額免除 (採用者数)	34	57	42	55	39	61	58	77	83	78
博士後期課程	申請者数	103	108	111	123	114	119	123	126	132	134
	全額免除 (採用者数)	75	67	81	72	88	71	84	66	69	63
	半額免除 (採用者数)	13	27	18	35	12	38	29	50	45	53



教育研究指導

4. 教育研究指導

【資料 4-1】ガイダンスについて

総合人間学部

(2019 (R01) 年度)

日程	ガイダンス名	内容	主催
2019年4月4日(木) 総合人間学部棟 1102講義室	総合人間学部 履修ガイダンス・学系紹介	新入生対象 『全学共通科目履修の手引き(簡易版)』『総合人間学部便覧』について説明 ※公正な学術活動に関すること、コンピュータソフトウェアの適正な使用についてを含む	教務委員会・教務掛
2019年4月5日(金) 総合人間学部棟 1102講義室	新入生ガイダンス	教員の紹介と大学生活全般についての説明 学部長挨拶/全体説明/学生生活委員会から/吉田南構内交通安全委員会から/人権相談窓口委員から/吉田南総合図書館の紹介/同窓会の案内/学生相談室から/メンタルヘルスに関する講演「大学生のメンタルヘルス～充実した学生生活を送るために～」(学生相談室相談員 天下谷恭一氏)/担任、教員アドバイザー、指導教員等についての説明/各担任に分かれての説明 《総人・人環懇親会》19:00～20:30 (1B08 吉田生協食堂)	教務委員会・教務掛
2019年4月5日(金) 13:50～ 総人棟 1102 教室	総合人間学部 講演会 メンタルヘルスに関する講演会	2・3・4 回生対象 「大学生のメンタルヘルス～充実した学生生活を送るために～」 (学生相談室相談員 天下谷恭一氏)	人間・環境学研究所/ 総合人間学部学生相談室
2019年4月8日(月)	新2・3 回生 合同学系ガイダンス	認知情報学系(1102 講義室)/国際文明学系(1B05 講義室)/文化環境学系(1B07 講義室)/自然科学系(1B09 講義室)	教務委員会・教務掛
2019年4月9日(火)	新2・3・4 回生 学系ガイダンス	人間科学系(1B05 講義室)/認知情報学系(1102 講義室) ※各アドバイザーによる説明	教務委員会・教務掛
2019年10月15日(火)	学系分属説明会【国際文明学系】		
2019年10月16日(水)	学系分属説明会【文化環境学系】		
2019年10月17日(木)	学系分属説明会【自然科学系】	・学系の中の各関係・分野の紹介と就職進学の説明会 ・1 回生を対象とするが、2 回生以上の参加も認める	教務委員会・教務掛
2019年10月18日(金)	学系分属説明会【人間科学系】		
2019年10月21日(月)	学系分属説明会【認知情報学系】	・学生には、学生便覧、『履修モデル&教員プロフィール』の持参を指示	
2019年5月30日(木) 16:30～18:00 総人棟 1102 教室	インターンシップ解禁直前 選考対策セミナー	(対象)総合人間学部3 回生、修士1 回生 ・インターンシップの基本 ・インターンシップ選考について ・実践!自己分析、自己PRのワーク (出席者 36 名)	【主催】 総合人間学部 人間・環境学研究所 【協力】 株式会社マイナビ
2019年6月27日(木) 16:30～18:00 総人棟 1102 教室	低学年向けプレ就活セミナー	(対象)総合人間学部1, 2 回生、大学院進学予定 4 回生 ・自分を振り返る、これからの目標をたてる ・就職活動、インターンシップについて (出席者 18 名)	
2019年10月17日(木) 16:30～18:00 総人棟 1B06 教室	エントリーシート/面接対策セミナー～自己PRの土台作成～	(対象)総合人間学部3 回生、人間・環境学研究所1 回生 ・エントリーシート/面接のポイント ・自己PRの土台作成 ・NG 面接の事例をしる (出席者 18 名)	

人間・環境学研究所

(2019 (R01) 年度)

日程	ガイダンス名	内容	主催
2019年4月3日(水) 14:00～15:30 人間・環境学研究所棟 地下大講義室	「実験実習における安全と環境保全」講習会	「実験実習における安全と環境保全」講習会 ●化学薬品の管理、取扱における安全と実験廃棄物処理 ●実験における危険と安全対策 ●ライフサイエンス関係実験における安全 ●自然科学系のフィールドワークにおける安全 ●文系フィールドワーク実習における安全 (理系実験系学部生(3,4 回生、修士新入生・博士編入生)、文系フィールドワーク分野学部生(3,4 回生、修士新入生・博士編入生)対象)	共生人間学専攻 (認知・行動科学講座) (文化・地域環境論講座) 関連環境学専攻
		(第1部) 10:00～11:30 履修指導/同窓会からの案内/学生生活について/人権問題について/学生相談室について/国際交流について/図書館利用案内/「人間・環境学フォーラム」案内/ティーチング・アシスタントについて/人・環境生による総人学部模擬講義企画 (第2部) 人間・環境学フォーラム新入生歓迎講演会・交流会 新入生歓迎講演会 15:30～16:20 「共生を問ひ直す 一人間の分断と交流について」 風間計博 教授 / 司会: 梶丸 岳 助教 新入生交流会 16:25-17:30 「大学院生のメンタルヘルス ～充実した大学院生活を送るために～」 人間・環境学研究所/総合人間学部 学生相談室 臨床心理士 天下谷 恭一 相談員 ・《総人・人環懇親会》19:00～20:30 (吉田生協食堂 1 階) 講座別オリエンテーション(修士課程新入生対象) 17:30～18:30	大学院教務委員会・大学院掛
2019年4月5日(金) 人間・環境学研究所棟 地下大会議室	新入生オリエンテーション		人間・環境学フォーラム 実施委員会/学生生活委員会 共催
2019年4月16日(火)	修士課程2 回生 履修・進路指導説明会		大学院教務委員会・大学院掛
2019年4月9日(火)	留学生オリエンテーション	新入の留学生を対象にしたオリエンテーション ・挨拶: 田部国際交流委員長、藤田留学生アドバイザー/国際交流委員 ・特に重要な法律や学内事務手続きに関する説明: 大学院掛 ・懇親会	大学院掛 国際交流委員会
2019年4月13日(土) 13:00～14:30	2019年度 第1 回入試説明会(東京)	・京都大学 産学官連携本部 東京日本橋サテライトオフィス ・研究科紹介・入試情報説明/各専攻紹介 ・個別相談/過去問閲覧(修士課程のみの直近4 回分)	大学院教務委員会・大学院掛
2019年4月20日(土) 13:00～16:00	2019年度 第1 回入試説明会(京都)	・研究科紹介・入試情報説明/各専攻紹介 ・個別相談/過去問閲覧(修士課程のみの直近4 回分)	〃
2019年10月3日(木)	博士學位論文作成説明会	・博士學位論文提出日程、提出要領等の説明(博士後期課程3 回生対象)	〃
2019年10月17日(木)	修士學位論文作成説明会	・修士論文提出日程、提出要領等の説明(修士課程2 回生対象)	〃
2019年10月26日(土) 13:10～16:30	2019年度 第2 回入試説明会(東京)	・京都大学 産学官連携本部 東京日本橋サテライトオフィス ・研究科紹介・入試情報説明/各専攻紹介 ・個別相談/過去問閲覧(修士課程のみの直近4 回分)	〃
2019年10月19日(土) 13:00～16:00	2019年度 第2 回入試説明会(京都)	・研究科紹介・入試情報説明/各専攻紹介 ・個別相談/過去問閲覧(修士課程のみの直近4 回分)	〃

【資料 4-2】学習指導方法の工夫

(教員アンケート 2012(H24)・2015(H27)・2017(H29) 年度実施)

項目・内容	学部教育			大学院教育			全学共通教育		
	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数
少人数授業	6	9	17	11	12	15	5	6	5
対話・討論型授業	6	15	16	15	15	18	10	9	13
講義・演習の併用型授業	6	3	7	2	1	4		1	3
デモ・実験・現物観察等による体験型授業	5	4	3	3	3	4	6	5	2
野外調査・現物調査を組み入れた授業	5	6	10	4	3	5	3	3	7
質問の多用 (それに対する回答と議論に基づく授業展開)	1	2	4		1	2	2	2	2
プレゼンテーションの活用 (重視)	1	4	3	3	7	4		3	3
その他									
英語論文・教科書・教材の利用	3	2	1	5	4	2			
画像・映像・音声資料の活用(ウェブ資料)	6	4	3	2	2	1	6	9	5
講義資料・補助資料の配布	2	4	1		3	1	2	4	1
パソコンの活用 (デモ、シミュレーション、演習解答)	1	1	1		3		1		1
教科書・教材の作成				2					1
その他									
レポート・小テスト・演習問題 …毎回、複数回、小単元毎 …添削後返却	1	2	2	2		1	3	4	5
TAの活用	4	8	3	2		1	7		7
授業用ウェブサイトの活用 (資料、プログラム、課題)	1	1	1		1	1	2	1	2
英語による授業(対話・討論型等)	1	1		2	3		1	3	
自律型学習支援システム(CALL)の活用							4	3	2
学習支援システム(PandA)の活用					1			1	4
その他									

【資料 4-3】 授業時間外学習を促す工夫

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

項目・内容	学部教育			大学院教育			全学共通教育						
	2012: (H24) 件数	2015: (H27) 件数	2017: (H29) 件数	具体例	2012: (H24) 件数	2015: (H27) 件数	2017: (H29) 件数	具体例	2012: (H24) 件数	2015: (H27) 件数	2017: (H29) 件数	具体例	
情報の提供	教科書・参考書の提示	2	2	2		4	2	2		1	2		
	必読書籍・論文の提示	1	2	3			4	5		1	3	2	
	関連資料（文献・書籍・資料等）の紹介	6	4	2		8	4	4		2	3	3	・シラバスに掲載
	関連情報掲載の URL を紹介	1				2				2			
資料・教材	講義資料の WEB 掲載	1				1		1		1	2	1	
	講義資料の事前配布	1	3	3			3	3				1	
	その他												・シラバスに資料の提示
講義内	プレゼンテーションの活用	3	4	4		2	8	5		1	3	2	・レジュメの作成
	討論・議論型授業	1	2			1	1	3				2	
	準備学習・復習の指導		2			1	1	9		5	3	3	・準備学習の指示
課題	宿題の提示 (レポート・小テスト・演習等)	20	10	16		12	7	11		24	20	29	・毎回課題を課し、採点して返却、質問への回答 ・グループ課題を課す ・期末レポートを早めに提示
	自主学習用の問題等の提示	2	1	1		3	1			3	6	2	
	野外調査	1	1	2		1	1	1		1	1	1	・時間外の野外実習
その他	学生主導ゼミ・勉強会の推奨	2	1			2	2						
	メールによる学習指導					1		2		1			
	学習支援システム (PandA) の活用		1	1			1	2			1	6	
	定期的な研究進捗状況の報告	1		1		1	3	4					・研究成果報告会
	時間外指導時間の確保	1		1		1	5	1			2		
	授業時間外学習時間の確保	1		2		2				1		3	
	その他												
													・シラバスに準備学習の指示 ・演習問題・宿題に対する略解を KULASIS で公開 ・毎回の授業の成果等記載する自己記録帳の作成 (学期終了後にレポートとして提出) ・CALL の活用 ・eLearning の活用 ・TA の活用 (事前学習の指導)

【資料 4-4】基礎学力不足の学部学生への配慮

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

項目・内容	全学共通教育			具体例	学部教育			具体例
	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	
基礎学力不足を前提とした授業	3	5			2	1		
講義内対応 学力把握とそれに対応した教材と教授法の選定	2	7	10	・補講 ・基礎的内容からの授業展開 ・基礎からの詳細な解説 ・学生間での教え合い学習	2	10	4	・基本からの詳細な解説
予習・復習の徹底	2					1		
その他				・質問時間の確保 ・机間巡回の充実 ・レポート作成方法の詳細説明 (講義1回)				・質問 (質問用紙) の受付、即回答 ・発展的な内容に触れる際にはそのことを明言
授業補助 書籍・文献等の紹介	5	1	4	・基礎的文献の提示	5	2	5	
課題の提示	4	1			1	1		
教材開発	1							
受講者への対応 質問等への個別対応 対応時間の設定 (オフィスアワー等)	5	6	7	・添削時のコメント ・対話時間の確保 ・オフィスアワーの活用	4	8	6	・面談 ・オフィスアワーの活用
TAの活用	1				1	1		
学習進捗状況の把握	1				2	1		
その他				・関連講義の紹介				・日常的な指導 ・大学院生とペアにした学習

【資料 4-5】研究教育上の目的やディプロマ・ポリシーを意識した学習方法の工夫・成績評価の観点 (基準)

(教員アンケート 2017(H29)年7月実施)

【総合人間学部】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、多角的視点、柔軟な発想	・幅広い視点における思考力の育成を重視 (4) ・文理融合複眼的視座に立った履修の指導 ・他の専門分野の戦略的な学習を促す ・幅広い分野の参考文献書籍の紹介 ・多専攻生の受入	・多角的視点、柔軟な発想 ・幅広い視点 ・批判的思考
プレゼンテーション能力、対話力、リーダーシップ	・発表・討論の重視 (3) ・発表の独創性の育成 ・対話能力の育成 ・対話型授業 ・学生から現代的問題の提示させ、議論する	・発表の重視 (4) ・討論の重視 (5) ・発表の論理構成の明確さ、議論の質、対話能力
専門性	・レポート課題 (2) ・検索能力の構築 ・問題意識の明確化を促す ・重要点に関する質問をすることで、思考力の育成 ・レポートの丁寧な添削 ・参考文献の紹介	・独創性 (3: 研究課題、着眼点) ・独自の問題関心 ・問題提起から解決までの過程における論理的一貫性 ・説得力・論理性・明解性
挑戦する創造的姿勢、持続力	・持続的な学習を促すための教材の工夫や助言 ・学習者一人ひとりの学習目的や動機づけを重視した授業展開	・持続的な取組 (3) ・資料の準備の程度

【人間・環境学研究科】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、複眼的思考	・文理双方の視点の修得 ・幅広い視点における思考力の育成 ・広範な領域の勉学の奨励 ・幅広い分野の文献・書籍の紹介 ・他の専門分野の履修を促す	・幅広い視点 ・批判的思考 ・個別領域に留まらない総合的な理解力
問題解決の企画力	・問題解決型課題を提示 ・研究課題を自ら設定し、解決方法を集団で議論させる ・学生から現代的問題を提示させ、議論する ・現代社会の諸問題に対する、総合的、実践的な理解の促進	・問題解決のための実践的な能力
高度な研究能力	・問題意識を明確化させる ・発表の重視 (4) 例：発表資料の事前準備、時間内での要点整理、着眼点説明をさせる ・議論の重視 (6) 例：問題提起能力の育成を図る ・参考文献の紹介	・論理性 (3) ・発表の重視 (5) ・討論の重視 (5) 例：議論の質
着想の独創性	・自身による問題設定 ・自習資料の提供	・独創性 (3)
持続的努力	・学生各自の学習目的の重視	・課題への対応 (2) ・実験に取り組む姿勢 ・資料収集能力 ・意見・質問による授業への参加状況

【資料 4-6】大学院生の学会発表者数

年度	2016 (H28)				2017 (H29)				2018 (H30)				2019 (R01)									
	国内会議		国際会議		国内会議		国際会議		国内会議		国際会議		国内会議		国際会議							
	修士	博士	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士						
共生人間学専攻	25	49	16	43	0	29	64	0	7	19	0	24	69	0	5	32	0	26	46	0	6	24
共生文明学専攻	1	7	5	23	1	5	12	1	0	6	0	5	13	0	0	5	0	3	18	0	0	3
相関環境学専攻	73	48	3	7	1	79	25	0	8	10	3	113	128	0	50	48	1	51	63	0	31	32
合計 [筆頭]	99	104	24	73	1	113	101	1	15	35	3	142	210	0	55	85	1	80	127	0	37	59
総計 [筆頭]	203		97		215		51		355		140		208		96		[176]		[86]			

・注 [] 内の数字は筆頭著者を示し内数

【資料 4-7】学会への参加を促す取組み

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

項目	第1専攻			第2専攻			第3専攻		
	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)
学会(シンポジウム)参加費の補助	8	9	13	2		1	20	8	15
旅費の補助	17	14	14	2	2	2	21	9	17
研究進捗状況に合わせた学会発表の提案・奨励とそのための指導	1	3	5	1	4	1	2	4	2
海外現地調査、留学体験の推奨				1	2				
奨学金・研究助成の申請のサポート			2	1	2				9
学会情報の提供		3	18	1	4	5		1	
大学宿泊施設の斡旋				1					
学会等の京都開催	1								
競争的資金の獲得	1	1			1			1	

【資料 4-8】他大学・公的機関及び企業との共同研究

年度	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R01)
共生人間学専攻	6	7	24	18
共生文明学専攻	2	2	3	2
相関環境学専攻	23	24	28	11
合計	31	33	55	31

2016(H28) 年度

積水化学工業株式会社、株式会社クラレ、長崎大学、公益財団法人三島雲海記念財団、公益財団法人日本英語検定協会、産業技術総合研究所、第一工業製薬株式会社、三和油化工業株式会社、大阪大学、奈良女子大学、東京工科大学、福井県高浜町、トヨタ自動車株式会社、堺化学工業株式会社、大塚化学株式会社・ヒロセ・ユニエンス株式会社、広島大学、北海道大学、名古屋大学未来材料・システム研究所「革新的省エネルギーのための材料とシステム研究拠点」、トヨタ自動車株式会社、学校法人立命館立命館大学総合科学技術研究機構・株式会社GSユアサ、堺化学工業株式会社研究開発本部中央研究所、ニフティ株式会社、エイベック研究所、国立研究開発法人科学技術振興機構マッチングプランナー、国立民族学博物館、国際日本文化研究センター、北陸先端大学院大学、マレーシア国サラワク州森林局森林研究所、国立民族学博物館、堺化学工業株式会社

2017(H29) 年度

積水化学工業株式会社、公益財団法人日本英語検定協会、奈良女子大学、東京工科大学、福井県高浜町、大塚化学株式会社・ヒロセ・ユニエンス株式会社、学校法人立命館立命館大学総合科学技術研究機構・株式会社GSユアサ、堺化学工業株式会社研究開発本部中央研究所、北陸先端大学院大学、富山大学、北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター、国立遺伝学研究所、マレーシア国サラワク州森林局森林研究所、サントリーウェルネス株式会社、岩崎電気株式会社、国立民族学博物館、核融合研究所、三和油化工業株式会社・豊田通商、産業技術総合研究所、日本福祉大学、東京大学、東京工業大学、大阪大学、産業技術総合研究所、一般財団法人住宅総合研究財団、名古屋大学、堺化学工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、セイコーエブソン株式会社、株式会社カシイ、Mipox 株式会社

2018(H30) 年度

東京工科大学、大塚化学株式会社・ヒロセ・ユニエンス株式会社、学校法人立命館立命館大学総合科学技術研究機構・株式会社GSユアサ、北陸先端大学院大学、公益財団法人結核予防会結核研究所、新潟大学、国立遺伝学研究所、東京大学大気海洋研究所、マレーシア国サラワク州森林局森林研究所、サントリーウェルネス株式会社、岩崎電気株式会社、国立民族学博物館、核融合研究所、三和油化工業株式会社・豊田通商、豊田中央研究所、関西学院大学、香川大学、産業技術総合研究所、日本福祉大学、東京大学、東京工業大学、大阪大学、産業技術総合研究所、三井住友海上福祉財団、一般財団法人住宅総合研究財団、株式会社カシイ、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、National Chiao Tung University、株式会社豊田中央研究所、株式会社村田製作所、明治国際医療大学、パナソニック株式会社、日立製作所、岩手県滝沢市、京丹後市大宮南地域里力再生協議会、鹿児島大学医学部保健学科、パナソニック株式会社、理化学研究所、School of Design and Informatics Abertay University in Scotland UK、School of Languages and Global Studies、University of Central Lancashire England UK、神戸大学保健学研究科、JXTGエネルギー株式会社、雲南農業大学、コペンハーゲン大学、清水建設株式会社、日本電信電話株式会社、豊田通商・三和油化、フランス ルーアン大学、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

2019(R01) 年度

株式会社カシイ、日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、東ソー株式会社、TOA 株式会社、パナソニック株式会社、日立製作所、岩手県滝沢市、京丹後市大宮南地域里力再生協議会、鹿児島大学医学部保健学科、パナソニック株式会社、理化学研究所、School of Design and Informatics Abertay University in Scotland UK、School of Languages and Global Studies、University of Central Lancashire England UK、神戸大学保健学研究科、JXTGエネルギー株式会社、雲南農業大学、コペンハーゲン大学、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、株式会社ダイセル、日本製鉄株式会社技術開発本部先端技術研究所

【資料 4-9】他大学・公的研究機関の共同利用施設・設備の利用に関わる研究課題採択数

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
共生人間学専攻	1	1	1	1
共生文明学専攻	1		2	2
相関環境学専攻	15	9	17	15
合計	17	10	20	18

2016(H28) 年度

- Prof. Dr. Thomas Buchheim, Fakultät für Philosophie, Wissenschaftstheorie und Religionswissenschaft der LMU München 採 択 課 題 : Schellings Philosophie der menschlichen Freiheit (Gefördert von der Deutschen Forschungsgemeinschaft)
- 神戸研究学園都市 UNITY 研究会「未来に向けた日中交流と日中相互関係」
- 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「光電子分光を用いたチタン酸化物の電子構造の研究」
- 岡山大学地球物質科学センター「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」
- 放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究 (広島大学)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」
- 高輝度科学センター SPring-8「高分子結晶化時における密度揺らぎについての研究」・「XAFS を用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析」・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」
- 京大原子炉実験所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」
- 基礎生物学研究所「日本産ミヤコグサとハマダイコン野生種における開花時期制御の種内多型に関わる遺伝的背景の解明」・「開花関連遺伝子 LjEMF2 と LjE1 がミヤコグサ (マメ科) の開花所用日数に及ぼす影響の評価」
- 高輝度光科学研究センター「XAFS を用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析」
- 高エネルギー加速器研究機構
- 高知大学海洋コア総合研究センター「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」・「人工光合成のための層状チタン酸塩光触媒における銀助触媒の XAFS による状態解析」・「レゾルシンール代謝酵素の構造解析が支援する未知遺伝子産物の構造ゲノム科学研究 (2014G699)」・「アスパラギン酸ラセマーゼの温度適応に関する構造解析 II (2014G694)」
- 三重大大学院生物資源学研究所附属練習船勢水丸「京都大学総合人間学部「総合フィールド演習」の一環としての海洋観測・生物生態調査」

2017(H29) 年度

- 京都大学数理解析研究所「ランダム力学系理論の総合的研究」
- 高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同研究課題「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」
- 岡山大学惑星物質研究所「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」
- 大阪市立大学人工光合成研究センター「ポルフィリン色素の固体表面への吸着・金属光還元作用を利用した新規金属担持法の開発」
- 東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」
- 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「レーザー光電子分光を用いた酸化物の電子構造の研究」
- SPring-8「硬 X 線光電子分光による擬一次元バナジウム酸化物の金属絶縁体転移の観測」・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」
- 若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」
- 放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」

2018(H30) 年度

- 京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」
- 国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」
- 神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」
- 放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」
- 大阪市立大学人工光合成研究センター「二酸化炭素還元のための微結晶チタン酸カルシウム光触媒の特異構造と光触媒活性の解明」
- 東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」
- 広島大学放射光科学研究センター「Ca₃(Ru_{1-x}Ti_x)₂O₇ のにおける金属絶縁体転移近傍の電子状態」
- 若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」
- SPring-8「軟 X 線吸収・発光分光によるルテニウム酸化物 Ca₂RuO₄ の電場誘起金属絶縁体転移の観測」・「ポリエステルノジュール形成過程における密度揺らぎの研究」・「高分子結晶化の初期過程における密度揺らぎの研究」・「その場合高エネルギー X 線回折による全固体リチウムイオン二次電池硫化物固体電解質の形成機構解明」・「オペランド軟 X 線吸収分光測定を用いたカーボン担持硫黄正極材料の電子構造 / 局所構造解析」・「アニオン置換した Li 過剰系正極材料のオペランド局所構造解析」・「オペランド XAS 測定を用いた新規 Li 過剰系電極材料の電子・局所構造解析」・「圧粉体セルを用いた全固体 Li イオン電池のオペランド XAFS 計測 (3)」・「全反射 XRD によるアルカリ水電解用 Ni 薄膜アノード電極における活性点構造の解明 (1)」
- 国立遺伝学研究所「光合成を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」
- 株式会社カネカ、フジコーワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」
- 東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規な光エネルギー利用機構の探索」

2019(R01) 年度

- 京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」
- 国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」
- 神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」
- 放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」
- 大阪市立大学人工光合成研究センター「半導体光触媒による二酸化炭素還元のための助触媒の開発」
- 東京大学物性研究所「キュービックアンビルセルを用いた NMR 測定開発」
- 東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規光エネルギー利用機構の生理的役割の解明」
- SPring-8「水電解用アノード電極触媒の XRD による精密構造解析 (1)」・「アニオン置換 Li 過剰系正極材料の充放電反応に伴う結晶構造変化の解析」・「水蒸気雰囲気下での角度分散軟 X 線吸収分光法を用いた硫化物固体電解質の電子・局所構造変化の分析 (1)」・「フッ化物イオン挿入脱離時におけるペロブスカイト型 酸フッ化物正極材料の電子・局所構造解析」・「全固体フッ化物イオン二次電池における金属 / 金属フッ化物二相境界移動挙動の解析 (2)」・「アルカリ水電解中における酸素発生電極触媒の XAFS 解析 (1)」・「Sr₂MO₄F_x (M: Mn, Co) 層状ペロブスカイト化合物の結晶構造と F 濃度に伴う構造変化」・「Li 過剰系材料 (Li₂Nb)₂(Nb, Mn)O₃ 及び (Li, Na)₂(Ni, Mn)O₃ の精密構造解析並びに蓄電容量と関係解明」・「課題番号 2019B1318」
- 国立遺伝学研究所「光合成を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」
- 株式会社カネカ、フジコーワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」

【資料 4-10】 部局内及び部局を構成する学内外研究機関との共同研究

共同研究【研究プロジェクト】

研究者	分野・職位等（発表時） 学内外研究機関の所属等	メンバー / プロジェクト名 / 研究種目	プロジェクト期間
1	高田 時雄 人文科学研究所 名誉教授 道坂 昭廣 東アジア文化論 教授	科学研究費助成 基盤研究 (A) 「中国典籍日本古写本の研究」 【研究代表者】高田時雄 【研究分担者】道坂 昭廣 ほか	2013-2017 年度
2	石川 禎浩 人文科学研究所 教授 江田 憲治 文明構造論 教授	科学研究費助成 基盤研究 (B) 「毛沢東伝に関する総合的考察」 【研究代表者】石川禎浩 【研究分担者】江田憲治 ほか	2015-2018 年度
3	吉川 左紀子 ころの未来研究センター 教授 船曳 康子 身体機能論 准教授	ころの未来研究センター【平成 28 年度 教員提案型連携研究プロジェクト】 「発達障害の学習支援・コミュニケーション支援」（『発達障害』領域） 【研究代表者】吉川左紀子 【連携研究員】船曳康子 ほか	2016 年度
4	小村 豊 ころの未来研究センター / 認知科学 教授 齋木 潤 認知科学 教授	ころの未来研究センター【平成 28 年度 教員提案型連携研究プロジェクト】 「身体・脳の情報を統合するコグニオミクス」 【研究代表者】小村 豊 【連携研究員】齋木 潤 ほか	2016 年度
5	齋木 潤 認知科学 教授 上田 祥行 ころの未来研究センター 特定助教	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 「階層化ニューロフィードバックによる認知制御機能の改善」 【研究代表者】齋木 潤 【研究分担者】上田祥行	2016-2017 年度
6	阿部 修士 ころの未来研究センター 特定准教授 月浦 崇 認知科学 教授	ころの未来研究センター【平成 29 年度 教員提案型連携研究プロジェクト】 「意思決定の認知科学」（研究領域 からだ） 【研究代表者】阿部修士 【連携研究員】月浦 崇 ほか	2017 年度
7	小村 豊 ころの未来研究センター / 認知科学 教授 齋木 潤 認知科学 教授	ころの未来研究センター【平成 29 年度 教員提案型連携研究プロジェクト】 「身体・脳の情報を統合するコグニオミクス」（研究領域 からだ） 【研究代表者】小村 豊 【連携研究員】齋木 潤 ほか	2017 年度
8	吉川 左紀子 ころの未来研究センター 教授 船曳 康子 身体機能論 准教授	ころの未来研究センター【平成 29 年度 教員提案型連携研究プロジェクト】 「発達障害の学習支援・コミュニケーション支援」（研究領域 からだ） 【研究代表者】吉川左紀子【連携研究員】船曳康子 ほか	2017 年度
9	辻 正博 東アジア文化論 教授 小方 登 地域空間論 教授 小島 泰雄 地域空間論 教授	科学研究費補助金 基盤研究 (A) 「古道・関塞遺址調査に基づく前近代中国主要交通路の研究」 【研究代表者】辻 正博【研究分担者】小方 登・小島泰雄 ほか	2017-2020 年度
10	上田 祥行 ころの未来研究センター 特定講師 齋木 潤 認知科学 教授 内田 由紀子 ころの未来研究センター / 認知科学 准教授	ころの未来研究センター【平成 30 年度 研究プロジェクト】 ころワールドマップの作成 【研究代表者】上田祥行 【連携研究員】齋木 潤 ほか 【センター参画】内田由紀子 ほか	2018-2019 年度
11	道坂 昭廣 東アジア文化論 教授 安岡 孝一 人文科学研究所 教授	科学研究費助成 基盤研究 (B) 「中国典籍日本古写本研究の精密化と国際的情報発信」 【研究代表者】道坂昭廣 【研究分担者】安岡 孝一 ほか	2018-2022 年度
12	齋木 潤 認知科学 教授 上田 祥行 ころの未来研究センター 特定講師	科学研究費助成 挑戦的研究（萌芽） 「文化認知科学の基盤形成：長期経験による認知変容の実証データによる検討」 【研究代表者】齋木 潤【研究分担者】上田 祥行	2019-2020 年度

共同研究【成果物】

研究者	分野・職位等（発表時）	成果物	発表年
1	熊切 俊祐 認知科学 D1 上田 祥行 ころの未来研究センター 特定助教 齋木 潤 認知科学 教授	熊切俊祐・上田祥行・齋木 潤「視覚探索における顕著性とアンサンブル情報の眼球運動への影響（ヒューマン情報処理）」『電子情報通信学会技術研究報告 = IEICE technical report : 信学技報』116(229), 67-70, 2016-09-27	2016

【資料 4-11】学際教育研究部の活動

学際教育研究部

[目的] 研究科及び総合人間学部における学際的な教育研究活動を推進すること、及びその活動を支援すること

- [業務] (1) 学際的な教育研究プロジェクト等の推進事業の企画、立案及び運営に関すること。
 (2) 学際的な教育研究の推進に係る支援策の企画、立案及び運営に関すること。
 (3) 学際的な講演会等の企画、立案及び運営に関すること。
 (4) 学際的な教育研究活動の情報発信に関すること。
 (5) その他学際的な教育研究活動の推進及び支援に関すること。

部門		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
大学院教育研究 推進部門	大学院生による「模擬授業」※1	4	2	2	0
	「教養教育実習」※2	8	11	12	7
	研究会活動支援制度(2018年度開始)※3			7	9
学部教育研究 推進部門	「研究を他者に語る」実施人数(学部教務委員会と連携)※4	115	67		
	「総人のミカタ」の支援(2017年4月開始)※5		前期 13回 後期 13回	前期 13回 後期 12回	前期 13回 後期 11回
講演会・地域連携等 推進部門	総人・人環学際セミナー	1	1	1	1
	シンポジウム等の共催	5	3	5	2
	[上記の内、国際シンポジウム]	[5]	[1]	[3]	[1]
広報活動・プロジェクト等推 進部門	報告書発行	2	1	2	1
	HPの更新				

※1 大学院生による大学院生向けの模擬授業

※2 博士後期課程学生を対象にした、指導教員監督のもとで全学共通教育科目の一コマを担当する実習制度
 (授業見学、模擬講義、レポート作成)

※3 複数の研究室の大学院生が協力して運営する研究会活動を支援する制度(施設支援・経費支援)

※4 卒業予定の学生が自身の卒業論文・卒業研究の内容を異分野の教員(聞き役教員)にわかりやすく語ることを通じて
 コミュニケーション能力や多様な視点で物事を観る能力を培うことを目的とした制度

※5 大学院生による総合人間学部生向けの模擬講義企画
 (主催:人間・環境学研究院生による総合人間学部生向け模擬講義企画「総人のミカタ」運営委員会)

[H28(2016)]

学際セミナー	・第1回総人・人環学際セミナー:「ガラス:芸術と科学」(2016年11月16日)[国際]
シンポジウム等の共催	・講演会「Influence of Age and Culture on Memory」(2016年7月30日)[国際]
	・日英共同カンファレンス 近代ヨーロッパにおける理性・差異・寛容(2016年8月2~4日)[国際]
	・講演会「人文地理学の最前線」(2016年11月12日)
	・日米合同国際ガラス科学技術シンポジウム(2016年11月13~15日)[国際]
	・若者文化シンポジウム ドイツでコミケ? ドイツにおける日本のサブカルチャー(2017年3月21日)[国際]
報告書	・庭園調査報告書「ながはまのお庭」Vol.4
	・『学際系学部の教養教育』(2017年3月発行)(2015年12月開催)

[H29(2017)]

学際セミナー	・第2回総人・人環・学際セミナー「色:アート・色覚・色彩論」(2017年11月30日)
シンポジウム等の共催	・関西言語学会 第42回大会(2017年6月10~11日)
	・The 28th Meeting on Glasses for Photonics(2018年1月23日)[国際]
	・「研究を他者に語る」の先へ 教養と学際未来を考える(2018年3月2日)
報告書	・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー』(2018年3月発行)

[H30(2018)]

学際セミナー	・第3回総人・人環・学際セミナー「水」をめぐる科学・経済・芸術(2018年11月29日)
シンポジウム等の共催	・The Winter's Tale(2019年1月6日)[国際](シェイクスピアの『冬物語』を原語で上演)
	・The 29th Meeting on Glasses for Photonics(2019年1月28日)[国際]
	・日本藻類学会第43回京都大会および公開シンポジウム(2018年3月16~17日)
	・山岡記念財団 若者文化シンポジウム「日本とドイツのメディアカルチャー——「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」ワークショップ」(2019年3月19日)
	・アーティストブリッジ 2019 in 京都 「封鎖に抗して ガザ・アーティストは語る」(2019年2月27日)[国際]
	・『総人のミカタ』活動報告書 2017年度前期~2018年度前期(2018年10月発行)
報告書	・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー Vol.2』(2019年3月発行)
研究支援制度	人間・環境学研究院 研究会活動支援制度(2018年度)[前期]

[R01 (2019)]

学際セミナー	・第4回 総人・人環・学際セミナー: AIと創造性 (2019年11月28日)
シンポジウム等の共催	<ul style="list-style-type: none"> ・きんとと主催「金粉ワークショップ 2019」(2019年8月10日(土)～12日(月) 京都大学吉田南キャンパス) ・山岡記念財団主催 第4回若者文化シンポジウム「越境するカルチャー ～日本とドイツ～」 2020年2月19日(水)13:30～17:00 京都大学文学部校舎2階第三講義室 ・「漫画とアニメの影響を受けた日本の若者ドイツ体験」ティモ・テーレン(金沢大学国際学類講師) ・「現代日本のマンガにおける中近世ドイツ表象」林 祐一郎(京都大学大学院文学研究科西洋史専修修士課程) ・「ベルリン在住日本人アーティストの活動一定住と移動のはざままで」高橋 かおり(立教大学社会情報教育研究センター助教) ・「異文化間における日本ゲームの受容: 日・独プレイヤーの体験比較」ステファン・ブリュックナー(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程) ・「日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動」富永 京子(立命館大学産業社会学部准教授) ・司会(山岡記念財団諮問委員) 田野 大輔(甲南大学文学部教授)・吉田 純(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)
報告書	・『総人・人環 卒業生・修了生インタビュー Vol.3』(2020年3月発行)
研究支援制度	人間・環境学研究科 研究会活動支援制度(2019年度)[前期・後期]

【資料 4-12】 外部資金等の受入状況

		年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
科学研究費 助成事業	申請件数(新規のみ)			87	79	101	71
	内定件数(新規)		22	41	38	51	41
	内定件数(新規・継続)		73	118	104	114	124
	内定金額(千円)		194,700	237,540	192,100	196,400	295,430
	内定金額(間接経費含む)(千円)		253,110	299,040	199,290	245,300	357,860
競争的外部資金	採択件数(総数)		8	6	7	9	7
	内訳	文部科学省	8	5	5	6	5
		他省庁等	0	1	2	3	2
	受入金額(千円)		134,110	106,059	210,181	167,915	125,981
共同研究	受入件数(総数)		13	14	19	14	15
	受入金額(千円)		19,779	24,295	22,270	36,419	34,644
	共同研究員受入人数		1	1	0	1	1
受託研究	受入件数		2	2	2	10	10
	受入金額(千円)		20,538	139,237	12,800	177,185	137,173
寄附金	受入件数		18	14	23	16	35
	受入金額(千円)		16,616	14,544	26,723	22,410	22,937
産業財産権・ 特許等	産業財産権の保有件数		4	4	5	5	7
	特許	出願数	4	6	4	1	0
		取得数	2	0	1	0	3
	ライセンス	契約件数	5	4	3	3	2
		収入額(千円)	2,112	2,329	789	1,243	0

【資料 4-13】学生・修了生が獲得した助成金等

(2019(R01)年 10月現在)

	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	
特別研究員	22	8	21	18	
京都大学教育研究振興財団	7	2	3	12	
京都大学若手人材海外派遣事業ジョンワプログラム		1			
学内の支援制度	6	10	15	13	
その他外部の助成金	13	8	9		
計	48	29	48	43	
京都大学 教育研究 振興財団	在外研究支援 長期助成 2 (D1) (D3) 在外研究支援 中・短期助成 1 (D1) 在外研究助成 1 (D1)		1 (D1)	(D1/3名) (D2/4名) (D3/4名) (研修員)	
京都大学若手人材 海外派遣事業 ジョンワプログラム	総合人間学部生 人間・環境学研究科 院生 (修士課程) 人間・環境学研究科 院生 (博士後期課程)	1 (B3)	(D2) (D3)		
学内の支援制度	アジア研究教育ユニット、 京都大学重点戦略アクションプラン 京都大学学生海外研究活動助成金 体験型海外渡航支援制度 一鼎会プログラム「おもろチャレンジ」 国際研究発信力強化プログラム 京大生チャレンジコンテスト	5 (B2/2名) (B3/3名) 2 (M1) (D2) 3 (B/2名) (M1) 1 (D3)	(B1/2名) 5 (B2) (M1) (D2) 2 (M1) (M2) 3 (B/2名) (D2)	5 (B1) 5 (B2/2名) (B4) (M1) 4 (M1/2名) (M2/2名) 5 (B2/2名) (B3) (B4/2名) 1 (B2)	4 (M2/2名) (D1/2名) 6 (B) (M1/2名) (M2/2名) (D1) 3 (B/2名) (M2)
日本学術振興会	科学研究費補助金研究成果公開促進費				
米国研究助成プログラム (社団法人日米協会)		1 (D2)			
Fulbright Scholarship (日米教育委員会)	(M1) 1 語学アシスタント プログラム				
中国政府奨学金					
フランス政府給費留学生制度	1 (D3)				
ポーランド政府奨学金					
スイス政府奨学金					
ドイツ学術交流会 (DAAD) 奨学金					
ボッシュドイツ留学奨学金基金プログラム					
日本哲学会林基金 若手研究者助成					
日本心理学会	ジェンダー研究会シードマネー 国際会議等参加旅費補助金			1 (D1) 1 (D3)	
日本社会心理学会若手研究者海外学会発表支援金					
松下幸之助記念財団	研究助成 松下幸之助国際スカラシップ	1 (D3)	1 (D3)		
笹川科学研究助成 < 学術研究部門 >	2 (D1) (D3)	2 (M2) (D3)	2 (D1) (D3)		
一般財団法人 財団せせらぎ	3 (D2) (D3/2名)		1 (D2)		
福武学術文化振興財団平成 24 年度助成事業					
瀬戸内海文化研究・活動支援助成					
サントリー文化財団研究助成					
若手研究者のためのチャレンジ研究助成					
アサヒグループ学術振興財団	1 (D3)				
味の素 食の文化研究助成				1 (M1)	
澁澤民族学 大学院生等に対する研究活動助成	1 (M2)	2 (D2) (D3)	1 (M2)		
振興基金 国際研究集会参加旅費			1 (D3)	1 (D2)	
公益財団法人昭和聖徳記念財団学術研究奨励					
公益財団法人高梨学術奨励基金・若手研究助成					
西村奨学財団奨学金					
丸文財団国際交流助成		2 (D1) (D2)			
井上科学振興財団井上研究奨励賞					
吉田科学技術財団国際研究集会派遣	1 (D2)				
日本応用心理学会若手会員研究奨励賞	1 (M1)		1 (D3)		
伊藤国際教育交流財団奨学金	1 (M2)				
平和中島財団奨学金				1 (D3)	
日本学生支援機構					
三島海雲記念財団学術研究奨励金			1 (D3)		
嗜好品文化研究会 研究助成事業 (研究助成)				1 (M1)	
一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会					
CIEE JAPAN 50 周年記念スカラシップ		1 (B4)			
International Society of Electrophysiology and Kinesiology, International Travel Award			1 (D3)		
計	31	21	27	31	

【資料 4-14】人文・社会系若手研究者出版助成による出版物(2018(平成30)年度)

	氏名	書籍タイトル
1	田中 亜以子	『男たち/女たちの恋愛——近代日本の「自己」とジェンダー』 (勤草書房、全 280 頁、2019 年 3 月)
2	佟 占新	『戦後日本の道徳教育の成立——修身科の廃止から「道徳」の特設まで』 (六花出版、全 224 頁、2019 年 2 月)
3	藤井 あゆみ	『メランコリーのゆくえ——フロイトの欲動論からクラインの対象関係論へ』 (水声社、全 251 頁、2019 年 3 月)
4	平田 知久	『ネットカフェの社会学——日本の個別性をアジアから開く』 (慶應義塾大学出版会、全 389 頁、2019 年 3 月)
5	佐野 泰之	『身体の黒魔術、言語の白魔術——メルロ＝ポンティにおける言語と実存』 (ナカニシヤ出版、全 384 頁、2019 年 3 月)
6	小川 仁	『シピオーネ・アマーティ研究——慶長遣欧使節とバロック期西欧の日本像』 (臨川書店、全 336 頁、2019 年 3 月)
7	筑 菜奈子	『シリーズ・古典転生 18 ジャクソン・ポロック研究——その作品における形象と装飾性』 (月曜社、全 184 頁、2019 年 3 月)
8	古川 萌	『ジョルジョ・ヴァザーリと美術家の顕彰——16 世紀後半フィレンツェにおける記憶のバトロネージ』 (中央公論新社、全 304 頁、2019 年 3 月)
9	須藤 秀平	『視る民、読む民、裁く民——ロマン主義時代におけるもうひとつのフォルク』 (松籟社、全 336 頁、2019 年 3 月)
10	COKER Caitlin Christine (コーカー・ケイトリン・クリスティーン)	『暗黒舞踏の身体経験——アフェクトと生成の人類学』 (プリミエ・コレクション 97)(京都大学学術出版会、全 296 頁、2019 年 3 月)

	実績
平成 22 年度	8
平成 23 年度	11
平成 24 年度	12
平成 25 年度	9
平成 26 年度	13
平成 27 年度	19
平成 28 年度	17
平成 29 年度	11
平成 30 年度	10
計	100

【資料 4-15】学生・修了生の受賞状況

(2019(R01)年 12月現在)

	2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R01)	
	国内	国際	国内	国際	国内	国際	国内	国際
1 学会賞・奨励賞・最優秀賞・優秀賞	9	1	9	1	6	2	11	1
2 講演・発表・presentation award	5	3	2	2	15	1	6	3
3 論文賞	0	1	2	1	0	2	0	0
4 ポスター賞	6	2	10	3	3	1	5	1
5 学芸賞・財団・大学・自治体等からの受賞	4	2	1	1	0	0	1	0
6 その他の賞・栄誉	3	0	1	1	1	0	1	0
	27	9	25	9	25	6	24	5
	36		34		31		29	

※ 卒業・修了後 5 年以内の者を含む

1【学会賞・奨励賞・最優秀賞・優秀賞】

(2016) 第 7 回表象文化論学会賞、中日対照言語学会第 3 回中青年漢日対比言語学優秀成果賞・著作賞、第 24 回日本バイオメカニクス学会若手研究者奨励賞(基礎研究部門)、日本健康科学学会「学術大会賞」、日本セラミックス協会進歩賞、日本風俗史学会研究奨励賞、2016 年度第 3 回関西電気化学研究会「平成 28 年度関西電気化学奨励賞」、日本英文学会関西支部奨励賞、日本イギリス哲学会「第 9 回日本イギリス哲学会奨励賞」、京都滋賀体育学会若手研究奨励賞

(2017) 第 38 回情報処理学会ゲーム情報学研究集会 若手奨励賞、日本民俗学会研究奨励賞、第 10 回触媒表面化学研究発表会 優秀研究賞、情報処理学会ゲームプログラミングワークショップ 2017 年研究奨励賞、社会心理学会若手研究者奨励賞、2017 年度第 3 回関西電気化学研究会「関西電気化学奨励賞」(2 名)、2017 年度日本アメリカ文学会関西支部第 4 回奨励賞、第 1 回国際仏教青年学者フォーラム (International Young Buddhist Scholar Conference) 仏教青年学者優秀賞、京都滋賀体育学会「若手研究奨励賞 最優秀奨励賞」

(2018) 公益財団法人海洋化学研究所 海洋化学奨励賞、第 58 回ドイツ語学文学振興会賞、日本赤ちゃん学会 第 18 回学術集会 Young Investigator's Award (YIA)、2018 年度日本認知言語学会奨励賞、第 17 回日本社会学会奨励賞 [著書の部]、Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2018) Outstanding Research Award、14th Laser Ceramics Symposium (LCS2018) Young Scientist Award、平成 30 年度第 3 回関西電気化学研究会 2018 年関西電気化学奨励賞

(2019) The 2019 Spring Meeting of the European Materials Research Society (E-MRS) Graduate Student Award、第 10 回表象文化論学会賞 奨励賞、日本比較文学会第 24 回日本比較文学会賞、2019 年度日本熱帯生態学会古良賞奨励賞、GID(性同一性障害)学会第 21 回研究大会 優秀演題賞、平成 30 年度関西電気化学奨励賞、日本質の心理学会国際フロンティア奨励賞、日本陸水学会国際交流奨励賞、日本児童文学学会第 43 回日本児童文学学会奨励賞、日本デザイン学会 2019 年度秋季企画大会学生プロポジション優秀賞、関西電気化学研究会関西電気化学奨励賞(2 名)

2【講演・発表・presentation award】

(2016) 第 9 回触媒表面化学研究発表会優秀研究賞、日米合同ガラス科学技術シンポジウム Excellent Presentation Award、日本陸水学会優秀口頭発表賞、日本応用心理学会第 83 回大会「優秀大会発表賞」、日本基礎心理学会第 35 回大会優秀発表賞、日米合同ガラス科学技術シンポジウム Excellent Presentation Award、第 119 回触媒討論会 学生優秀講演賞、17th International Symposium on River and Lake Environment Oral Presentation Award

(2017) 日本貝類学会学生最優秀発表賞、日本健康科学学会学術大会賞(第 32 回学術大会 一般演題)、The 3rd Asian Marine Biology Symposium AMBS2017 Best Student Presentation Award、JSPS 第 10 回 HOPE ミーティング Best Team Presentation Award

(2018) 国際電気生理学会 International Society of Electrophysiology and Kinesiology, International Travel Award、日本デザイン学会第 65 回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞(デザイン理論・方法論研究部会)、第 25 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 一般演題優秀発表賞(基礎研究部門)、新学術領域「複合アニオン化合物の創製と新機能」第 4 回若手スクール研究企画賞、日本ベントス学会 学生優秀発表賞、日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会学生口頭発表賞、日本言語学会大会発表賞、日本陸水学会第 83 回大会最優秀口頭発表賞、情報処理学会ゲームプログラミング研究会 GPW ガイスター大会 2018 優勝、第 16 回ワーキングメモリ学会大会優秀発表賞、日本基礎心理学会 第 37 回大会 優秀発表賞、日本心理学会 2018 年度学術大会優秀発表賞(2 名)、文科省科研費 新学術領域研究「共創言語進化」第 3 回領域全体会議 ポスター発表奨励賞、第 123 回触媒討論会 学生ポスター発表賞、日本生態学会 Excellent English Presentation Award

(2019) 第 1 回北米フォトニック材料サマースクール Best Experimental Performance賞、日本風俗史学会 設立 60 周年記念事業 大学院博士課程研究発表会 優秀賞、新学術領域研究「複合アニオン化合物の創成と新機能」第 7 回若手スクール 研究企画賞、OKCAT2019 (Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis 2019) Outstanding Research Award、2019 年度第 28 回地理情報システム学術研究発表大会「学生フリーテーマ発表会」若手分科会優秀発表賞、第 80 回応用物理学会秋季学術講演会講演奨励賞、Phosphor Safari2019 (廈門大学) [参加者 約 520 人] The Excellent Presentation Award、第 33 回日本放射光学会学生発表賞、第 47 回 (2019 年秋季) 応用物理学会講演奨励賞

3【論文賞】

(2016) 公益財団法人大学セミナーハウス 留学生論文コンクール 2016 銀賞

(2017) 平成 28 年度『美術史』論文賞、平成 29 年度日本熱帯生態学会古良賞奨励賞、Journal of American Ceramic Society, 2017 Best Paper Award Best 10 Paper

(2018) Physical Chemistry Chemical Physics 2018 PCCP HOT Articles、Journal of Material Chemistry C 2018 Hot Paper

4【ポスター賞】

(2016) 第 5 回 JACI/GSC シンポジウム「GSC ポスター発表賞」(2 名)、第 14 回触媒化学ワークショップ「最優秀ポスター発表賞」、同「優秀ポスター発表賞」、第 6 回 CSJ 化学フェスタ 2016 優秀ポスター発表賞、第 10 回物性科学領域横断研究会 優秀ポスター賞、平成 27-31 年度文部科学省新学術領域研究「核マントル共進化」第一回ウィンタースクールポスター賞、マルチメディア情報イデイング・エンリッチメント研究会 (EMM 研究会) 優秀ポスター賞

(2017) JSPS 科研費新学術領域「新学術領域 複合アニオン化合物の創製と新機能」キックオフミーティング優秀ポスター賞、光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター賞、第 6 回 JACI/GSC シンポジウム GSC ポスター賞、The 9th Asian Conference on Electrochemical Power Sources 2017 Best Poster Awards、第 15 回触媒化学ワークショップ優秀ポスター賞、第 38 回触媒学会若手会「夏の研修会」優秀ポスター発表賞第 3 位、第 49 回日本セラミックス協会ガラス部会夏季若手セミナー優秀発表賞(2 名)、第 7 回 CSJ 科学フェスタ 2017 最優秀ポスター発表賞、同優秀ポスター発表賞、International Academy of Astronautics Humans in Space Symposium, Outstanding Student Presentation Award、日本植物分類学会第 17 回大会大会発表賞(2 名)

(2018) 第 37 回光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター賞、2018 年度化学電池材料研究会 第 42 回講演会・夏の学校「優秀ポスター賞」、Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2018) Outstanding Research Award、日本語政策学会 第 20 回記念研究大会 発表賞(ポスター発表部門)

(2019) 第 38 回光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター発表賞、第 8 回 JACI/GSC シンポジウム ポスター発表賞、化学電池材料研究会 第 43 回講演会・夏の学校優秀ポスター賞、第 13 回触媒道場 優秀ポスター賞、日本心理学会第 83 回大会一般研究発表(ポスター)優秀発表賞、The International Joint Meeting of the Polarographic Society of Japan and National Taiwan University 優秀ポスター発表賞

5【学芸賞・財団・大学・自治体等からの受賞】

(2016) 第 33 回 (2016 年度) 渋沢・クロード賞特別賞、台北市役所職員著書奨励賞、第 2 回中村元東洋思想文化賞 松江市長賞、第 2 回須賀敦子翻訳賞、第 9 回京都大学「たちばな賞」優秀女性研究者賞(優秀女性研究者奨励賞 学生部門)、SMセイ女性研究者奨励賞

(2017) 2017 年度三井住友海上福祉財団賞 財団奨励賞、第 10 回日仏会館フランス語コンクール奨励賞

(2019) 第 34 回「女性史青山なを賞」

6【その他の賞・栄誉】

(2016) 高円宮妃英語エッセイコンテスト 2015 2 等賞、カクヨム web 小説コンテスト大賞、京都市総合企画局「学生のまち京都映像コンテスト」最優秀賞

(2019) 第十七回開高健ノンフィクション賞

【資料 4-16】 学生の論文掲載数

(2019(R01) 年 10 月現在)

年度	2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)			2019 (R01)		
	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士
共生人間学専攻	1	4	34	1	10	34	0 []	3 [3]	49 [38]	0 []	5 [5]	37 [29]
共生文明学専攻	0	7	12	1	2	10	0 []	2 [0]	16 [7]	0 []	2 [1]	10 [5]
相関環境学専攻	1	12	21	0	17	10	0 []	5 [2]	22 [15]	0 []	7 [5]	14 [12]
計	2	23	67	2	29	54	0 [0]	10 [5]	87 [60]	0 [0]	14 [11]	61 [46]
総計	92			85			97 [65]			75 [57]		

・注 [] 内の数字は筆頭著者を示し内数

【資料 4-17】 メディアに取り上げられた学生・修了生

(2019(R01) 年 11 月現在)

	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
1. 新聞	9	14	21	11
2. テレビ・ラジオ・雑誌				
3. HP	1	1		
4. その他				
計	10	15	21	11

※ 学部卒業後、大学院修了後 5 年以内の者を含む

1. 学部学生	2		2	
2. 学部卒業生 (5 年以内)			1	
3. 修士課程学生	1	2	0	1
4. 博士後期課程学生			3	1
5. 研究科修了生 (学位取得後 5 年以内)	7	13	15	9
計	10	15	21	11

【資料 4-18】 教育コンテンツ等の作成について

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

内容	教員名	詳細
授業関連情報の WEB 掲載	日置 尋久	●演習科目、実習科目では授業資料、課題等を WEB サイトに提示している。 【URL】 ・ http://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/~hioki/lect/ ●コンピュータリテラシーの演習では学生がグループ内でコミュニケーションをとれるようにするために学習支援システム (PandA) でフォーラム (掲示板) を開設し利用している。また同じく PandA を使って授業に関するコメントを学生に提出してもらって、それに対してフィードバックを行っている ●プログラミングの演習では独自のパッケージを作成し、授業で利用している
	立木 秀樹	●ホームページにて、作品、論文等を公開している ●Java Applet で、動作をさせながら理解できるようなコンテンツを提供している 【URL】 ・ https://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/users/tsuiki/
	吉田 純	●過去の授業で用いた資料 (パワーポイントスライド)、学生が提出した課題などを、ウェブ上でアーカイブ化し、履修学生・TA および教員のみが閲覧できるよう、パスワードで保護している (平成 26 年度以降は、PandA を利用) 【URL】 ・ https://socio.kyoto-u.ac.jp/rtc
	水野 真理	●全共英語では、KULASIS の授業資料機能を活用して、欠席した学生にも資料を配布している
	石川 尚人	●講義資料、実習用教材を HP に掲載している 【URL】 ・ http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~ishikawa/
	瀬戸口 彰浩	●実習テキストを KURENAI にリポジトリとして公開している
	高橋 幸	●全学共通教育英語ライティング・リスニングの授業に関して、GORILLA 上のリスニングコンテンツを利用している GORILLA : 英語ライティング・リスニング (ライリス) の授業で提示されるリスニング課題を行う Web 教材
	西山 教行	●全教科目のフランス語では文法教材をネットにあげ、現在、タブレット対応を進めている 【URL】 ・ http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/index_jp.htm

【資料 4-18】教育コンテンツ等の作成について

内容	教員名	詳細
京都大学オープン・コースウェアへの公開	藤田 耕司	<ul style="list-style-type: none"> ●主催した国際会議の講演ビデオの公開 京都生物言語学会議—ヒトの言語能力：その設計・発達・進化— (2012年3月12日開催) 【URL】・http://ocw.kyoto-u.ac.jp/international-conference/30/video ●第9回言語進化の国際会議 Evolang IX 京都大会 【URL】・http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/international-conference/31 ●企画した講演会の模様を公開 言語学講演会 (2013年12月18日開催) 【URL】・http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/opencourse/83
	西山 教行	<ul style="list-style-type: none"> ●講義のいくつかを OCW に掲載。全教科目のフランス語では文法教材をネットに掲載し、現在タブレット対応を進めている。 【URL】・言語教育政策論 (2012) http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/01-faculty-of-integrated-human-studies-jp/8138001 ・言語教育政策論演習 (2013) http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/01-faculty-of-integrated-human-studies-jp/7ju075 ・外国語教育政策論 1(2014) http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/graduate-school-of-human-and-environmental-studies-jp/06 ・フランス語教材 La Grammaire Active du Français (Mitsuru Ohki, Noriyuki Nishiyama, Jean Francois Graziani) http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/01-faculty-of-integrated-human-studies-jp/07
	三浦智行	<ul style="list-style-type: none"> ●OCW の活用 【URL】・04 - ウイルス多様性科学 2(2010) https://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/graduate-school-of-human-and-environmental-studies-jp/science-of-virus-diversity2-1
	西山 教行	<ul style="list-style-type: none"> ●教員個人のサイトを作成し、必要な情報を掲載している 【URL】・http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/
	藤田 耕司	<ul style="list-style-type: none"> ●企画した学会シンポジウムの模様を YouTube 上で公開している 関西言語学会第 39 回大会シンポジウム「言語理論と科学哲学」(2014年6月14日開催) 【URL】・https://www.youtube.com/watch?v=3rYHX_r4Rvk ・https://www.youtube.com/watch?v=wjpoibCEg0l
	多賀 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●読書会での報告のデータベースを作成中 【URL】・http://s-taga.com
	月浦 崇	<ul style="list-style-type: none"> ●研究関連情報も含む研究室の情報を、研究室ホームページに公開している 【URL】・http://www.memory.jinkan.kyoto-u.ac.jp/index.html
	山本 洋紀	<ul style="list-style-type: none"> ●論文等の京大リポジトリ (KURENAI) 登録 【URL】・https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/49802/browse?type=author&order=ASC&rpp=20&value=Yamamoto%2C+Hiroki
	小島 泰雄	<ul style="list-style-type: none"> ●科研の研究成果(調査報告書)を KURENAI に公開した 【URL】・http://hdl.handle.net/2433/179530 ・http://hdl.handle.net/2433/197306 ●地域空間論研究室が編集にあつている『地域と環境』第 14 号を KURENAI に公開した 【URL】・https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/224924
	鎌田 浩毅	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページに教育関連コンテンツへのリンクを掲載している 【URL】・http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~kamata/
	内本 喜晴	<ul style="list-style-type: none"> ●教員個人のサイトを作成し、必要な情報をそこに載せている 【URL】・http://www.uchimoto.jinkan.kyoto-u.ac.jp/
	神川 龍馬	<ul style="list-style-type: none"> ●個人の研究内容等をウェブ上で公開している 【URL】・https://sites.google.com/site/ryomakamikawa/
	吉田 寿雄	<ul style="list-style-type: none"> ●研究室の HP に発表した論文・学会発表の情報を載せている。 【URL】・http://yoshida.jinkan.kyoto-u.ac.jp
	教材開発	田地野 彰
Timothy Stewart		<ul style="list-style-type: none"> ●e-learning course for the CALL classes (2012年10月から)
金丸 敏幸		<ul style="list-style-type: none"> ●フランス語 CALL 教材 (La Grammaire Active du Français) の作成協力 【URL】・http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/index.html ●英語 II (オーラルプレゼンテーション：Craig Smith 先生) の授業ビデオアーカイブの作成 (DVD への収録) ●英語 II (アカデミック・リスニング) のウェブ教材 (Kyoto University Listening for Academic Purposes) の作成 (2012年10月より学内向けに公開)
河崎 靖		<ul style="list-style-type: none"> ●ドイツ語 CALL 教材 (中級) の開発 ●ドイツ語：教室型 CALL 教材作成 (CD4 枚)『総合ドイツ語』/『入門ドイツ語』/『中級ドイツ語』/『自律型 CALL ドイツ語』 ●オランダ語：教室型 CALL 教材作成『オランダ語入門』 学内でのみ使用 (自律型 CALL：学術情報メディアセンター北館・南館 OSL や附属図書館 3 階 OSL、吉田南総合図書館、桂キャンパス船井交流センター 3 階 OSL の PC 端末にて利用可能な CALL 教材)
舟橋 春彦		<ul style="list-style-type: none"> ●ショートムービー『力学台車の加速実験』制作
塚原 信行		<ul style="list-style-type: none"> ●京都大学 国際高等教育院 附属国際学術言語教育センター (i-ARRC) スペイン語部会主催 京都大学スペイン語学習ポータルサイト「京大スベ語」https://esp-kyoto-u.com/

注) 京都大学オープン・コースウェアとは、学内で実際に利用している講義教材をインターネットで公開するプロジェクト
注) PandA とは、京都大学情報環境機構が提供している、WWW ブラウザから教員と学生が利用する学習支援サービス

【資料 4-19】 学生相談室の利用件数

・相談件数

	総合人間学部					人間・環境学研究科				計
	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生以上	M1	M2	M3以上 研究生	D	
2016(H28)	4	7	6	4	6	5	2	1		35
2017(H29)	3	6	5	12	6	3	6	1	5	47
2018(H30)	7	2	8	3	17	8	6	2	6	59

・相談者の主訴の内訳

内容	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
学習・学業に関する相談	20	26	29
進路に関する相談	0	4	3
人間関係・個人の悩みに関する相談	12	17	23
その他	3	0	4
計	35	47	59



國際交流

5. 国際交流

【資料 5-1】外国人留学生受入数の推移（総合人間学部）

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
KUINEP ^{*1} による受入	29	29	35	54	55
大学間学生交流協定による受入	19	18	16	15	14
合計	48	47	51	69	69

^{*1} KUINEP : Kyoto University International Education Program (京都大学国際教育プログラム)
 本学創立 100 周年の 1997 年に始まった。学生交流協定を締結している大学より、半年から 1 年間、留学生を受け入れている。協定校の学部生が本学の学生とともに英語で講義される科目を履修するプログラム。

【資料 5-2】外国へ留学等をした学生数の推移（総合人間学部）

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
大学間学生交流協定 ^{*1} による派遣	14	12	15	11	13
観光を除く海外渡航 ^{*2}	48	39	37	22	18
合計	62	51	52	33	31

^{*1} 学生交流協定を締結している大学へ半年から 1 年間、日本人学生を派遣するプログラム
 (1997 (平成 9) 年開始)

^{*2} 語学研修、インターンシップ、ボランティア等

【資料 5-3】外国人留学生受入数の推移（人間・環境学研究科）

(各年度 5 月 1 日現在)

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	
修士課程	国費	8	8	5	3	6	7
	私費	33	43	58	49	65	90
博士後期課程	国費	12	11	16	15	12	9
	私費	36	45	45	57	62	73
研究生・特別研究生	国費	2	2	3	3	4	4
	私費	13	9	15	19	14	18
合計	104	118	142	146	163	201	

注) ・在留資格が「留学」以外も含む

【資料 5-4】出身地域別留学生受入数（人間・環境学研究科）

（各年度 5 月 1 日現在）

地域	国または地域名	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	計
アジア	インド		1	1	1		1	4
	インドネシア共和国	1	1	1			1	4
	大韓民国	7	6	9	9	7	10	48
	台湾	8	7	9	6	8	9	47
	中華人民共和国	59	75	93	101	126	156	610
	ベトナム社会主義共和国			1	1	1		3
	マレーシア	1	1	1	1			4
	シンガポール				1	1	2	4
	香港				1		1	2
	モンゴル国	2	1	1	1	1	1	7
北米	アメリカ合衆国	4	5	5	5	5	6	30
	カナダ		1	1	1	1	1	5
南米	ジャマイカ							0
	ブラジル連邦共和国	3	2	2	2	1	1	11
	ペルー共和国	1	2	2	1			6
欧州 (NIS 諸国含む)	イタリア共和国			1	2	1	1	5
	ウクライナ	1	1	1	1	1		5
	ウズベキスタン	1	1					2
	英国					1	1	2
	エストニア			1				1
	オランダ王国		1		1			2
	ジョージア	1	1	1	1			4
	スペイン	1						1
	スロバキア共和国							0
	ドイツ連邦共和国	3	2	1				6
	ハンガリー	1	1	2	2	1	1	8
	フランス共和国	1	3	2	1			7
	ベルギー王国	1	1	1				3
	ベラルーシ共和国	1	1	1	1			4
	ラトビア共和国					1	1	2
	リトアニア共和国	1	1					2
	ルーマニア	1	1	1	1	1	1	6
	ロシア連邦	2	1	2	3	3	2	13
	大洋州	オーストラリア連邦	1					1
ニュージーランド		1	1	2	2	2	1	9
トルコ共和国						1	1	2
アフリカ	ケニア	1						1
	合計	104	118	142	146	163	199	872

注)・在留資格が「留学」以外も含む

【資料 5-5】外国人研究者等受入数の推移

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
外国人研究員 ^{※1} (客員教授・准教授)	5	5	5	6	4	6
招へい外国人学者 ^{※2}	9	4	1	8	5	7
外国人共同研究者 ^{※2}	4	3	3	2	10	7
計	18	12	9	16	19	20

注) ^{※1} その年度内に受け入れた人数を示す
^{※2} その年度内に滞在した人数を示す

【資料 5-6】招へい外国人学者による国際交流セミナー開催状況

年度	受入れ期間	氏名	所属	受入教員	国際交流セミナー(開催日・講演タイトル)
30	2018年 1月 1日- 2018年 6月13日	LOSCHKY Lester C	米国・カンサス州立大学 心理科学部 准教授(視覚科学)	齋木 潤	2018年4月20日 How is a movie watchers' understanding related to how they watch a movie?— The results of eye movements and comprehension studies
	2018年 3月31日- 2018年 5月31日	XIE Feng	中国・中国科学院成都生物研究所教授 (両生類の系統分類、進化、保全生物学)	西川 完途	2018年5月10日 中国に生息する両生類の多様性と危機的状況 (Biodiversity and Threatened Status of Amphibians in China)
	2018年 6月15日- 2018年12月14日	Liu Gang (謝 峰)	中国・中国科学院大学 成都生物研究所教授	小松直樹	2018年 8月 2日 中国の文化とライフスタイル：武漢での生活紹介 Chinese culture and lifestyle: a brief introduction of the life in Wuhan
	2018年11月 1日- 2019年 3月31日	Ali Qleibo	エルサレム・アル＝クドゥス大学教授 ／アーティスト	岡 真理	2019年 1月15日 Jerusalem in Kyoto -Similarities and Differences between Two Ancient Cities-
	2019年 1月 1日- 2019年 3月31日	Alberto Bianco	フランス・細胞分子生物学研究所主任 研究員	小松直樹	2019年 2月15日 A Cultural Journey between Italy and France
	2019年 1月 1日- 2019年 6月13日	Paolo Hertier	トリノ大学法学部准教授	岡田 温司	2019年 3月11日 「心の中で書かれたもの」リヴァイアサンの王の身体から「ロボット心」まで
01	2019年 5月 1日- 2019年10月31日	Mario Wenning	中国・マカオ大学准教授 (視覚科学)	安部 浩	2019年6月27日 Human and Animal Wisdom—An Intercultural Perspective 「人間と動物の叡智—異文化間比較の観点から」
	2019年 9月 1日- 2020年 2月29日	Pant-Mohan Moorti	ネパール・ブルバンチャル大学クアバ 工科学院教授	増井 正哉	2019年11月5日 Himalayan Landscape -Representation and Meaning in Nepalese Context-
	2019年 9月20日- 2020年12月19日	Sebastian Mahlik	ポーランド・グダンスク大学准教授	田部 勢津久	2019年11月19日 Do we still remember Nicolaus Copernicus in Poland? 「ポーランドのコペルニクスをまだ覚えているかい？」
	2019年12月15日- 2020年 3月14日	A.F.M.Mustafizur Rahman	バングラデシュ ダッカ大学教授	小松直樹	2020年3月3日 "A Journey through Bangladesh" 「バングラディッシュの旅」
	2019年 2月15日- 2020年 5月14日	Seddon Angela Beth	ノッティンガム大学教授	田部 勢津久	

【資料 5-7】部局間学術交流協定締結先一覧

人間・環境学研究所

国・地域名	大学・機関名	締結年
中華人民共和国	中国科学院 成都生物研究所	2012 (2016 更新)
台湾	国立台湾大学 文学院・社会科学院	2015 (2018 更新)
マレーシア	サラワク大学	2017
カザフスタン共和国	カザフスタン生物多様性保全協会	2017
中華人民共和国	浙江自然博物館	2014(2019更新)
ロシア	ロモノーソフ記念モスクワ国立総合大学	2019

総合人間学部

国・地域名	大学・機関名	締結年
台湾	国立台湾大学 文学院・社会科学院	2015 (2018 更新)



施設・設備

6. 施設・設備

【資料 6-1】使用目的別室数と保有面積

(面積：㎡, 2016 (平成 28) 年度)

建物	教室 ^{*1}		教員研究室 ^{*2}		事務室 ^{*3}		その他 ^{*4}	
	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積
吉田南総合館	7	287	170 [10]	5,822 [288]	0	0	24 [10]	954 [652]
吉田南 2 号館	3	216	49 [4]	1,382 [124]	0	0	4 [3]	196 [182]
吉田南 3 号館	2 [1]	162 [81]	31 [9]	840 [162]	1	36	3	180
吉田南 4 号館	0	0	0	0	0	0	2	50
総合人間学部棟	15	1,114	16	883	4	178	5	111
人間・環境学研究科棟	7	664	133	4,815	10	452	22 [6]	1,518 [622]
計	34 [1]	2,443 [81]	399 [23]	13,742 [574]	15 [0]	666 [0]	60 [19]	3,009 [1,456]

注) ・ [] 内は、他部局利用スペース (貸借等) で内数

*1 講義室、実験実習・演習室、語学実習室を示す

*2 実験室、院生室、共同研究室が含まれる

*3 会議室 (3 室) が含まれる

*4 ボイラー室、電気 (電源) 室、ポンプ室、倉庫などが含まれる。また、吉田南総合図書館の使用スペース (14 室) が含まれる

【資料 6-2】使用形態別室数と保有面積

(面積：㎡, 2012 (平成 24) 年度)

建物	講義室		実験・実習・演習室		語学実習室		合計	
	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積
吉田南総合館	0	0	7	287	0	0	7	287
吉田南 2 号館	0	0	3	216	0	0	3	216
吉田南 3 号館	0	0	2 [1]	162 [81]	0	0	2 [1]	162 [81]
吉田南 4 号館	0	0	0	0	0	0	0	0
総合人間学部棟	10	800	4	203	1	111	15	1,114
人間・環境学研究科棟	2	353	5	311	0	0	7	664
計	12 [0]	1,153 [0]	21 [1]	1,179 [81]	1 [0]	111 [0]	34 [1]	2,443 [81]

注) ・ [] 内は、他部局利用スペース (貸借等) で内数



社会との交流・公開

7. 社会との交流・公開

【資料 7-1】 公開講座

年度	開催日・テーマ・場所	講師	演題	参加人数
2014 (H26)	多様性に向き合う 平成 26 年 10 月 4 日 (土) 10:00 ~ 17:30 京都大学楽友会館 2 階会議・講演室	服部 文昭	「世界の多様な言語の将来は？」(人間・環境学研究科教授)	39
		松井 正文	「動物の種多様性：両棲類を例に」(人間・環境学研究科教授)	
		風間 計博	「キリバスのサンゴ島で多様性を考えるー過酷な環境下の生活実践ー」(人間・環境学研究科教授)	
		神崎 素樹	「神経システムの簡略化からヒトの多様な動作を捉える」(人間・環境学研究科准教授)	
2015 (H27)	共生社会に向けて 平成 27 年 10 月 3 日 (土) 10:00 ~ 17:30 京都大学楽友会館 2 階会議・講演室	市岡 孝朗	「熱帯雨林の生物は共生しているか？：生物多様性を支える相互作用の網」(人間・環境学研究科教授)	38
		倉石 一郎	「日本型「多文化共生」と人間形成ー教育学の視点から」(人間・環境学研究科准教授)	
		船曳 康子	「多様なヒトと共に生きるには」(人間・環境学研究科准教授)	
		田中 雅一	「共生を拒否する宗教と共生を試みる宗教」(人文科学研究科教授)	
2016 (H28)	人間と環境 平成 28 年 8 月 9 日 (火) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション1「民主主義は環境問題の解決に寄与しうるか」 ◇講演：佐野 亘 (人間・環境学研究科教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：戸田 剛文 (人間・環境学研究科准教授) 阪上 雅昭 (人間・環境学研究科教授)		94
		セッション2「カオスと人間」 ◇講演：酒井 敏 (人間・環境学研究科教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：土屋 徹 (人間・環境学研究科准教授) 細井 和之 (人間・環境学研究科教授)		
2017 (H29)	脳の可能性と限界 平成 29 年 8 月 9 日 (水) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション1「無知の知を以て、未知の世界を渡らん」 ◇講演：小村 豊 (こころの未来研究センター教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：佐野 宏 (人間・環境学研究科准教授) 森成 隆夫 (人間・環境学研究科准教授)		94
		セッション2「<ことば>の獲得から見る心と脳」 ◇講演：谷口一美 (人間・環境学研究科教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：池田 寛子 (人間・環境学研究科准教授) 船曳 康子 (人間・環境学研究科准教授)		
2018 (H30)	来た・見た・考えた ーフィールド手帳からー 平成 30 年 8 月 9 日 (木) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション1「地図と景観から歴史を読む」 ◇講演：山村 亜希 (人間・環境学研究科准教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：青山 拓央 (人間・環境学研究科准教授) 櫻川 貴司 (人間・環境学研究科准教授)		121
		セッション2「賀茂の流れと社叢林の植物学」 ◇講演：瀬戸口 浩彰 (人間・環境学研究科教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：宮下 英明 (人間・環境学研究科教授) 中嶋 節子 (人間・環境学研究科教授)		
2019 (R01)	見えないものを観る力 令和元年 8 月 8 日 (木) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション1「国際関係と音楽の見えざる役割」 ◇講演：齋藤 嘉臣 (人間・環境学研究科准教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：若谷 彩子 (地球環境学堂准教授) 市岡 孝朗 (人間・環境学研究科教授)		114
		セッション2「原子・分子が織りなすナノの世界」 ◇講演：高木 紀明 (人間・環境学研究科教授) ◇パネルディスカッションコメンテーター：佐野 泰之 (人間・環境学研究科特定助教) 清水 扇丈 (人間・環境学研究科教授)		

【資料 7-2】総合人間学部オープンキャンパス開催状況

【参加人数】

年度	事前申込数	参加者数
2014 (H26)	1,696	1,700
2015 (H27)	1,772	1,600
2016 (H28)	1,982	2,100
2017 (H29)		2,100
2018 (H30)		2,000
2019 (R01)		1,600

2019 (令和元) 年度 総合人間学部オープンキャンパス

【開催日時】 2019 (令和元) 年 8 月 8 日 (木) 吉田南構内

【企画内容】

- ①学部説明会・模擬講義 (吉田南 4 号館 3F4 共 30,31 教室・2F 21 教室)
 - ・ A 時間帯 11:15 ~ 12:30 学部説明会 + 模擬講義 I 「自由意志の哲学」(青山拓央 准教授)
 - ・ B 時間帯 13:30 ~ 14:45 学部説明会 B + 模擬講義 II 「運動がうまくなる方法を本気で考える」(久代恵介 教授)
- ②相談コーナー — 教員・学生と語ろう— (10:00 ~ 16:30 総合人間学部棟 1F 1102 講義室)
- ③研究室公開 時間帯 第 1 クール (13:00 ~ 14:00) 第 2 クール (15:15 ~ 16:00)

人間科学系	・倉石 一郎 教授 (教育学)
	・戸田 剛文 准教授 (哲学)
	・木下 千花 准教授 (映画研究)
認知情報学系	・齋木 潤 教授 (認知科学、視覚科学)
	・木坂 正史 准教授 (数学 (力学系理論))
国際文明学系	・西山 教行 教授 (言語教育学, フランス語教育学, 言語政策学, フランコフォニー)
	・土屋 由香 教授 (アメリカ研究・アメリカ史 (特に冷戦史))
	・長谷川 千尋 准教授 (日本古典文学)
文化環境学系	・池田 寛子 准教授 (アイルランド文学)
	・岡 真理 教授 (現代アラブ学 / パレスチナ問題)
	・中嶋 節子 教授 (建築史・都市史)
自然科学系	・山村 亜希 教授 (人文地理学・歴史地理学)
	・木下 俊哉 准教授 (自然科学系 物性物理学実験)
	・津江 広人 教授 (有機化学)
	・瀬戸口 浩彰 教授 (植物の系統進化学)
	・酒井 敏 教授 (地球科学)

- ④総合人間学部紹介コーナー (10:00 ~ 16:00)
 - ・学部展示 パネル展示コーナー, 総人紹介ビデオコーナー (総合人間学部棟)
 - ・教員著書展示 (吉田南総合図書館)
- ⑤ 学生企画
 - ・ 1 京都大学各種団体の演技 (12:30 ~ 13:30 吉田南総合館北棟北側 中庭付近)
 - ・ 2 現役総人人生による学部紹介 (11:00 ~ 12:15 / 14:15 ~ 15:30 吉田南総合館北棟 2F 共北 25,26 教室)

【資料 7-3】本研究科関係発行元による学術誌

	タイトル	発行元 / 最新号 / ISSN /
1	『人間・環境学』	京都大学大学院人間・環境学研究科 最新号: 第28巻(2019-12-20) ISSN:0918-2829
2	『絵人・人環フォーラム』	京都大学大学院人間・環境学研究科 最新号: No.37(2019-02-28) ISSN:2434-9143
3	『言語科学論集』 (Papers in Linguistic Science)	京都大学大学院人間・環境学研究科言語科学講座 最新号: 第24号(2018-12)
4	『ドイツ文学研究 (ドイツ文学研究報告)』	京都大学人間・環境学研究科ドイツ語部会 最新号: 第64号(2019-03-25) ISSN:0419-5817
5	『文明構造論: 京都大学大学院人間・環境学研究科 現代文明論講座文明構造論分野論集』 (2014年 vol.10にて廃刊)	京都大学大学院人間・環境学研究科現代文明論講座文明構造論分野『文明構造論』刊行会 最新号=Vol.10(2014-10-31) ISSN:1880-4152 (vol.10にて廃刊)
6	『人間存在論』	京都大学大学院人間・環境学研究科総合人間学部『人間存在論』刊行会 最新号: 第25号(2019-07-01) ISSN: 1341-2698
7	『英文学評論』 Review of English Literature	京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会 最新号: 第91集(2019-02-28) ISSN: 0420-8641
8	『あいだ／生成』	あいだ哲学会(京都大学大学院人間・環境学研究科篠原資明研究室) 最新号: 第9号(2019-03-28) ISSN:2432-8785
9	『歴史文化社会論講座紀要』	京都大学大学院人間・環境学研究科歴史文化社会論講座 最新号: 第16号(2019-03-15) ISSN:1344-4824
10	Contributions from the Biological Laboratory, Kyoto University	京都大学大学院人間・環境学研究科 最新号: Vol.31 No.1 (2019-03-08) ISSN: 0452-9987
11	『社会システム研究』	京都大学大学院人間・環境学研究科京都大学総合人間学部社会システム研究刊行会 最新号=第22号(2019-03-20) ISSN: 1343-4497
12	『ディアファネース: 芸術と思想』	京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室 最新号 = 第 6 号 (2019-03-29) NCID: AA12674073
13	『文芸表象論集』	京都大学大学院人間・環境学研究科 文芸表象会 最新号: 第7号(2019-12-31) ISSN: 2188-0239
14	『地域と環境』	京都大学大学院人間・環境学研究科「地域と環境」研究会編 最新号: No.15 (2018-12-28) ISSN: 1344-0985
15	『コンタクト・ゾーン』	『コンタクト・ゾーン』(京都大学人文科学研究所人文国際研究センター発行)の後続誌 006 から人間・環境学研究科(文化人類学分野)発行(電子版のみ) 最新号: 第 10 号 (2018-06-30) ISSN:2188-5974
16	『いのちの未来』	京都大学大学院人間・環境学研究科カール・ベッカー研究室 最新号: No.2 (2017-02-18) ISSN: 2423-9445

【資料 7-4】アウトリーチ活動について

(回数)

年度		2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R01)
出張講義	高等学校・中高一貫校	6	7	9	11	9	18
	小・中学校・小中一貫校	6	2	5	5	5	4
	その他	3	1	2	2	1	1
	合計	15	10	16	18	15	23
訪問受入	高等学校・中高一貫校	14	9	16	19	24	14
	小・中学校・小中一貫校	1	0	2	2	5	1
	その他	1	0	1	0	4	0
	合計	16	9	19	21	33	15



各種アンケート調査

8. 各種アンケート調査

【資料 8-1】 総合人間学部 授業評価アンケート

	2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	2016	2016	2017	2017	2018	2018
開講年度	238	223	273	222	259	253
対象科目	2607	2,266	2,553	1,941	2,677	2,289
履修者数	343	189	338	206	474	308
回答者数	13.2%	8.3%	13.2%	10.6%	17.7%	13.5%
回答率						
(Q.01) この授業を履修しようと思ったのはなぜですか (複数回答可)	A. シラバスを読んで興味が湧いた 71.7 B. 指導教員の授業だから 7.9 C. 卒業要件に必要なだから 36.7 D. 教員免許等の資格取得に必要な授業だから 2.9 E. その他 1.5 F. 無回答 0.6	72.0 13.8 32.8 4.8 0.5 0.0	75.4 8.6 29.6 8.0 3.6 0.0	75.2 11.7 25.7 5.8 2.4 0.5	80.4 7.2 33.3 4.0 1.9 0.2	74.0 11.7 29.9 5.5 1.6 0.3
(Q.02) この授業はどのような形式でしたか (複数回答可)	A. 教員による講義 76.4 B. 学生による発表 10.5 C. 特定のテーマについての討論 5.0 D. 文献の輪読 4.7 E. その他 0.3 F. 無回答 3.2	70.9 14.8 4.8 7.4 0.5 1.6	69.8 14.8 3.0 7.1 0.3 5.0	75.2 12.6 3.4 6.8 0.5 1.5	83.5 11.8 10.3 8.6 7.0 0.4	73.1 9.1 8.8 4.9 0.3 3.9
(Q.03) この授業の内容についてどれくらい興味を持ってましたか	A. 非常におもしろく興味が持てた 27.0 B. かなりおもしろく興味が持てた 34.6 C. 少しはおもしろく興味が持てた 29.4 D. あまりおもしろくなく興味が持てなかった 6.7 E. まったくおもしろくなく興味が持てなかった 1.2 F. その他 0.6 G. 無回答 0.6	34.4 35.9 26.2 2.6 0.0 1.0 0.0	30.9 33.8 29.2 5.5 0.6 0.0	39.4 33.2 22.6 2.9 0.5 0.5 1.0	33.3 36.0 25.9 3.6 0.8 0.2 0.2	40.3 32.9 24.8 3.7 2.8 0.7 0.0
(Q.04) この授業の内容をどの程度理解できましたか	A. とてもよく理解できた 13.2 B. かなり理解できた 25.3 C. まずまず理解できた 47.4 D. あまり理解できなかった 12.1 E. まったく理解できなかった 1.4 F. その他 0.3 G. 無回答 0.3	20.3 32.3 43.2 4.2 0.0 0.0 0.0	14.3 30.4 48.2 7.0 0.0 0.0 0.0	25.5 28.3 39.6 6.1 0.5 0.0 0.0	13.3 27.1 52.1 6.5 0.8 0.0 0.2	22.7 28.9 41.9 7.1 0.3 0.0 0.0
(Q.05) この授業はあなたの問題発見能力や問題解決能力に役立ちましたか	A. 大いに役立った 24.2 B. ある程度役立った 39.2 C. 少しは役立った 25.4 D. あまり役立たなかった 7.5 E. まったく役立たなかった 2.6 F. その他 0.3 G. 無回答 0.9	33.2 37.3 24.4 5.2 0.0 0.0 0.0	27.7 39.5 24.5 7.5 0.6 0.0 0.3	38.9 37.9 17.5 5.2 0.5 0.0 0.0	28.8 43.6 20.5 5.6 1.3 0.0 0.2	39.6 37.0 20.8 3.2 0.3 0.0 0.3
(Q.06) この授業の配布資料、OHPやPower Point による画像資料、板書などの分量と質は妥当なものでしたか	A. とてもよいものだった 17.8 B. かなりよいものだった 36.2 C. まずまずのものだった 41.1 D. あまりよくなかった 4.1 E. 非常に悪かった 0.3 F. 無回答 0.6	29.1 34.4 34.9 1.6 0.0 0.0	30.8 34.9 31.4 2.4 0.3 0.0	34.0 33.5 31.1 1.5 0.0 0.0	31.5 36.2 29.4 1.5 0.8 0.6	38.3 35.1 22.4 3.9 0.0 0.3
(Q.07) この授業に何回出席しましたか。現在までの回数を書いてください	A. 13回以上 44.9 B. 10回以上13回未満 41.1 C. 7回以上10回未満 8.2 D. 4回以上7回未満 2.9 E. 4回未満 1.7 F. 無回答 1.2	27.5 52.4 15.3 2.1 2.6 0.0	42.9 40.2 11.2 3.3 0.9 1.5	42.2 41.3 11.7 1.9 0.5 2.4	37.0 45.2 10.8 2.7 2.7 1.5	27.9 47.1 16.2 4.5 3.6 0.6
(Q.08) この授業の予習、復習、課題などのためにどれくらいの時間をかけましたか。学期を通じての1週間あたりの平均時間数を30分単位で書いてください	A. 3時間以上 6.1 B. 2時間以上3時間未満 6.4 C. 1時間以上2時間未満 30.3 D. 0.5時間以上1時間未満 33.2 E. 0.5時間未満 21.9 F. 無回答 2.0	4.8 10.1 18.5 37.6 25.4 3.7	8.6 5.9 27.5 34.3 21.6 2.1	6.3 13.6 20.4 32.5 24.8 2.4	5.5 4.9 20.8 34.1 30.7 2.3	5.5 4.9 20.8 34.1 33.4 1.3
(Q.09) シラバスを活用しましたか	A. はい 54.2 B. いいえ、またはどちらともいえない 45.5 C. 無回答 0.3	56.1 43.4 0.5	65.4 34.6 0.0	70.4 29.6 0.0	68.3 31.1 0.6	63.3 36.7 0.0
(Q.10) 「はい」と回答した人は以下から選んでください。(複数回答可)	A. 科目選択・履修登録に活用した 90.9 B. 予習・復習に活用した 7.0 C. 受講にあたり授業中などに活用した 12.9 D. 試験・レポートに活用した 14.5 E. その他 0.0 F. 無回答 0.0	91.5 7.5 6.6 10.4 0.0	97.3 5.4 9.5 14.9 0.0	95.2 11.7 11.7 22.8 0.0	96.9 5.0 9.9 14.9 0.0	89.7 5.1 8.2 15.4 0.0
(Q.11) シラバスの情報は十分なものでしたか(活用の有無にかかわらず答えてください)	A. はい 93.6 B. いいえ 5.5 C. 無回答 0.9	97.3 1.6 1.1	96.2 3.6 0.3	97.6 2.4 0.0	95.6 3.8 0.6	95.9 2.3 0.3
(Q.12) 「はい」と答えた人は以下から選んでください。(複数回答可)	A. 「授業の概要・目的」の情報が不十分 21.1 B. 「授業計画と内容」の情報が不十分 57.9 C. 「履修要件」の情報が不十分 0.0 D. 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分 42.1 E. 「教科書」及び「参考書」の情報が不十分 10.5 F. 「その他」の情報が不十分 0.0 G. その他 5.3 H. 無回答 0.0	0.0 33.3 0.0 66.6 0.0 0.0 0.0	25.0 58.3 0.0 41.7 8.3 8.3 0.0	20.0 40.0 20.0 40.0 40.0 0.0 20.0	16.7 44.4 11.1 44.4 22.2 5.6 5.6	14.3 42.9 14.3 57.1 0.0 0.0 0.0
(Q.13) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください	A. 十分達成(概ね9割以上)できた 13.7 B. ほぼ達成(概ね8割以上)できた 49.6 C. どちらともいえない 28.6 D. やや達成(概ね8割未満)できなかった 4.7 E. 達成(概ね6割未満)できなかった 2.9 F. 無回答 0.6	20.2 49.5 22.9 6.4 0.5 0.5	18.3 51.2 26.6 3.0 0.9 0.0	22.8 51.5 21.8 1.5 0.0 2.4	12.4 55.3 27.6 2.7 1.3 0.6	24.0 50.0 21.8 1.9 1.6 0.6
(Q.14) 上の13で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)	A. 授業の速度が速かったため 11.5 B. 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため 34.6 C. 説明がわかりにくかったため 38.5 D. 特になし 15.4 E. その他 19.2	7.7 46.2 0.0 46.2 7.7	15.4 38.5 23.1 38.5 0.0	33.3 66.6 66.6 33.3 0.0	21.1 36.8 15.8 36.8 10.5	9.1 27.3 18.2 36.4 18.2

【資料 8-2】人間・環境学研究科 授業評価アンケート

	2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	開講年度	2016	2016	2017	2017	2018	2018
	対象科目	47	21	37	513	364	492
	履修者数	738	293	555	1400	1234	1398
	回答者数	51	14	39	64	167	152
	回答率	6.9%	4.8%	7.0%	4.6%	13.5%	10.9%
(Q.01) この授業を履修しようと思ったのはなぜですか (複数回答可)	A. シラバスを読んで興味が湧いた	73.2	42.1		35.5	57.3	49.3
	B. 指導教員の授業だから	10.7	26.3		32.9	18.1	38.8
	C. 卒業要件に必要なだから	7.1	31.6		23.7	15.1	32.9
	D. 教員免許等の資格取得に必要な授業だから	0.0	0.0		6.6	7.0	2.0
	E. その他	8.9	0.0		1.3	1.5	0.0
	F. 無回答	0.0	0.0		0.0	1.0	0.0
(Q.02) この授業はどのような形式 でしたか	A. 教員による講義	64.7	35.7	76.9	40.6	61.7	31.6
	B. 学生による発表	13.7	42.9	20.5	29.7	17.4	36.2
	C. 特定のテーマについての討論	3.9	7.1	0.0	12.5	12.0	19.1
	D. 文献の輪読	3.9	7.1	2.6	6.3	3.6	7.2
	E. その他	2.0	7.1	0.0	1.6	0.6	0.7
	F. 無回答	11.8	0.0	0.0	9.4	4.8	5.3
(Q.03) この授業の内容についてど れくらい興味を持ってましたか	A. 非常におもしろく興味が持てた	62.3	42.9	61.5	53.6	57.7	68.4
	B. かなりおもしろく興味が持てた	22.6	50.0	23.1	29.0	23.8	19.1
	C. 少しはおもしろく興味が持てた	9.4	7.1	10.3	7.2	16.7	9.2
	D. あまりおもしろくなく興味が持てなかった	3.8	0.0	2.6	1.4	0.6	2.6
	E. まったくおもしろくなく興味が持てなかった	1.9	0.0	2.6	2.9	0.6	0.7
	F. その他	0.0	0.0	0.0	4.3	0.6	0.0
	G. 無回答	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
(Q.04) この授業の内容をどの程度 理解できましたか	A. とてもよく理解できた	40.4	28.6	33.3	31.8	41.4	52.9
	B. かなり理解できた	32.7	50.0	38.5	33.3	30.2	19.4
	C. まずまず理解できた	21.2	21.4	25.6	27.3	23.7	23.2
	D. あまり理解できなかった	5.8	0.0	2.6	3.0	3.0	3.9
	E. まったく理解できなかった	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.6
	F. その他	0.0	0.0	0.0	3.0	0.6	0.0
	G. 無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
(Q.05) この授業はあなたの問題発 見能力や問題解決能力に役立ち ましたか	A. 大いに役立った	65.4	73.3	59.0	62.1	60.0	69.7
	B. ある程度役立った	17.3	26.7	33.3	22.7	25.9	18.1
	C. 少しは役立った	5.8	0.0	5.1	10.6	10.6	10.3
	D. あまり役立たなかった	7.7	0.0	2.6	1.5	1.8	1.3
	E. まったく役立たなかった	1.9	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
	F. その他	1.9	0.0	0.0	3.0	0.6	0.0
	G. 無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
(Q.06) この授業の配布資料、OHP やPower Point による画像資料、板 書などの分量と質は妥当なもので したか	A. とてもよいものだった	62.7	50.0	43.6	57.8	50.9	67.8
	B. かなりよいものだった	11.8	42.9	25.6	23.4	28.7	19.1
	C. まずまずのものだった	15.7	0.0	25.6	15.6	17.4	11.8
	D. あまりよくなかった	3.9	0.0	5.1	0.0	1.2	1.3
	E. 非常に悪かった	0.0	0.0	0.0	3.1	10.2	0.0
	F. 無回答	5.9	7.1	0.0	0.0	0.6	0.0
(Q.07) この授業に何回出席しまし たか。現在までの回数を書いてく ださい	A. 13回以上	35.3	21.4	53.8	45.3	46.1	55.9
	B. 10回以上13回未満	31.4	35.7	33.3	35.9	34.7	27.0
	C. 7回以上10回未満	11.8	7.1	2.6	9.4	7.8	3.3
	D. 4回以上7回未満	3.9	21.4	5.1	6.3	1.8	0.7
	E. 4回未満	15.7	14.3	5.1	3.1	4.2	72.0
	F. 無回答	2.0	0.0	0.0	0.0	5.4	5.9
(Q.08) この授業の予習、復習、課 題などのためにどれくらいの時間 をかけたか。学期を通じての1週 間あたりの平均時間を30分単位 で書いてください	A. 3時間以上	19.6	50.0	23.1	32.8	16.8	28.9
	B. 2時間以上3時間未満	9.8	7.1	10.3	9.4	10.2	18.4
	C. 1時間以上2時間未満	49.0	0.0	25.6	34.4	32.3	28.9
	D. 0.5時間以上1時間未満	7.8	35.7	10.3	15.6	26.3	16.4
	E. 0.5時間未満	13.7	7.1	30.8	7.8	10.2	2.0
	F. 無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	5.3
(Q.09) シラバスを活用しましたか	A. はい	76.5	85.7	66.7	68.8	64.7	55.9
	B. いいえ、またはどちらともいえない	23.5	14.3	33.3	31.3	34.7	44.1
	C. 無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
(Q.10) 「はい」と回答した人は以下 から選んでください。 (複数回答可)	A. 科目選択・履修登録に活用した	87.2	91.2	96.2	86.4	88.9	91.8
	B. 予習・復習に活用した	15.4	16.7	30.8	18.2	14.8	16.5
	C. 受講にあたり授業中などに活用した	17.9	8.3	38.5	27.3	15.7	16.5
	D. 試験・レポートに活用した	17.9	25.0	26.9	36.4	15.7	17.6
	E. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(Q.11) シラバスの情報は十分なも のでしたか(活用の有無にかかわ らず答えてください)	A. はい	96.1	92.9	94.9	96.9	95.2	97.4
	B. いいえ	3.9	7.1	2.6	3.1	2.4	2.0
	C. 無回答	0.0	0.0	2.6	0.0	2.4	0.7
(Q.12) 「いいえ」と答えた人は以下 から選んでください。 (複数回答可)	A. 「授業の概要・目的」の情報が不十分	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0
	B. 「授業計画と内容」の情報が不十分	50.0	0.0	100.0	100.0	75.0	33.3
	C. 「履修要件」の情報が不十分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	D. 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	E. 「教科書」及び「参考書」の情報が不十分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	F. 「その他」の情報が不十分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	G. その他	0.0	100.0				
	F. 無回答						33.3
(Q.13) この授業の到達目標に照ら して達成できたかどうか、ご自身 の判断を以下より1つ選択してくだ さい	A. 十分達成(概ね9割以上)できた	37.3	28.6	43.6	28.1	38.9	46.7
	B. ほぼ達成(概ね8割以上)できた	41.2	64.3	46.2	50.0	44.3	38.2
	C. どちらともいえない	9.8	7.1	7.7	17.2	13.2	13.8
	D. やや達成(概ね8割未満)できなかった	9.8	0.0	0.0	3.1	1.2	1.3
	E. 達成(概ね6割未満)できなかった	2.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
	F. 無回答	0.0	0.0	2.6	1.6	1.2	0.0
(Q.14) 上の13で学習の達成度が 「達成できなかった」又は「やや達 成できなかった」の場合は達成でき なかった理由を、以下より選択して ください。 (複数回答可)	A. 授業の速度が速かったため	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	B. 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	C. 説明がわかりにくかったため	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	D. 特になし	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	E. その他	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

【資料 8-3】総合人間学部 在学生・卒業生アンケート 総合人間学部 1 回生

	入学年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
	回答数	124	124	119	121	121
(1) 総合人間学部を選択した理由は何ですか(複数回答可)	1. 勉強したい学問分野が本学部にあったから	50.8	58.9	47.9	40.5	48.8
	2. 入試の難易度が自分の実力に合致していたから	18.5	17.7	24.4	19.0	14.9
	3. かなり幅広く何でも勉強できそうだから	81.5	85.5	76.5	84.3	85.1
	4. 卒業後の就職を考えて	1.6	8.9	4.2	1.7	3.3
	5. 大学院への進学を考えて	8.1	6.5	3.4	2.5	5.0
	6. 高校や予備校の先生に勧められたか	6.5	7.3	5.0	5.0	4.1
	7. 親や親戚など周囲の人に勧められた	3.2	4.8	3.4	2.5	3.3
	8. その他	1.6	5.6	5.9	6.6	5.8
	未記入	0.8	0.8	1.7	0.0	0.0
(2) 受験に際して、総合人間学部の教育内容について十分な情報を得ることができましたか	1. 十分情報を得ることができた	24.2	37.6	25.2	37.2	31.7
	2. 少しは情報を得ることができた	59.7	52.0	59.7	47.9	53.3
	3. あまり情報を得ることができなかった	15.3	10.4	14.3	14.9	15.0
	未記入	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 総合人間学部の「オープン・キャンパス」について知っていますか	1. 参加した	30.6	37.6	33.6	38.8	35.8
	2. 参加しなかったが、知っていた	36.3	31.2	37.0	35.5	40.0
	3. 知らなかった	27.4	24.8	28.6	25.6	24.2
	未記入	5.6	6.4	0.8	0.0	0.0
	計	99.9	100.0	100.0	99.9	100.0
(4) 貴方自身についてお尋ねします。						
① 総合人間学部を受験したのは、現役でしたか？ 浪人でしたか	1. 現役	62.1	50.4	56.3	51.2	66.7
	2. 浪人	31.5	42.4	37.8	41.3	30.0
	未記入	6.5	7.2	5.9	7.4	3.3
	計	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0
総合人間学部受験は、何回目ですか (いわゆる浪人の方)	1. 1 回目	61.5	59.3	64.4	62.0	62.0
	2. 2 回目	35.9	35.2	33.3	38.0	38.0
	3. 3 回目以上	6.5	0.0	2.2	0.0	0.0
	未記入	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0
	計	100.1	100.0	99.9	100.0	100.0
② 総合人間学部を受験したのは、文系ですか理系ですか	1. 文系	49.2	52.8	51.3	45.5	45.5
	2. 理系	45.2	40.8	42.9	45.5	45.5
	3. 特色入試				0.8	0.8
	4. 国費留学生				1.7	1.7
	未記入	5.6	6.4	5.9	6.6	6.6
	計	100.0	100.0	100.1	99.9	99.9
③ 総合人間学部を受験することを決めたのはいつですか	1. 高校 2 年生までに決めた	34.7	28.0	23.2	37.2	28.3
	2. 高校 3 年生の秋までに決めた	39.5	34.4	42.0	26.4	46.7
	3. 大学入試センター試験の後に決めた	12.1	8.8	15.2	11.6	9.2
	4. その他	8.1	21.6	18.8	17.4	13.3
	未記入	5.6	7.2	0.9	7.4	2.5
	計	100.0	100.0	100.1	100.0	100.0
(5) 現在の気持ちに近いものに、いくつか○をつけてください (複数回答)	1. 思い切り勉強したい	59.7	64.8	55.5	61.2	60.8
	2. 思い切りのんびり楽しみたい	58.9	60.8	58.0	54.5	56.7
	3. サークル活動を始めたい	54.0	43.2	43.7	40.5	56.7
	4. 新しい友人をつくりたい	57.3	57.6	55.5	56.2	67.5
	5. 先生と話したい	29.8	26.4	26.9	19.8	30.0
	6. アルバイトに精を出したい	21.8	20.0	19.3	20.7	22.5
	7. その他	4.0	9.6	5.9	1.7	5.0
	未記入	5.6	4.8	5.9	5.8	0.0
(6) 現在、所属してみたいと思っている学系 (複数回答)	文系回答数			61	55	60
	1. 人間科学系(文系)			29.5	36.4	41.7
	2. 認知情報学系(文系)			23.0	20.0	38.3
	3. 国際文明学系(文系)			23.0	29.1	23.3
	4. 文化環境学系(文系)			6.6	20.0	26.7
	5. 自然科学系(文系)			4.9	29.1	20.0
	6. まったく未定(文系)			21.3	21.8	16.7
	未記入(文系)			3.3	0.0	1.7
	理系回答数			51	55	53
	1. 人間科学系(理系)			13.7	27.3	26.4
	2. 認知情報学系(理系)			39.2	47.3	58.5
	3. 国際文明学系(理系)			13.7	12.7	11.3
	4. 文化環境学系(理系)			5.9	12.7	15.1
5. 自然科学系(理系)			19.6	36.4	26.4	
6. まったく未定(理系)			21.6	23.6	9.4	
未記入(理系)			0.0	0.0	0.0	

総合人間学部 2 回生

	進学年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
	回答数	121	125	119	112	112
(1) 単位の取得状況 はどうですか	1. ほぼ順調に取得している	68.6	74.4	67.5	72.3	78.3
	2. あまり取得できなかった	28.1	24.0	30.0	25.9	20.8
	3. それ以外	2.5	1.6	1.7	1.8	0.8
	未記入	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9
(2) 授業を含めて週 に何時間ぐらい大学 で勉強していますか	1. 20 時間未満	31.4	30.4	30.8	30.4	23.3
	2. 20～30 時間未満	40.5	39.2	39.2	36.6	45.0
	3. 30～40 時間未満	23.1	24.8	25.8	26.8	23.3
	4. 40～50 時間未満	1.7	4.8	2.5	3.6	5.0
	5. 50 時間以上	2.5	0.8	1.7	1.8	3.3
	未記入	0.8	0.0	0.0	0.9	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.1	99.9	
(3) 自宅等学外で週 に何時間ぐらい勉強 していますか	1. 5 時間未満	71.1	67.2	51.7	60.7	59.2
	2. 5～10 時間未満	22.3	28.0	37.5	26.8	29.2
	3. 10～15 時間未満	2.5	3.2	5.8	7.1	7.5
	4. 15～20 時間未満	2.5	0.8	4.2	1.8	1.7
	5. 20 時間以上	0.8	0.8	0.8	3.6	2.5
	未記入	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	
(4) 授業についてど う思いますか	1. 有益な授業が多い	28.1	36.8	36.7	39.3	50.8
	2. 有益な授業も少しはある	66.9	59.2	59.2	57.1	46.7
	3. 有益な授業はほとんどない	4.1	4.0	2.5	3.6	2.5
	未記入	0.8	0.0	1.7	0.0	0.0
	計	99.9	100.0	100.1	100.0	100.0
(5) 授業のカリキュ ラムについて、どう 思いますか	1. ほぼ今のままでよい	62.0	62.4	71.7	61.9	71.7
	2. もっと学系ごとに履修すべき科目を	34.7	29.6	25.0	32.7	25.0
	3. その他	1.7	3.2	3.3	5.3	3.3
	未記入	1.7	4.8	0.0	0.0	0.0
	計	100.1	100.0	100.0	99.9	100.0
(6) 自分の教員アド バイザーを訪れたこ とはありますか	1. ある	28.9	28.8	20.9	21.8	14.2
	2. ない	62.0	66.4	73.0	72.7	73.3
	3. 誰がアドバイザーか知らない	7.4	0.0	6.1	5.5	12.5
	未記入	1.7	4.8	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(7) 卒業論文／卒業 研究指導教員を決定 する時期について、 いつにすべきだと思 いますか	1. 4 回生になったとき	10.7	10.3	13.9	15.5	14.8
	2. 3 回生の後期開始時点	52.9	47.6	52.2	43.6	47.5
	3. 3 回生になったとき	30.6	31.0	30.4	37.3	32.0
	4. もっと早い時期	2.5	3.2	1.7	2.7	3.3
	5. その他	1.7	2.4	0.0	0.0	1.6
	未記入	1.7	5.6	1.7	0.9	0.8
計	100.1	100.1	99.9	100.0	100.0	
(8) 文系、理系、どち らで入学し、現在ど の学系に所属してい ますか	文系回答数			64	57	67
	1. 人間科学系(文系)			43.8	26.3	29.9
	2. 認知情報学系(文系)			12.5	31.6	17.9
	3. 国際文明学系(文系)			23.4	22.8	26.9
	4. 文化環境学系(文系)			12.5	17.5	14.9
	5. 自然科学系(文系)			6.3	1.8	7.5
	6. 未記入(文系)			1.6	0.0	1.5
	理系回答数			51	53	53
	1. 人間科学系(理系)			35.3	17.0	11.3
	2. 認知情報学系(理系)			39.2	45.3	50.9
	3. 国際文明学系(理系)			11.8	13.2	5.7
	4. 文化環境学系(理系)			2.0	7.5	11.3
	5. 自然科学系(理系)			11.8	13.2	17.0
6. 未記入(理系)			0.0	3.8	1.9	
(9) 分属の時期につ いていつにすべきだ と思いますか	1. 今のまま			87.0	70.0	74.2
	2. もっと早く			3.5	2.7	0.0
	3. もっと遅く			9.6	27.3	25.8
	未記入			0.0	0.0	0.0
	計			100.1	100.0	100.0

総合人間学部 3 回生

	進学年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
	回答数	122	122	122	119	119
(1) 単位の取得状況はどうですか	1. 卒業論文／卒業研究を除いて、今年度でほぼ必要単位を取得できる見込	61.5	47.5	69.2	64.7	63.1
	2. あと2年かければ必要単位を取得できる見込み	32.8	46.7	27.5	31.1	31.5
	3. あと2年では必要単位を取得するのは困難	4.9	4.9	2.5	4.2	3.6
	4. それ以外	0.8	0.0	0.8	0.0	1.8
	未記入	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0
(2) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強していますか	1. 20 時間未満	37.7	43.4	42.5	40.3	34.2
	2. 20～30 時間未満	41.0	37.7	39.2	39.5	46.8
	3. 30～40 時間未満	15.6	14.8	10.8	14.3	17.1
	4. 40～50 時間未満	4.1	4.1	4.2	4.2	1.8
	5. 50 時間以上	1.6	0.0	3.3	1.7	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	
(3) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強していますか	1. 5 時間未満	56.6	72.1	57.5	46.2	52.3
	2. 5～10 時間未満	35.2	21.3	30.0	37.0	33.3
	3. 10～15 時間未満	1.6	4.1	9.2	7.6	9.9
	4. 15～20 時間未満	3.3	0.8	1.7	4.2	3.6
	5. 20 時間以上	3.3	1.6	1.7	5.0	0.9
	計	100.0	99.9	100.1	100.0	100.0
(4) 授業についてどう思いますか	1. 有益な授業が多い	39.3	32.8	41.7	35.3	45.0
	2. 有益な授業も少しはある	59.0	63.1	56.7	58.8	54.1
	3. 有益な授業はほとんどない	1.6	4.1	1.7	5.0	0.9
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	計	99.9	100.0	100.1	99.9	100.0
(5) 自分の教員アドバイザーを訪れたことはありますか	1. ある	62.3	50.8	48.2	44.8	51.8
	2. ない	31.1	41.0	50.0	53.4	46.4
	3. 誰がアドバイザーか知らない	0.8	3.3	1.8	0.9	1.8
	未記入	5.7	4.9	0.0	0.9	0.0
	計	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0
(6) 卒業論文／卒業研究指導教員を決定する時期について、いつにすべきだと思いますか	1. 4 回生になったとき	18.9	21.1	16.4	23.3	30.0
	2. 3 回生の後期開始時点	54.9	52.8	62.7	56.9	48.2
	3. 3 回生になったとき	18.9	16.3	17.3	14.7	17.3
	4. もっと早い時期	0.0	4.1	0.9	0.9	3.6
	5. その他	1.6	0.8	2.7	1.7	0.9
	未記入	5.7	4.9	0.0	2.6	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.1	100.0	
(7) 授業のカリキュラムについて、どう思いますか	1. ほぼ今のままでよい	59.0	60.7	68.2	62.9	63.6
	2. もっと学系ごとに履修すべき科目を提示してほしい	32.0	32.0	24.5	27.6	30.0
	3. その他	1.6	2.5	7.3	8.6	5.5
	未記入	7.4	4.9	0.0	0.9	0.9
	計	100.0	100.1	100.0	100.0	100.0

総合人間学部 4 回生

	進学年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
	回答数	160	154	154	146	146
(1) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強していますか	1. 20 時間未満 2. 20～30 時間未満 3. 30～40 時間未満 4. 40～50 時間未満 5. 50 時間以上 未記入	57.5 21.9 11.9 5.0 3.8 0.0	53.9 29.9 9.7 4.5 1.3 0.7	63.2 24.3 6.6 1.3 3.9 0.7	60.3 26.7 10.3 2.1 0.7 0.0	54.6 30.0 11.5 2.3 1.5 0.0
	計	100.1	100.0	100.0	99.9	99.9
(2) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強していますか	1. 5 時間未満 2. 5～10 時間未満 3. 10～15 時間未満 4. 15～20 時間未満 5. 20 時間以上 未記入	38.1 29.4 10.0 8.1 14.4 0.0	40.3 32.5 9.7 8.4 9.1 0.0	52.6 28.9 7.2 5.9 4.6 0.7	47.3 29.5 11.0 5.5 6.8 0.0	40.0 35.4 10.8 6.2 7.7 0.0
	計	100.0	100.0	99.9	100.1	100.1
(3) 卒業論文/卒業研究の指導教員は決まっていますか	1. 決まっている 2. まだ決まっていない 3. 今年度は卒業論文/卒業研究に入ら 4. それ以外 (具体的に) 未記入	77.5 20.0 1.9 0.0 0.6	89.0 7.1 2.6 1.3 0.0	86.2 9.9 3.3 0.7 0.0	87.0 8.2 2.7 2.1 0.0	93.1 4.6 1.5 0.8 0.0
	計	100.0	100.0	100.1	100.0	100.0
(4) 卒業論文/卒業研究のテーマ (方向性) は決まっていますか	1. ほぼ決まっている 2. 決まりつつある 3. まだ決まっていない 4. その他 (具体的に) 未記入	22.5 39.4 36.9 0.6 0.6	33.1 33.1 33.1 0.6 0.0	26.3 36.8 36.2 0.0 0.7	27.4 39.7 31.5 0.7 0.7	32.3 46.2 21.5 0.0 0.0
	計	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0
(5) 単位の取得状況はどうか	1. 卒業論文/卒業研究を除いて、ほぼ必 2. 今年度ですべての必要単位を取得 3. 今年度では、必要単位を全部取得す 4. それ以外 (具体的に) 未記入	48.1 44.4 6.9 0.6 0.0	55.2 35.7 8.4 0.6 0.0	39.9 51.6 7.2 1.3 0.0	49.3 44.5 4.8 1.4 0.0	49.3 44.5 4.8 1.4 0.0
	計	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0
(6) 就職活動はどうか (単位:人)	1. すでに内定の感触をつかんだ 1a すでに内定の感触をつかんだが、 さらに就職活動を続けている 2. 現在、就職活動を続けている 3. 就職活動をしようにも手がかりが 4. 就職をする意思はない 4a. 意思はなく、大学院進学を希望 未記入	10 6 76 9 59 49 6	13 5 69 13 61 45 1	22 8 72 11 47 32 4	21 6 59 15 51 34 4	24 1 46 6 48 41 4
(7) 大学院進学の準備はどうか (複数回答可) (単位:人)	1. 人間・環境学研究科を受験予定 2. 京都大学の人環以外の研究科を受験 3. 他大学の研究科を受験予定 4. 大学院進学の希望はない 4a. 大学院進学の希望はなく、就職活 動は行っている 未記入	36 27 15 89 31 13	33 18 20 78 18 19	28 17 7 89 36 3	38 18 13 84 28 4	33 12 7 74 36 9
(8) 就職活動や大学院進学について相談できる教員や事務職員はいますか	1. いる 2. いない 3. 不必要 4. その他 未記入	55.0 35.0 5.0 0.6 4.4	55.2 31.2 8.4 0.6 4.5	51.7 39.2 8.4 0.0 0.7	53.4 37.7 7.5 0.7 0.7	59.4 32.0 8.6 0.0 0.0
	計	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0

総合人間学部 卒業生

	卒業年度	2014	2015	2016	2017	2018
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)
回答数		94	119	113	102	102
(1) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強しましたか	1. 20 時間未満	38.3	42.0	37.2	49.0	46.6
	2. 20～30 時間未満	37.2	30.3	38.9	29.4	25.4
	3. 30～40 時間未満	17.0	16.0	18.6	16.7	14.4
	4. 40～50 時間未満	4.3	4.2	2.7	1.0	6.8
	5. 50 時間以上	2.1	6.7	1.8	2.9	5.9
	未記入	1.1	0.8	0.9	1.0	0.8
計		100.0	100.0	100.1	100.0	99.9
(2) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強しましたか	1. 5 時間未満	44.7	37.0	51.3	50.0	42.4
	2. 5～10 時間未満	33.0	34.5	29.2	27.5	31.4
	3. 10～15 時間未満	11.7	11.8	10.6	14.7	11.0
	4. 15～20 時間未満	3.2	4.2	0.9	2.9	5.9
	5. 20 時間以上	6.4	11.8	7.1	3.9	8.5
	未記入	1.1	0.8	0.9	1.0	0.8
計		100.1	100.1	100.0	100.0	100.0
(3) 授業から得るものは大きかったですか	1. 大きかった	40.4	33.6	44.2	41.2	44.9
	2. 大きいとは言えないが、得るものがあった	40.4	41.2	38.1	39.2	35.6
	3. ある程度は得るものがあった	18.1	21.8	14.2	15.7	15.3
	4. 得るものはあまりなかった	0.0	3.4	3.5	3.9	4.2
	未記入	1.1	0.0		0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4) 卒業論文／卒業研究から得るものは大きかったですか	1. 大きかった	68.1	68.1	69.9	59.8	58.8
	2. 大きいとは言えないが、得るものがあった	25.5	23.5	23.9	27.5	31.1
	3. ある程度は得るものがあった	6.4	5.9	4.4	8.8	9.2
	4. 得るものはあまりなかった	0.0	0.0	1.8	3.9	0.8
	未記入	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5) 振り返ってみて、卒業論文／卒業研究の指導教員を決定する時期についていつにすべきだと思いますか	1. 4 回生になったとき			21.2	19.6	21.2
	2. 3 回生の後期開始時点			44.2	42.2	41.5
	3. 3 回生になったとき			30.1	28.4	25.4
	4. もっと早い時期			1.8	6.9	5.9
	5. その他			1.8	1.0	5.1
	未記入			0.9	2.0	0.8
計				100.0	100.1	99.9
(6) 副専攻から得るものは大きかったですか	1. 大きかった	26.6	29.4	24.3	32.0	32.2
	2. 大きいとは言えないが、得るものがあった	31.9	30.3	41.4	31.1	41.5
	3. ある程度は得るものがあった	24.5	29.4	23.4	27.2	18.6
	4. 得るものはあまりなかった	8.5	8.4	10.8	9.7	7.6
	5. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未記入	8.5	2.5	0.0		
計		100.0	100.0	99.9	100.0	100.0
(12) 総合人間学部の教育について、どう思いますか	1. ほぼ現状のままでよい	43.6	50.4	54.1	48.0	57.6
	2. 改善すべき点が残されている	42.6	36.1	32.4	43.1	35.6
	3. 本格的に改善すべきである	5.3	8.4	11.7	2.9	5.1
	未記入	8.5	5.0	1.8	5.9	1.7
	計	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0
(13) 学生生活全般についてあなたの満足度は、どの程度ですか？	1. 満足している				44.1	56.8
	2. ある程度満足している				38.2	28.8
	3. あまり満足していない				5.9	5.9
	4. 不満である				2.0	0.0
	未記入				9.8	8.5
計					100.0	100.0

	卒業年度	2017 (H29)	2018 (H30)
	回答数	112	112
(7-1) 幅広い知識と教養	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 未記入	18.6 54.9 22.5 2.9 1.0	20.3 67.8 9.3 1.7 0.8
	計	99.9	99.9
(7-2) プレゼンテーション 能力やコミュニケーション能力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 未記入	13.7 43.1 36.3 5.9 1.0	15.3 49.2 29.7 5.1 0.8
	計	100.0	100.1
(7-3) リーダーシップ	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 未記入	7.8 26.5 49.0 15.7 1.0	10.2 31.4 38.1 18.6 1.7
	計	100.0	100.0
(7-4) 専門的分野の知識と 理解力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 未記入	17.6 56.9 18.6 2.0 4.9	22.9 60.2 15.3 1.7 0.0
	計	100.0	100.1
(7-5) 多角的な視点や柔軟 な発想力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 未記入	27.5 52.0 13.7 2.0 4.9	33.1 55.9 9.3 1.7 0.0
	計	100.1	100.0
設問(12) 全学共通の学習を振り返って入学当初と比べ、 どの程度向上した又は得られたと思いますか？			
(12-1) 専門以外の幅広い知 識・教養	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 未記入	16.7 57.8 14.7 2.0 8.8	21.2 66.1 11.0 1.7 0.0
	計	100.0	100.0
(12-2) 専門分野で基礎とな る学力	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 未記入	24.5 47.1 16.7 2.9 8.8	23.7 57.6 16.1 2.5 0.0
	計	100.0	100.0
(12-3) 英語の能力（英語以 外の言語を第1外国 語とした方は、その 言語	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 未記入	8.8 21.6 43.1 17.6 8.8	8.5 37.3 35.6 18.6 0.0
	計	100.0	100.0
(12-4) 初修外国語の能力	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 5. 初修外国語は修得しなかった 未記入	6.9 30.4 41.2 11.8 1.0 8.8	12.8 40.2 34.2 11.1 1.7 0.0
	計	100.0	100.0
(12-5) 将来の研究分野や進 路を決める手がかり	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 未記入	17.6 52.9 19.6 1.0 8.8	18.6 56.8 16.1 8.5 0.0
	計	100.0	100.0

【資料 8-4】人間・環境学研究所 修士課程 M2 学生アンケート

	進学年度 回答数	2015	2016	2017	2018	2019
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R01)
【1】所属する専攻を選んでください	1. 共生人間学専攻	45.3	50.0	34.5	42.0	42.0
	2. 共生文明学専攻	22.7	30.3	29.1	28.0	28.0
	3. 相関環境学専攻	32.0	19.7	36.4	30.0	30.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
【2】修士課程での専門分野を選んでください	1. 文科系	57.3	63.2	56.4	52.0	52.0
	2. 理科系	36.0	26.3	40.0	38.0	38.0
	3. 領域横断的	6.7	10.5	3.6	10.0	10.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
【3】希望している進路を選んでください。	1. 人間・環境学研究所博士課程に進学	37.3	31.6	30.9	38.3	38.3
	2. 他研究科、他大学大学院などに進学	5.3	2.6	5.5	2.1	2.1
	3. 就職	54.7	61.8	63.6	53.2	53.2
	4. その他()	1.3	3.9	0.0	6.4	6.4
	未回答	1.3				
計	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0	
【4】本研究科のホームページおよび『学生便覧』(p.1)に書かれている本研究科の教育理念・各専攻の教育理念をいつ知りましたか	1. 入学以前	36.0	35.5	38.2	34.0	34.0
	2. 入学後のガイダンス	40.0	32.9	21.8	36.0	36.0
	3. 修士1年生の間	4.0	2.6	9.1	8.0	8.0
	4. 今まで知らなかった	20.0	27.6	30.9	22.0	22.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
【5】本研究科の教育体制は理念に沿うものだと思いますか	1. おおいにそう思う	10.7	10.5	10.9	4.1	4.1
	2. そう思う	54.7	53.9	36.4	71.4	71.4
	3. どちらともいえない	25.3	32.9	43.6	24.5	24.5
	4. そうは思わない	6.7	1.3	1.8	0.0	0.0
	5. まったくそうは思わない	1.3	1.3	7.3	0.0	0.0
	未回答	1.3				
計	100.0	99.9	99.9	100.0	100.0	
【6】週に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事していますか	1. 20時間未満	21.3	28.9	20.0	16.3	16.3
	2. 20～30時間未満	22.7	27.6	23.6	14.3	14.3
	3. 30～40時間未満	9.3	15.8	7.3	14.3	14.3
	4. 40～50時間未満	24.0	10.5	14.5	18.4	18.4
	5. 50～60時間未満	16.0	10.5	14.5	16.3	16.3
	6. 60時間以上	6.7	6.6	20.0	20.4	20.4
	計	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0
【7】週に自宅等学外で何時間ぐらい学業に時間を使っていますか	1. 5時間未満	24.3	26.3	36.4	28.6	28.6
	2. 5～10時間未満	33.3	35.5	18.2	38.8	38.8
	3. 10～15時間未満	14.7	18.4	16.4	12.2	12.2
	4. 15～20時間未満	8.0	7.9	5.5	4.1	4.1
	5. 20時間以上	20.0	11.8	23.6	16.3	16.3
	計	100.0	99.9	100.1	100.0	100.0
【8】大学院での学業に意欲的に取り組んでいると思いますか	1. おおいに取り組んでいる	26.7	26.3	25.5	36.0	36.0
	2. まずまず取り組んでいる	50.7	52.6	47.3	54.0	54.0
	3. どちらとも言えない	10.7	15.8	23.6	6.0	6.0
	4. 十分意欲的に取り組んでいるとは言えない	6.7	3.9	3.6	4.0	4.0
	5. 意欲的に取り組んでいない	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	未回答	5.3				
計	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	
【9】大学院での授業科目の単位をどの程度取得できていると思いますか	1. おおいに取得できている	52.0	51.3	54.5	60.0	60.0
	2. まずまず取得できている	36.0	39.5	36.4	38.0	38.0
	3. どちらとも言えない	6.7	5.3	7.3	2.0	2.0
	4. あまり取得できているとは言えない	2.7	3.9	1.8	0.0	0.0
	5. まったく取得できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未回答	2.7				
計	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	
【10】修士課程に入学した時、本研究科でどのような研究能力・知識を身に付けることを学業の目標にしましたか(複数回答可)	1. 実験を適切に計画して遂行する能力	24.0	30.3	36.4	26.0	26.0
	2. データを分析する能力	32.0	40.8	32.7	50.0	50.0
	3. 研究課題を発見する能力	46.7	63.2	61.8	48.0	48.0
	4. 文献(外国語を含む)を読む能力	53.3	56.6	58.2	40.0	40.0
	5. 論理的に思考して推論する能力	66.7	64.5	61.8	68.0	68.0
	6. 専門分野に関する幅広い知識	64.0	67.1	65.5	68.0	68.0
	7. 学術論文を書く能力	48.0	48.7	43.6	46.0	46.0
	8. 学会などで研究発表する能力	37.3	32.9	30.9	38.0	38.0
	9. 人間関係を築く能力	17.3	18.4	20.0	14.0	14.0
	10. その他	2.7	2.6	0.0	0.0	0.0

	入学年度	H27	H28	H29	H30	R01
	回答数	75	76	76	50	50
【11】修士課程の1年目を終えた段階で、入学当初目標としていた学業の成果はあがっていると思いますか	1. おおいにあがっている	6.7	5.3	12.7	6.0	6.0
	2. まあまああがっている	53.3	55.3	43.6	58.0	58.0
	3. どちらともいえない	28.0	26.3	27.3	32.0	32.0
	4. あまりあがっていない	9.3	11.8	16.4	4.0	4.0
	5. まったくあがっていない	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	未回答	2.7				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
【12】修士課程の2年目であなたが学業の上で目標とすることをあげてください (複数回答可)	1. 実験を適切に計画して遂行する能力	24.0	21.1	25.5	26.0	26.0
	2. データを分析する能力	29.3	31.6	27.3	34.0	34.0
	3. 研究課題を発見する能力	49.3	40.8	40.0	34.0	34.0
	4. 文献(外国語を含む)を読む能力	48.0	39.5	43.6	36.0	36.0
	5. 論理的に思考して推論する能力	60.0	57.9	49.1	60.0	60.0
	6. 専門分野に関する幅広い知識	52.0	51.3	45.5	50.0	50.0
	7. 学術論文を書く能力	64.0	68.4	63.6	76.0	76.0
	8. 学会などで研究発表する能力	41.3	38.2	45.5	44.0	44.0
	9. 人間関係を築く能力	12.0	23.7	14.5	14.0	14.0
	10. その他	0.0	2.6	5.5	0.0	0.0
【13】修士課程の講義・演習などのカリキュラムと内容、研究指導などの教育は、研究能力の向上に役立つようにできていると思いますか	1. おおいにそう思う	8.0	23.7	23.6	18.0	18.0
	2. そう思う	49.3	61.8	45.5	64.0	64.0
	3. どちらともいえない	30.7	9.2	21.8	14.0	14.0
	4. そうは思わない	9.3	5.3	9.1	2.0	2.0
	5. まったくそうは思わない	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0
	未回答	2.7				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
【14】教室・演習室・実験室などの設備や数、院生室の設備や机の数、図書室の蔵書や利用条件などにどの程度満足していますか	1. おおいに満足している	10.7	23.7	25.5	26.5	26.5
	2. おおむね満足している	58.7	44.7	30.9	42.9	42.9
	3. どちらともいえない	9.3	10.5	21.8	16.3	16.3
	4. やや不満を感じている	14.7	18.4	16.4	10.2	10.2
	5. おおいに不満を感じている	4.0	2.6	5.5	4.1	4.1
	未回答	2.7				
	計	100.1	99.9	100.1	100.0	100.0
【15】副指導教育、アドバイザーについておたずねします						
15-1) 副指導教員に何か相談したいと思ったことがありますか	1. ある	14.7	31.6	21.8	24.0	24.0
	2. ない	81.3	68.4	78.2	76.0	76.0
	未回答	4.0				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15-2) (1)で「ある」と回答した人におたずねします。 今までに副指導教員に相談したことはありますか	1. 何度もある	45.5	33.3	18.8	41.7	41.7
	2. 1度ある	9.1	33.3	25.0	16.7	16.7
	3. まだない	45.5	29.2	50.0	33.3	33.3
	4. 副指導教員が誰か知らない	0.0	4.2	6.3	8.3	8.3
	未回答					
	計	100.1	100.0	100.1	100.0	100.0
15-3) (1)で「ある」と回答した人におたずねします。 今までに副指導教員に相談したことはありますか	1. ある	17.3	27.6	21.8	22.4	22.4
	2. ない	74.7	72.4	78.2	77.6	77.6
	未回答	8.0				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15-4) (3)で「ある」と回答した人におたずねします。 今までにアドバイザーに相談したことはありますか	1. 何度もある	15.4	23.7	16.7	45.5	45.5
	2. 1度ある	30.8	38.2	25.0	18.2	18.2
	3. まだない	53.8	38.2	58.3	27.3	27.3
	4. アドバイザーが誰か知らない	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
	未回答					
	計	100.0	100.1	100.0	100.1	100.1
15-5) 副指導教員、アドバイザーを置く制度が学生にとって役立つと思いますか	1. おおいにそう思う	17.3	10.5	18.2	18.0	18.0
	2. そう思う	42.7	46.1	38.2	38.0	38.0
	3. どちらともいえない	26.7	32.9	29.1	28.0	28.0
	4. そうは思わない	9.3	9.2	12.7	12.0	12.0
	5. まったくそうは思わない	0.0	1.3	1.8	4.0	4.0
	未回答	4.0				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【資料 8-5】人間・環境学研究科 修士課程修了時アンケート

		修了年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
		回答数	115	100	130	125	122
【1】専攻を選んでください	1. 共生人間学専攻		55.7	47.0	36.2	33.8	49.2
	2. 共生文明学専攻		18.3	21.0	30.8	33.8	21.3
	3. 相関環境学専攻		26.1	32.0	33.1	32.3	29.5
	計		100.1	100.0	100.1	99.9	100.0
【2】進路を選んでください	1. 人間・環境学研究科博士後期課程へ進学		38.3	29.0	22.3	28.7	35.2
	2. 他研究科、他大学大学院等への進学		0.9	2.0	3.8	0.8	3.3
	3. 就職		56.5	65.0	66.2	64.3	56.6
	4. その他		4.3	4.0	7.7	6.2	4.9
	未回答						
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
【3】研究科の教育理念・各専攻の教育理念を何時知りましたか。	1. 入学以前		40.0	22.0	43.8	44.2	49.2
	2. 入学後のガイダンス		35.7	41.0	39.2	31.0	33.6
	3. 修士1年生の間		3.5	5.0	7.7	3.9	3.3
	4. 修士2年生の間		2.6	1.0	0.0	0.0	0.0
	5. 修了まで知らなかった		18.3	31.0	9.2	20.9	13.9
計		100.1	100.0	99.9	100.0	100.0	
【4】研究科の理念に沿った教育体制であったと思いますか	1. おおいにそう思う		11.3	8.0	16.9	10.8	13.9
	2. そう思う		52.2	43.0	56.2	53.8	57.4
	3. どちらともいえない		33.0	45.0	23.1	30.0	23.8
	4. そうは思わない		2.6	2.0	2.3	2.3	4.9
	5. まったくそうは思わない		0.9	2.0	1.5	3.1	0.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
【5】週毎に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事しましたか。	1. 20 時間未満		13.0	9.0	9.2	6.9	12.3
	2. 20～30 時間		24.3	21.0	20.8	24.6	17.2
	3. 30～40 時間		25.2	23.0	26.2	12.3	23.8
	4. 40～50 時間		20.0	17.0	20.0	30.0	21.3
	5. 50～60 時間		9.6	16.0	10.8	10.0	15.6
	6. 60 時間以上		7.8	14.0	13.1	16.2	9.8
未回答							
計		99.9	100.0	100.1	100.0	100.0	
【6】週毎に自宅等学外では何時間ぐらい学業・研究に時間を使いましたか。	1. 5 時間未満		21.9	32.0	30.0	30.0	28.7
	2. 5～10 時間未満		28.9	30.0	26.2	32.3	23.0
	3. 10～15 時間未満		21.1	17.0	26.9	20.0	20.5
	4. 15～20 時間未満		7.9	7.0	3.8	4.6	10.7
	5. 20 時間以上		20.2	14.0	13.1	13.1	17.2
未回答							
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	
【7】講義・演習等の配分は適切だと思いますか。	1. 適切		33.9	32.0	33.1	24.6	31.1
	2. 概ね適切		51.3	46.0	59.2	55.4	50.0
	3. どちらともいえない		12.2	18.0	5.4	17.7	14.8
	4. やや不適切		1.7	2.0	0.8	2.3	0.8
	5. 不適切		0.9	2.0	1.5	0.0	3.3
未回答							
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
【8】大学院の学業・研究に意欲的に取り組んだと思いますか	1. 取り組んだ		42.6	50.0	40.0	43.8	54.9
	2. 概ね取り組んだ		48.7	37.0	49.2	45.4	41.0
	3. どちらともいえない		4.3	7.0	7.7	4.6	0.8
	4. 十分意欲的に取り組んだとは言えない		4.3	6.0	3.1	6.2	3.3
	5. 意欲的に取り組まなかった		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未回答							
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

	修了年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
	回答数	115	100	130	125	122
【9】修士課程で予定していた学業の成果が上がりましたか	1. おおいに上がった	27.0	22.0	20.0	22.3	22.1
	2. まあまあ上がった	58.3	53.0	53.8	56.2	55.7
	3. どちらともいえない	8.7	18.0	19.2	13.1	13.1
	4. あまりあがらなかった	0.9	6.0	6.9	7.7	8.2
	5. まったくあがらなかった	5.2	1.0	0.0	0.8	0.8
	未回答					
	計	100.1	100.0	99.9	100.0	99.9
【10】修士課程での学業・研究を通じて、幅広い知識を習得したと思いますか。	1. 修得した				30.0	27.0
	2. 概ね修得した				43.1	54.1
	3. どちらともいえない				25.4	14.8
	4. あまり修得しなかった				1.5	4.1
	未回答					
					100.0	100.0
【11】修士課程での学業・研究を通じて、高度な研究能力を修得したと思いますか。	1. 修得した				19.2	13.9
	2. 概ね修得した				54.6	59.0
	3. どちらともいえない				22.3	23.8
	4. あまり修得しなかった				3.8	3.3
	未回答					
					99.9	100.0
【12】修士課程はあなたにとって有意義でしたか	1. 有意義だった	60.9	70.0	60.0	54.6	60.7
	2. 概ね有意義だった	33.0	24.0	33.8	36.9	34.4
	3. どちらともいえない	4.3	3.0	3.8	5.4	4.9
	4. 必ずしも有意義ではなかった	1.7	2.0	2.3	3.1	0.0
	5. 有意義ではなかった	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	未回答					
	計	99.9	100.0	99.9	100.0	100.0
【13】修士課程での学業・経験は進学先または就職先で役立つと思いますか	1. 役立つと思う	61.4	56.0	53.1	56.2	59.8
	2. どちらかという役立つと思う	27.2	25.0	30.8	30.8	23.8
	3. わからない	8.8	17.0	10.8	10.0	13.1
	4. あまり役立たないと思う	1.8	1.0	3.1	2.3	2.5
	5. まったく役立たないと思う	0.9	1.0	2.3	0.8	0.8
	未回答					
	計	100.0	100.0	100.1	100.1	100.0
【14】修士課程のカリキュラム・教育は、実力を身につける上で、上手く組まれていましたか	1. 組まれていた	20.9	19.0	20.8	16.2	15.6
	2. 概ね組まれていた	43.5	46.0	43.8	40.0	44.3
	3. どちらともいえない	28.7	24.0	23.8	31.5	27.9
	4. 必ずしも組まれていなかった	5.2	8.0	8.5	9.2	9.0
	5. 組まれていなかった	1.7	3.0	3.1	3.1	3.3
	未回答					
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	
【15】研究環境について満足度を聞かせてください	1. 満足	41.7	39.0	36.9	36.2	40.2
	2. 概ね満足	44.3	40.0	49.2	40.8	41.0
	3. どちらともいえない	11.3	13.0	6.9	19.2	13.1
	4. やや不満	2.6	6.0	6.2	3.1	4.1
	5. 不満	0.0	2.0	0.8	0.8	1.6
	未回答					
	計	99.9	100.0	100.0	100.1	100.0
【16】指導教員の指導に満足しましたか	1. 満足					68.0
	2. 概ね満足					22.1
	3. どちらともいえない					8.2
	4. やや不満					0.8
	5. 不満					0.8
	未回答					
	計					100.0

【資料 8-6】 人間・環境学研究科 博士後期課程修了（認定退学）時アンケート

	修了年度	2017	2018
	回答数	(H29)	(H30)
		54	54
専攻	1.共生人間学専攻	44.0	44.4
	2.共生文明学専攻	20.0	33.3
	3.相関環境学専攻	36.0	22.2
	計	100.0	99.9
【1】博士後期課程での学業・研究を通じて、着想の独創性を修得したと思いますか。	1. 修得した	40.0	57.4
	2. 概ね修得した	52.0	37.0
	3. どちらともいえない	8.0	3.7
	4. あまり修得しなかった	0.0	0.0
	5. 修得しなかった	0.0	1.9
	計	100.0	100.0
【2】博士後期課程での学業・研究を通じて、問題解決の企画力を修得したと思いますか。	1. 修得した	32.0	48.1
	2. 概ね修得した	56.0	42.6
	3. どちらともいえない	12.0	7.4
	4. あまり修得しなかった	0.0	0.0
	5. 修得しなかった	0.0	1.9
	計	100.0	100.0
【3】博士後期課程での学業・研究を通じて、持続的努力を修得したと思いますか。	1. 修得した	36.0	60.4
	2. 概ね修得した	56.0	32.1
	3. どちらともいえない	4.0	3.8
	4. あまり修得しなかった	4.0	1.9
	5. 修得しなかった	0.0	1.9
	計	100.0	100.1

【資料 8-7】 総合人間学部 卒業生 (卒業後 3 年目) アンケート

		2014(H26)年 3月卒業生	2015(H27)年 3月卒業生	2016(H28)年 3月卒業生
対象者数		113	88	75
回答者数		30	14	18
回答率		26.5%	15.9%	24.0%
(Q.01) 現在の身分についてお答えください	A. 学生	20.0	14.3	22.2
	B. 社会人	80.0	85.7	77.8
	C. その他	0.0	0.0	0.0
	D. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.02) Q.01 で「学生」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 京都大学	66.7	50.0	50.0
	B. 他大学	33.3	50.0	50.0
	C. その他	0.0	0.0	0.0
	D. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.3) Q.01で「社会人」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 就労者	100.0	100.0	100.0
	B. 非就労者	0.0	0.0	0.0
	C. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.04) 本学での学習により身についた、卒業後に役立つ能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	73.3	78.6	78.6
	B. 専門的な知識と技術	13.3	7.1	7.1
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	26.7	7.1	7.1
	D. 企画力、創造的思考力	30.0	21.4	21.4
	E. 実行力	23.3	21.4	21.4
	F. 協調性(チームワーク)	23.3	14.3	14.3
	G. コミュニケーション能力	33.3	7.1	7.1
	H. リーダーシップ	10.0	7.1	7.1
	I. たくましさ(問題解決力)	26.7	7.1	7.1
	J. 自己管理能力	40.0	28.6	28.6
	K. 倫理観	6.7	21.4	21.4
	L. その他	3.3	7.1	7.1
	M. 無回答	6.7	7.1	7.1
(Q.06) 本学での学習では身につかなかった能力を以下より選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	3.3	7.1	7.1
	B. 専門的な知識と技術	40.0	57.1	57.1
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	30.0	28.6	28.6
	D. 企画力、創造的思考力	13.3	42.9	42.9
	E. 実行力	23.3	21.4	21.4
	F. 協調性(チームワーク)	13.3	42.9	42.9
	G. コミュニケーション能力	13.3	35.7	35.7
	H. リーダーシップ	36.7	35.7	35.7
	I. たくましさ(問題解決力)	10.0	21.4	21.4
	J. 自己管理能力	13.3	28.6	28.6
	K. 倫理観	16.7	7.1	7.1
	L. その他	3.3	0.0	0.0
	M. 無回答	3.3	7.1	7.1
(Q.08) 総合人間学部の副専攻に関してお答えください。副専攻から得るものは大きかったですか	A. 大きかった	20.0	21.4	21.4
	B. 大きいとは言えないが、得るものがあつた	46.7	42.9	42.9
	C. ある程度は得るものがあつた	20.0	28.6	28.6
	D. 得るものはあまりなかつた	13.3	7.1	7.1
	E. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.10) 総合人間学部の卒業論文・卒業研究、及びそれにかかわる勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	26.7	35.7	35.7
	B. 少しは役に立っている	46.7	28.6	28.6
	C. どちらともいえない	10.0	28.6	28.6
	D. ほとんど役に立っていない	6.7	7.1	7.1
	E. まったく役に立っていない	10.0	0.0	0.0
	F. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.1	100.0	100.0

【資料 8-8】 人間・環境学研究所 修了生 (修了後 3 年目) アンケート

		2014(H26)年3月修了生 (修士課程・博士後期課程)	2015(H27)年3月修了生 (修士課程)	2016(H28)修了生 (修士課程)
	対象者数	86	91	33
	回答者数	17	6	7
	回答率	19.8%	6.6%	21.2%
(Q.01) 現在の身分についてお答えください	A. 学生	11.8	50.0	28.6
	B. 社会人	88.2	50.0	71.4
	C. その他	0.0	0.0	0.0
	D. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.02) Q.01 で「学生」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 京都大学	100.0	100.0	100.0
	B. 他大学	0.0	0.0	0.0
	C. その他	0.0	0.0	0.0
	D. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.03) Q.01で「社会人」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 就労者	100.0	100.0	100.0
	B. 非就労者	0.0	0.0	0.0
	C. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.04) 人間・環境学研究所での学習により身についた、修了後に役立つ能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	76.5	83.3	28.6
	B. 専門的な知識と技術	82.4	50.0	28.6
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	23.5	16.7	28.6
	D. 企画力、創造的思考力	35.3	16.7	42.9
	E. 実行力	47.1	0.0	14.3
	F. 協調性(チームワーク)	17.6	0.0	42.9
	G. コミュニケーション能力	41.2	0.0	28.6
	H. リーダーシップ	11.8	0.0	0.0
	I. たくましさ(問題解決力)	64.7	33.3	57.1
	J. 自己管理能力	35.3	33.3	14.3
	K. 倫理観	17.6	0.0	14.3
	L. その他	0.0	0.0	14.3
	M. 無回答	0.0	0.0	0.0
(Q.06) 人間・環境学研究所での学習では身につかなかった能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	0.0	33.3	0.0
	B. 専門的な知識と技術	11.8	50.0	28.6
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	23.5	33.3	14.3
	D. 企画力、創造的思考力	23.5	33.3	0.0
	E. 実行力	11.8	16.7	0.0
	F. 協調性(チームワーク)	23.5	33.3	28.6
	G. コミュニケーション能力	5.9	33.3	28.6
	H. リーダーシップ	35.3	50.0	42.9
	I. たくましさ(問題解決力)	5.9	0.0	0.0
	J. 自己管理能力	23.5	33.3	42.9
	K. 倫理観	17.6	0.0	28.6
	L. 無回答	17.6	0.0	0.0
	(Q.08) 【修士修了者】 修士論文に関わる研究、およびそれに伴う勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	41.2	16.7
B. 少しは役に立っている		58.8	33.3	14.3
C. どちらともいえない		0.0	16.7	0.0
D. ほとんど役に立っていない		0.0	33.3	0.0
E. まったく役に立っていない		0.0	0.0	28.6
F. 無回答		0.0	0.0	14.3
計		100.0	100.0	100.1
(Q.10) 【修士課程修了者】 人間・環境学研究所修士課程を修了したことは良かったと思いますか	A. とても良かったと思う	64.7	83.3	42.9
	B. 良かったと思う	35.3	0.0	14.3
	C. どちらともいえない	0.0	0.0	28.6
	D. 良くなかった	0.0	16.7	0.0
	E. 無回答	0.0	0.0	14.3
	計	100.0	100.0	100.1
(Q.11) 【博士後期課程修了者】 博士論文に関わる研究、およびそれに伴う勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	71.4	71.4	71.4
	B. 少しは役に立っている	28.6	28.6	28.6
	C. どちらともいえない	0.0	0.0	0.0
	D. ほとんど役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	E. まったく役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	F. 無回答	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	
(Q.13) 【博士後期課程修了者】 人間・環境学研究所博士後期課程を修了したことは良かったと思いますか	A. とても良かったと思う	57.1	57.1	57.1
	B. 良かったと思う	42.9	42.9	42.9
	C. どちらともいえない	0.0	0.0	0.0
	D. 良くなかった	0.0	0.0	0.0
	E. 無回答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0

【資料 8-9】総合人間学部入学者出身高校へのアンケート調査 (2016(H28) 年度実施)

1. 総合人間学部について			
(1) 総合人間学部について、すでにご存知のことを教えてください (複数選択可)	a. 学部の規模 (学生数、教員数)	27	51.9%
	b. 学部の構成 (5学系、理系・文系分野の共存)	46	88.5%
	c. 教育の方針 (アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)	19	36.5%
	d. 入試に関する情報 (通常の学部入試、特色入試)	46	88.5%
	e. 在籍教員の名前や研究内容 (1名以上)	6	11.5%
	f. カリキュラム (カリキュラムの体系、コースツリー)	3	5.8%
	g. 副専攻制度の存在	8	15.4%
	h. 卒業生の進路状況	7	13.5%
(2) 総合人間学部に関する情報をどのようにして得ておられますか (複数選択可)	a. 京都大学のホームページ	43	82.7%
	b. 総合人間学部のホームページ	37	71.2%
	c. a, b 以外のインターネット情報	3	5.8%
	d. 京都大学が作成している大学紹介の冊子類	28	53.8%
	e. 総合人間学部が作成している冊子類	18	34.6%
	f. 入試関係の情報雑誌	25	48.1%
	g. d,e,f 以外の新聞・雑誌類	2	3.8%
	h. 予備校	9	17.3%
	i. 貴校の卒業生	25	48.1%
	j. ご同僚や他校の教員	6	11.5%
	k. 総合人間学部や京都大学の教員	4	7.7%
(3) 総合人間学部の印象を率直にお聞かせください (複数選択可)	a. 特色ある教育・研究をしている、またはそれが期待できる	28	53.8%
	b. 他の学部との違いがわからない、特徴が見えにくい	14	26.9%
	c. 文理融合の学部である	46	88.5%
	d. 文系の学部である	0	0.0%
	e. 理系の学部である	0	0.0%
(4) 総合人間学部のオープンキャンパスへの参加を勧めていますか	a. はい	25	48.1%
	b. いいえ	23	44.2%
(5) 学部紹介の目的で『人環レビュー 2013 教育・研究活動の自己評価』をご送付いたしました。その感想をお聞かせください(複数選択可)	a. 高校生に対して、また高校における進路指導において、有益な情報があつた	27	51.9%
	b. 高校生に対して、また高校における進路指導において、有益な情報はなかつた	3	5.8%
	d. 情報量が多く、利用しやすい	7	13.5%
	e. 情報量が多く、利用しにくい	8	15.4%
2. 総合人間学部への進路指導について			
(1) 特定の大学・学部への進路指導はいつから行っていますか	a. 1年次から	19	36.5%
	b. 2年次から	16	30.8%
	c. 3年次前半	5	9.6%
	d. 3年次後半	3	5.8%
	e. その他 -1. 随時・適宜	3	5.8%
	e. その他 -2. していない	7	13.5%

2. 総合人間学部への進路指導について

(2) どのような生徒に対して、総合人間学部への進学を勧めておられますか (複数選択可)	a. 生徒にとって興味のある研究分野(または教員)が総合人間学部にある	33	63.5%
	b. 理系と文系の分野の両方に興味・関心があり、両方を学ぶ希望がある	25	48.1%
	c. 理系内、文系内の複数の領域に興味・関心がある	23	44.2%
	d. 理系か文系か、またその系内の分野での進路の選択を決めかねている (志望が定まっていない)	15	28.8%
	e. 理系科目が得意な文系志望の生徒	0	0.0%
	f. 文系科目が得意な理系志望の生徒	0	0.0%
(3) 特定の学部への進路指導をする際に有益な、また必要な情報は何か (複数選択可)	a. 学部内の研究分野の構成とその内容	43	82.7%
	b. 教員個々の研究分野とその内容	26	50.0%
	c. 学部の教育の方針	14	26.9%
	d. カリキュラム構成	15	28.8%
	e. 学部の教育・研究活動の状況	31	59.6%
	f. 在学生の活動の状況	13	25.0%
	g. 在学生の所属学部に対する意見・評価	8	15.4%
	h. 卒業後の進路の状況	26	50.0%
(4) 総合人間学部への進路指導をする際に、(3)の事項を含め、情報は十分にお持ちでしょうか	a. 十分	20	38.5%
	b. 不十分	29	55.8%

3. 高大連携について

(1) 現在貴校で行っている高大連携の企画・事業がありましたら、教えてください	A. 高校で実施			
	A-1. 出張講義	20	38.5%	
	A-2. 講演会	3	5.8%	
	A-3. 研究指導	2	3.8%	
	A-4. 高校訪問 (卒業生の母校訪問、入試ガイダンス、大学合同ガイダンス、キャリアガイダンス)	4	7.7%	
	B. 大学で実施			
	B-1. 講義	6	11.5%	
	B-2. 実習実験	1	1.9%	
	B-3. 研究(研究体験)	3	5.8%	
	B-4. 講演会・WS参加	1	1.9%	
	B-5. 大学・研究室訪問	11	21.2%	
	C. 高大連携事業			
	C-1. 文科省 SGH	3	5.8%	
	C-2. 文科省 SSH	4	7.7%	
	C-3. 高校独自・地方自治体・他大学など	9	17.3%	
	C-4. 京都大学(学びのコーディネーター、サマースクール、ELCAS)	10	19.2%	
	(2) 高大連携として、大学に希望される企画をお聞かせください。特に、総合人間学部希望する企画がありましたら、ご指摘ください (複数選択可)	a. 貴校での授業や講演会	28	53.8%
		b. 生徒への学部紹介のための高校訪問	9	17.3%
		c. 教員(特に進路指導担当教員)を対象としての学部説明会	5	9.6%
		d. 貴校の教育活動(課内・課外)へのサポート (指導・助言、実験等の設備・スペースの提供)	12	23.1%
e. 学部や研究室の見学(訪問)の受入		40	76.9%	
f. 大学・学部側での模擬講義や模擬実習・演習		22	42.3%	
g. 大学・学部側での高校生を受入れた研究活動		19	36.5%	

京都大学大学院人間・環境学研究科

自己点検・評価委員会

委員長	宮下 英明	(相関環境学専攻)
副委員長	佐野 亘	(相関環境学専攻)
委員	杉山 雅人	(相関環境学専攻・研究科長)
	齋木 潤	(共生人間学専攻・副研究科長)
	木下 千花	(共生人間学専攻)
	戸田 剛文	(同 上)
	齋藤 嘉臣	(共生文明学専攻)
	合田 昌史	(同 上)
	山村 亜希	(同 上)
	土屋 徹	(相関環境学専攻)
	廣戸 聡	(同 上)
	吉田 寿雄	(同 上)

人環レビュー 資料編 2019

教育・研究活動の自己評価 資料編

2020年3月発行

編集・発行 京都大学大学院人間・環境学研究科
自己点検・評価委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL: 075-753-6599(総務企画室) FAX: 075-753-7908

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/>

印刷・製本 有限会社レイ・プリンティング